




年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1945			・太平洋戦争終戦
1946	・本田宗一郎、静岡県浜松市山下町30番地に本田技術研究所として活動開始(後の山下工場)。内燃機関および各種工作機械の研究・製造を行う		・金融緊急措置令公布(預貯金封鎖新円切り替え) ・日本小型自動車組合、電気自動車製造工業組合、日本特殊自動車工業組合設立 ・持株会社整理委員会設立(財閥解体措置) ・経済団体連合会(経団連)設立
1947	・山下工場にて自転車用補助エンジン(A型:2ストローク50cc)生産開始	・A型 (ホンダ初の製品・自転車用補助エンジン)	・自動車技術会設立 ・教育基本法、学校教育法各公布 義務教育9年制、男女共学など規定 ・労働基準法公布 ・日本国憲法施行 ・GHQ(連合国軍総司令部)、小型乗用車生産許可 ・独占禁止法施行 ・公正取引委員会発足 ・「GATT」調印 ・道路交通取締法公布 ・自動車の検査、整備、登録等に関する車両規制公布施行
1948	・浜松市野口町584番地に野口工場新設、稼働開始 ・本田技術研究所を継承し、浜松市板屋町257番地に本田技研工業株式会社を設立(資本金100万円、従業員34名)	・B型(未発売)	・全日本自動車産業労働組合結成 ・自動車工業会設立 ・ベルリン封鎖始まる ・経済安定本部、経済復興五カ年計画発表 ・イスラエル共和国成立宣言、第1次中東戦争勃発 ・GHQ、企業合理化3原則(赤字融資物価に影響する賃金引き上げ価格差補給金禁止)発表
1949	・藤澤武夫が入社。常務取締役就任	・C型 ・ドリームD型 (ホンダ初の本格的オートバイ)	・ドッジライン宣言(日本経済の安定自立化目標、財政金融引き締め政策) ・単一為替レート、1ドル360円に ・北大西洋条約機構「NATO」調印 ・日本工業規格(JIS規格)制定 ・土地改良法公布(耕作農民主体の土地改良事業一本化) ・ドッジライン不況で業界各社に賃金遅配、人員整理始まる ・中華人民共和国成立 ・ドイツ民主共和国「東独」成立 ・湯川秀樹博士、日本初のノーベル物理学賞受賞 ・外国為替および外国貿易管理法公布

二輪車	四輪車	パワープロダクト
 <p>A型</p>		
 <p>B型</p>		
 <p>C型</p>  <p>ドリームD型</p>		

※：ホンダ調べ

WGP:FIM ロードレース世界選手権(FIM* Road Racing World Championship Grand Prix) *FIM Fédération Internationale de Motocyclisme(国際モーターサイクリズム連盟)の略称
F1:FIA フォーミュラワン世界選手権 (FIA* Formula One World Championship) *FIA Fédération Internationale de l'Automobile(国際自動車連盟)の略称








■主要製品は発売年により記載しています

■同一名称でも仕向け地によりモデル・仕様が異なる場合があります

■企業名・団体名は正式名称のほかに略称を用いている場合があります

■ホンダの事業所名称は事業所略号を用いる場合があります。主要生産拠点の詳細はⅢ事業 1.生産 1-12 主要海外生産拠点進出推移を御参照ください

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1950	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都京橋横町に東京営業所を開設 ・ミシン工場を購入、東京都北区上十条5丁目35番地に東京工場を設立 ・東京工場にてドリームD型車体生産開始。浜松より輸送されたエンジンを組み付け出荷開始 ・A型エンジン台湾に輸出(初の海外輸出) 		<ul style="list-style-type: none"> ・運輸事業法施行 ・公職選挙法公布 ・自動車の配給統制(生産用資材など)全面撤廃 ・普通自動車の公定価格廃止 ・朝鮮戦争勃発 ・自作農創設に関する政令公布 ・国勢調査、日本の総人口8,319万人
1951	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームE型の試作車で箱根試走 ・社内報「ホンダ月報」創刊 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームE型(ホンダ初の4ストロークエンジン搭載のオートバイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO(世界保健機関)、日本の加盟承認 ・ILO(国際労働機関)とユネスコ(国連教育科学文化機関)、日本の加盟承認 ・道路標識令公布 ・商法施行(会社法の全面改正) ・自動車登録令公布 ・道路運送車両法保安基準公布 ・道路運送車両施行規則公布、軽四輪自動車の排気量360ccに ・サンフランシスコ平和条約調印 ・日米安全保障条約調印 ・自動車型式指定規則公布
1952	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームE型、月産500台突破記念として総額350万円の賞金付きドリームE型発売 ・名古屋市中区宮出町に名古屋支店開設 ・埼玉県足立郡大和町白子の工場を購入、白子工場(埼玉工場)開設(5月よりドリームE型のエンジン生産開始) ・浜松市板屋町より東京都中央区横町3丁目3番地へ本社移転 ・本田宗一郎、藍綬褒章を受章 ・高松市5番町に四国支店開設 ・カブ号F型を台湾・フィリピン・米国などへ輸出、海外事業開始 ・大阪市北区に大阪支店開設 ・総額4億5,000万円の輸入工作機械購入決定 ・ドリーム号を沖縄・フィリピンへ輸出 ・カブ号F型が月産7,000台突破 ・東京工場を閉鎖し、業務を白子工場へ移管 ・福岡市橋口町に九州支店開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・カブ号F型(自転車用補助エンジン) ・ドリーム2E型 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法公布(農地売買農地外転用規制) ・日本、IMF(国際通貨基金)に正式加盟 ・道路交通取締令施行(原付自転車は免許制から許可制へ) ・軽自動車免許制定
1953	<ul style="list-style-type: none"> ・本社および東京営業所を中央区横町2丁目5番地へ移転 ・旧東京工場に本田技術講習所開設 ・埼玉県北足立郡大和町新倉に建設中の大和工場第一期工事完了 ・第1回全国ホンダ会を熱海で開催 ・社内報「ホンダ社報」創刊 ・本田技研労働組合結成 ・浜松市住吉町に住吉工場開設 ・埼玉製作所および本社に従業員レクリエーション組織の明和会発足 ・山下工場・野口工場・住吉工場を組織統合し、浜松製作所発足 ・白子工場・大和工場を組織統合し、埼玉製作所発足 ・浜松製作所に従業員レクリエーション組織の浜友会発足 ・年間二輪車生産台数、国内第1位*となる ・改善提案制度開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・カブ号FII型 ・ベンリイJ型 ・ドリーム3E型 ・汎用エンジンH型(ホンダ初の汎用製品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK東京テレビ局、本放送開始 ・日米友好通商航海条約調印 ・朝鮮戦争休戦協定、板門店で調印 ・日本テレビ、放送開始(民放初) ・農業機械化促進法公布 ・二輪車生産台数16万6,429台、戦後最高 ・スクーター生産台数5万4,713台(世界第2位)

二輪車	四輪車	パワープロダクト
 <p>ドリームE型</p>		
 <p>カブ号F型</p>  <p>ドリーム2E型</p>		
 <p>カブ号FII型</p>  <p>ベンリイJ型</p>  <p>ドリーム3E型</p>		 <p>汎用エンジンH型</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1954	<ul style="list-style-type: none"> 東京証券市場でホンダ株式の店頭取引開始 北海道札幌市に北海道支店開設 サンパウロ市400年祭記念国際オートレースに参加、R125が13位完走(ライダー 大村美樹雄) 本田宗一郎、「マン島TTレース出場宣言」 浜松製作所葵工場完成 本田宗一郎、マン島TTレースと欧州視察のため渡欧 野口工場を閉鎖し葵工場へ生産移管 東京都中央区八重洲6丁目5番地に東京支店開設 ジュノオ号を米国へ輸出 浜松製作所 事業所弘報誌「葵弘報」創刊 山下工場を閉鎖し葵工場へ生産移管 	<ul style="list-style-type: none"> ジュノオK型 (ホンダ初のスクーター) ジュノオKA型 ドリーム4E型 ベンリイJA型 汎用エンジンT型 	<ul style="list-style-type: none"> 東京で第1回全日本自動車ショー開催 第1次道路整備5カ年計画決定 自衛隊発足 通産省、57年度17億4,000万ドルの輸出を目標とする新輸出計画発表(輸出振興政策) 二輪車の2.4サイクル区別撤廃、合理的配列措置実施 二輪免許、1種/2種に区分け国際規定に統一 神武景気始まる
1955	<ul style="list-style-type: none"> 第3回富士登山オートバイレースでドリームSA型が優勝 第1回全日本オートバイ耐久ロードレース(浅間高原レース)350cc/500ccクラスで優勝 	<ul style="list-style-type: none"> ドリームSB型 ドリームSA型 ドリーム6E型 ベンリイJB型 ベンリイJC56型 	<ul style="list-style-type: none"> 通産省、「外国乗用車国産化の新方針」決定 運輸省、総合交通6カ年計画発表 通産省、国民車構想発表 125ccまでが第二種バイクに指定され許可制へ ソ連、東欧7カ国とワルシャワ条約機構成立 自動車損害賠償法公布、強制保険導入 初のトランジスタラジオ発売(SONY) 日本、GATT正式加盟認可 第1回全日本オートバイ耐久ロードレース開催
1956	<ul style="list-style-type: none"> 社是制定 大阪・名古屋証券市場でホンダ株式の店頭取引開始 二輪車1年間保証サービス制度実施 住吉工場を閉鎖し葵工場へ生産移管 	<ul style="list-style-type: none"> ホンダ号200 EJ型 ドリームME型 ドリームMF型 汎用エンジンVN型 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車損害賠償保障法施行 日本道路公団設立 第10回 経済白書、「日本経済の成長と近代化」発表(もはや戦後ではない) 日本、国連に加盟
1957	<ul style="list-style-type: none"> 二輪車・四輪車業界初となる全国統一価格を発表 埼玉製作所第一工場(白子工場)内に設計部門として技術研究所発足 浜松市幸町にサービス講習所開設 第2回全日本オートバイ耐久ロードレース(浅間火山レース)でジュニアクラス(350cc)1位から5位までを独占 第1回従業員意向調査を実施 東京証券取引所に上場 	<ul style="list-style-type: none"> ドリームC70 ドリームC75 ベンリイJC58型 ホンダ号200 EK型 	<ul style="list-style-type: none"> 南極地域予備観測隊、観測基地を「昭和基地」と命名 欧州経済共同市場(EEC)条約調印 国産車愛用を閣議決定 国土開発縦貫自動車道建設法公布 なべ底不況(1957年6月～1958年6月) 二輪車、世界第2位の41万台生産(スクーター含む)
1958	<ul style="list-style-type: none"> 大阪証券取引所に上場 名古屋証券取引所に上場 埼玉県の荒川河川敷に高速テストコース開設 	<ul style="list-style-type: none"> ドリームCS71 ドリームCS76 スーパーカブC100 C95 ベンリイC90 汎用エンジンVNC型 	<ul style="list-style-type: none"> 関門国道トンネル開通 自転車税廃止、自転車の鑑札なくなる 自転車荷車税廃止、軽自動車税新設 岩戸景気始まる 日清食品、初のインスタントラーメン発売 東京タワー完工
1959	<ul style="list-style-type: none"> ホンダ不動産興業(株)設立 マン島TTレース初出場、125ccクラスでメーカーチーム賞受賞 ホンダ初の海外現地法人、アメリカン・ホンダ・モーター(AH)を米国ロサンゼルス市に設立 第3回全日本オートバイ耐久ロードレース(浅間火山レース)でRC160(250cc)が1位から3位を独占 三重県鈴鹿市に21万坪の新工場建設用地取得決定 ホンダ開発興業(株)設立 スーパーカブC100、米国輸出開始 	<ul style="list-style-type: none"> CB95 ドリームCR71 スーパースポーツ ベンリイCB92 スーパースポーツ ベンリイCS92 耕うん機F150 (ホンダ初の耕うん機) 	<ul style="list-style-type: none"> メートル法施行、度量衡法から全面切り替え 日本自動車販売店協会連合会発足 対米貿易額、戦後初めて黒字 ドル為替自由化 伊勢湾台風、各地に大被害 交通事故死者数、初の1万人突破


































二輪車				四輪車	パワープロダクト
ジュノオK型	ジュノオKA型	ドリーム4E型	ベンリイJA型		
ドリームSB型	ドリームSA型	ドリーム6E型	ベンリイJB型	ベンリイJC56型	
ホンダ号200 EJ型	ドリームME型	ドリームMF型			汎用エンジンVN型
ドリームC70	ドリームC75	ベンリイJC58型	ホンダ号200 EK型		
ドリームCS71	ドリームCS76	スーパーカブC100	C95	ベンリイC90	汎用エンジンVNC型
CB95	ドリームCR71 スーパースポーツ	ベンリイCB92 スーパースポーツ	ベンリイCS92		耕うん機F150

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1960	<ul style="list-style-type: none"> 東京都中央区八重洲6丁目5番地に地上9階、地下2階の本社ビル完成 鈴鹿製作所開設、スーパーカブ二輪車の生産開始(四輪車生産は1967年に開始) 専門職制度へのステップ・集積と、考え悩み苦しんだ心の記録を記述する「私の記録」を全社で実施 ホンダの技術規格(HES*)を制定 ※Honda Engineering Standard 技術研究所が本田技研工業(株)より分離独立し、(株)本田技術研究所として発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツカブC110 ・ドリームCB72 ・スーパースポーツ ・ドリームCB77 	<ul style="list-style-type: none"> ・政府、貿易為替の自由化計画発表 ・日米安保条約調印 ・原付自転車に運転免許制導入 ・石油輸出国機構(OPEC)結成 ・閣議、国民所得倍増計画決定、高度経済成長政策を本格導入 ・道路交通法施行 ・二輪車生産147万台、世界第1位に ・西側20カ国、経済協力開発機構(OECD)設立条約調印 	 <p>スポーツカブC110 ドリームCB72スーパースポーツ ドリームCB77</p>		
1961	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)モータースポーツランド設立 ・ドイツに、二輪車販売会社ヨーロッパ・ホンダ・モーター(EH)設立(ホンダ欧州初の現地法人) ・マン島TTレース125cc/250ccクラスで1位から5位まで独占 ・WGP125cc/250ccクラスで初のメーカーチャンピオン獲得 ・東京都日野市に、多摩テック開園 ・鈴鹿製作所から台湾へ二輪車のノックダウン*生産用の部品セットを輸出開始 ※KD:knock-down kit 	<ul style="list-style-type: none"> ・CA100T トレール50 (米国専用車) ・ハンターカブC105H ・ジュノオM80 ・ドリームCM72 ・モンキー Z100 (遊園地用車両) ・ティラー F60 (ホンダ初のティラー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケネディ氏、米大統領に就任 ・物品税法改正(2000ccクラスで30%→15%に引き下げ) ・ソ連、人間衛星船ポストーク1号打ち上げ回収成功 ・通産省、特定産業振興臨時措置法(通称、特振法)案構想 乗用車メーカー 3グループ化(量産車 特殊乗用車 ミニカー生産)構想 ・東ドイツ、ベルリンの壁建設 ・大蔵省、海外渡航制限を強化(外貨節約) ・二輪車輸出台数278万台、二輪車メーカーの海外進出活発化 四輪車輸出台数は257万台 	 <p>ハンターカブC105H ジュノオM80 ドリームCM72</p> <p>モンキー Z100</p>		 <p>ティラー F60</p>
1962	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞社主催、通産省・運輸省後援、本田技術研究所協賛による国産軽飛行機の設計を募集 ・ホンダとの技術提携により、台湾の三陽工業(SY)にて、ホンダ初の二輪車ノックダウン生産開始 ・(株)モータースポーツランドが(株)テクニランドに社名変更 ・浜松製作所、労働大臣安全優良賞受賞 ・自己啓発基金制度スタート ・WGP125cc/250cc/350ccクラスでメーカーチャンピオン獲得 ・ベルギーに、二輪車生産販売会社ホンダ・モーター(後のベルギー・ホンダ(BH))設立 ・埼玉製作所の工機部門が独立、工機製作所として発足 ・三重県鈴鹿市にスズカサーキット完成 ・第9回全日本自動車ショーでSPORTS360/SPORTS500/T360を発表 ・鈴鹿サーキットで第1回全日本選手権ロードレース開催、50cc/125cc/250cc/350ccクラス優勝 ・シンガポールに駐在員事務所設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・CR110カブレレーシング (競技専用車/保安部品装着車) ・CR93ベンリレーシング (競技専用車/保安部品装着車) ・C310(日本初の欧州生産モデル ベルギー) ・ジュノオM85 ・ドリームCL72 ・CR72ドリームレーシング (競技専用車) ・ポートカブC240 	<ul style="list-style-type: none"> ・日米GATT関税取決め調印 ・国産旅客機YS11完成 ・運輸省技術研究所、自動車用安全ベルトの実験実施。警察庁など法制化検討 ・通産省「輸入公表」にて230品目の貿易自由化告示(自由化率88%) ・日本自動車連盟(JAF)発足 ・運輸省、全国自動車保有台数500万台突破と発表 ・東京にロンドンなみの高汚染スモッグ発生 	 <p>CR110カブレレーシング (競技専用車) CR110カブレレーシング (保安部品装着車) CR93ベンリレーシング (競技専用車)</p> <p>CR93ベンリレーシング (保安部品装着車) C310 ジュノオM85</p> <p>ドリームCL72 CR72ドリームレーシング ポートカブC240</p>		
1963	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダ開発興業(株)自動車部がホンダ自動車教習所設立 ・EDR(ヨーロッパ預託証券)発行 ・ベルギーのホンダ・モーターにて、二輪車生産開始 ・欧州経済共同体(EEC)圏内での日本企業による初*の現地生産 ・小型スポーツカー SPORTS500価格当てクイズを全国新聞16紙上で実施(応募総数5,735,417通) ・埼玉製作所でホンダ初の四輪車 軽トラック T360生産開始 ・浜松製作所でS500生産開始 ・鈴鹿製作所、労働大臣安全進歩賞受賞 ・ホンダ初の市販四輪車 T360発売 ・創立15周年記念行事を京都で開催 ・スーパーカブ、スポーツカブが、世界の優秀製品として英国のモード杯を受賞 ・埼玉製作所、浜松製作所が労働大臣衛生優良賞受賞 ・小型スポーツカー S500*発売 ※発売前の呼称 SPORTS500 ・全国の二輪代理店から四輪車代理店募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・C200 ・ドリームCP77 ・モンキー CZ100(輸出用) ・T360(ホンダ初の四輪車 軽トラック) ・S500 ・汎用エンジンT10 (エンジン教室用) ・汎用エンジンG20/G30 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、GATT 11 条国(国際収支を理由とする貿易制限禁止)移行表明 ・鈴鹿で第1回日本GP自動車レース開催 ・特定産業振興臨時措置法案が廃案 ・名神高速道路開通 ・沿岸漁業等振興法公布 ・ケネディ大統領、ガラスで暗殺 ・米国大気浄化法(Clean Air Act of 1963)を制定 	 <p>C200 ドリームCP77(白バイ仕様) モンキー CZ100</p>	 <p>T360 S500</p>	 <p>汎用エンジンT10 汎用エンジンG30</p>



































※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1964	<ul style="list-style-type: none"> ・F1世界選手権(F1)参戦を社内報で発表(社内報No.99「64年フォーミュラ1レースに出場」)(Formula One<F1™GP>) ・米国AH広告キャンペーン「YOU MEET THE NICEST PEOPLE ON A HONDA(素晴らしき人々、ホンダに乗る)」が、米国の西部広告協会より広告賞受賞 ・フランスに、二輪車・汎用製品販売会社ホンダ・フランス(FH)設立 ・通商産業省が輸出貢献企業に認定 ・(株)ホンダ・エス・エフ(ホンダSF®)を全国各地に建設開始 ※サービス・ファクトリー ・F1世界選手権、第6戦ドイツGPにRA271で初参戦 13位 ・タイに、アジア・ホンダ・モーター(ASH)設立 ・パキスタンのアトラス・オートス(AHL)にて、技術提携による二輪車ノックダウン生産開始 ・テクニランド 鈴鹿サーキット安全運転講習所を開設、白バイ・パトカー隊員の訓練スタート ・業界初となる二輪車・四輪車の2年間5万km長期保証制度を実施 ・埼玉県狭山市に狭山製作所開設。四輪車生産工場・工機工場稼働開始 ・ホンダ開発興業(株)レンタカー事業部設置(レンタカー事業に参入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CB160 ・ベンリイCB125 ・スーパーカブC65 ・スポーツカブCS65 ・スーパーカブCM90 ・ベンリイCS90 ・S600 ・T500 ・汎用エンジンG45 ・船外機GB30(ホンダ初の船外機) ・発電機E40(小型携帯用試作品、未発売) ・ティラー F30 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、OECD(経済協力開発機構)加盟 ・IMF理事会、日本の8条国移行承認 ・東京オリンピック開催 ・東海道新幹線開業、東京ー新大阪間 ・茨城県谷田部町の自動車高速試験場が運用開始
1965	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダ初の四輪車輸出(S600)を開始(オーストラリア、タイ) ・タイに、二輪車・汎用製品生産合弁会社、タイ・ホンダ・マニュファクチャリング(TH)設立 ・汎用製品の生産を開始(二輪車生産は1967年) ・鈴鹿製作所、第4種無災害記録620万時間達成 ・鈴鹿製作所、労働大臣安全優良賞受賞 ・英国に、販売会社ホンダU.K(HUK)設立 ・F1世界選手権、第10戦メキシコGP ホンダ初優勝(RA272、リッチー・ギンサー) ・東京都豊島区池袋(東京支店内)に、販売店AHSSA(全ホンダ製品販売サービス加盟店)の商談室として、ホンダ初のショールームオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームCB450 ・ベンリイCD90 ・ベンリイCS50 ・L700 ・P700 ・S600クーペ ・発電機E300(ホンダ初の発電機) ・発電機E1000 	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓基本条約、関係4協定調印 ・名神高速道路全線開通、東名高速道、中央自動車道起工 ・自動車に割賦販売法適用 ・運転免許保有者2,000万人突破 ・完成乗用車の輸入自由化実施 ・いざなぎ景気始まる
1966	<ul style="list-style-type: none"> ・「セールスを科学する会社」(株)ホンダ営研 設立 ・ホンダ信販(株)設立 ・ホンダ中古車販売(株)設立 ・WGP全5クラス*にてメーカーチャンピオン獲得(WGP史上初*の5クラス完全制覇) *50cc/125cc/250cc/350cc/500cc ・ブラバム・ホンダBT18、F2史上初*の11連勝達成 ・S800の北米、欧州などへ輸出開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーカブC50 ・スーパーカブC90 ・ドリームCL77 ・ベンリイCD125 ・ベンリイCL125 ・ベンリイCL90 ・リトルホンダP25 ・L800 ・P800 ・S800 ・S800クーペ ・ティラー F40 ・ティラー F50 ・汎用エンジンGD90(ディーゼル) ・管理機F25(ホンダ初の管理機) ・耕うん機F90(駆動型ディーゼル) ・発電機E3000(ディーゼル) ・発電機E80 ・汎用エンジンG25 ・汎用エンジンG40 	<ul style="list-style-type: none"> ・法務省住民登録集計で日本の総人口、1億人突破 ・日本自動車査定協会発足 ・第1次交通安全施設等整備事業3カ年計画、安全公害問題をクローズアップ ・自動車排出ガス規制実施、CO濃度 3%以下など

二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
CB160	ベンリイCB125	スーパーカブC65	S600	T500	汎用エンジンG45	GB30
						
スポーツカブCS65	スーパーカブCM90	ベンリイCS90			発電機E40	ティラー F30
						
ドリームCB450	ベンリイCD90	ベンリイCS50	L700	P700	発電機E300	発電機E1000
						
			S600クーペ			
						
スーパーカブC50	スーパーカブC90	ドリームCL77	L800	P800	ティラー F40	ティラー F50
						
ベンリイCD125	ベンリイCL125	ベンリイCL90	S800	S800クーペ	汎用エンジンGD90(ディーゼル)	管理機F25
						
					耕うん機F90(駆動型ディーゼル)	発電機E3000(ディーゼル)
						
リトルホンダP25					発電機E80	汎用エンジンG25
						
					汎用エンジンG40	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1967	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダ初の軽乗用車N360発売 ・N360、1967年5月度に発売3カ月で軽乗用車国内届出台数1位*となる ・タイ THにて二輪車生産開始 ・F1世界選手権、第9戦イタリアGP、軽量シャーシの新型マシンRA300でジョン・サーティース優勝 ホンダ2勝目 ・鈴鹿製作所にてTN360生産開始(二輪車生産は1960年に開始) ・1967年のシーズンをもってWGPへの参戦終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・モンキー Z50M ・ベンリイCS125 ・ベンリイCL50 ・ベンリイSS50 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・N360(ホンダ初の軽乗用車) ・LN360 ・TN360 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・水ポンプW15A/W15B (ホンダ初の水ポンプ) ・発電機E2000 ・発電機E600 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国でFMVSS(連邦自動車安全基準)公布 ・自工会、小自工が合併し日本自動車工業会発足 ・ケネディラウンド(関税一括引き下げ交渉)、日、米、英、EECなど主要国間で妥結 ・自動車保有台数1,000万台突破 ・欧州共同体(EC)成立 ・公害対策基本法公布 ・東南アジア諸国連合(ASEAN)結成 ・自動車排ガス規制(COモード25%以下)を全車実施 ・初の日米自動車会議開催 ・日本、西ドイツを抜き自動車生産世界第2位
1968	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車累計生産1,000万台達成(1949年ドリームD型生産開始からの集計) ・N360をイタリア、東南アジアなどへ輸出 ・(株)テクニランドが、(株)ホンダランドに社名変更 ・ホンダ専門店制度スタート。全国で約4,000店のホンダ専門店と約8,000店のホンダショップ誕生 ・メキシコのグルーボ・インダストリアル・サルティジョ S.A.、スペインのランプレッタ・ロコモシオネスS.A.と二輪車現地組み立てに関する技術援助契約を締結 ・鈴鹿サーキットでホンダ専門店大会を開催、4,800店が参加 ・N360/N600、フランクフルトショー、パリ・オートサロンに出品 ・1968年シーズンをもってF1世界選手権 参戦終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンリイCD50/CD65 ・ドリームCD250 ・ベンリイCD90 ・CT50 ・ベンリイCB125 ・ベンリイCL125 ・ドリームCB250 ・ドリームCB250エクスポート ・ドリームCB350 ・ドリームCB350エクスポート ・ドリームCB450 ・ドリームCL250 ・ドリームCL350 ・ベンリイCL65 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・N360 AT ・N360 サンルーフ ・N600E ・N360 T <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ティラー F40M ・耕うん機F100(駆動型ディーゼル) ・耕うん機F80 ・汎用エンジンGD100(ディーゼル) ・水ポンプW15 ・船外機GB40 ・発電機E1200/E1500 	<ul style="list-style-type: none"> ・アラブ石油輸出国機構(OAPEC)結成 ・消費者保護基本法公布 ・大気汚染防止法、騒音規制法施行 ・自動車取得税新設(率3%) ・日米自動車交渉妥結









二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
モンキー Z50M	ベンリイCS125	ベンリイCL50	N360	LN360	W15A	E2000
						
ベンリイSS50			TN360		E600	
						
ベンリイCD50	ドリームCD250	ベンリイCD90	N360 AT	N360 サンルーフ	ティラー F40M	耕うん機F100
						
CT50	ベンリイCB125	ベンリイCL125	N600E	N360 T	耕うん機F80	汎用エンジンGD100
						
ドリームCB250	ドリームCB250エクスポート	ドリームCB350			水ポンプW15	船外機GB40
						
ドリームCB350エクスポート	ドリームCB450	ドリームCL250				
						
ドリームCL350	ベンリイCL65					

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1969	<ul style="list-style-type: none"> ・総額2,000万ドルの長期ユーロダラー社債発行に関し、大蔵大臣の正式認可を受ける ・㊤(マル・エー)店*制度発足 ※ホンダ四輪車専門店でホンダ製品を主力販売 ・台湾 三陽工業(SY)との技術提携により、N600、TN360のノックダウン生産開始を発表(ホンダ初の海外四輪車生産) ・オーストラリアに、四輪車販売会社ホンダ・オーストラリア(AUH)設立 ・カナダに、販売会社カナディアン・ホンダ(CH)設立 ・CB750FOURを米国・カナダへ輸出開始 ・マレーシア 文秀(BSW)にて、技術提携による二輪車生産開始 ・鈴鹿サーキット、官公庁・企業・学校を対象とした安全運転講習会 ・セーフティ・ドライビング・スクールを一般ドライバーに拡大 ・マレーシア カーモーター(HKL)との技術提携により、オリエンタルアッセンブラーズ(OA)にて四輪車N360 ノックダウン生産開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンリイCL125 ・ベンリイCB125 ・ベンリイCD125 ・リトルホンダPC50 ・モンキー Z50A ・ドリームCB750FOUR ・ベンリイSL90 ・ダックスホンダST50 ・ダックスホンダST50エクスポート ・ドリームCB450エクスポート ・ベンリイCS90 ・スーパーカブC70 	<ul style="list-style-type: none"> ・東名高速道路開通 ・外資審議会、資本自由化促進決定 ・国民総生産(GNP)が西ドイツを抜き世界第2位と発表 ・米、アポロ11号初の有人月面着陸 ・運輸省、排出ガス規制強化を告示(CO2.5%以下) ・運輸省、リコール制度の法制化
		<ul style="list-style-type: none"> ・1300 77/1300 99 ・TN360スノーラ 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ティラー F28 ・発電機E100 ・発電機E800 ・汎用エンジンG28 ・汎用エンジンGT50/GT65 	
1970	<ul style="list-style-type: none"> ・CB750FOUR、警視庁管内交通機動隊に白バイとして合計200台採用 ・第1回㊤(マル・エー)店(ホンダ四輪専門店)大会開催 ・ホンダ中古車販売(株)が(株)ホンダ中販に社名変更 ・全国ホンダSFにおいて排出ガスの計測と調整サービス実施 ・鈴鹿サーキットにて第1回オールホンダアイデアコンテスト開催 ・ホンダショールーム福岡、オープン ・米本土にN600輸出開始(ハワイは1969年12月) ・第1回100%定期点検キャンペーン実施(四輪車) ・四輪車の業販システム、オープン・ポイント・オペレーション構想を発表 ・イタリアに、N360KF(フランス仕様)369台初輸出を発表 ・埼玉製作所、労働大臣安全進歩賞受賞 ・公害対策本部発足 ・ホンダ開発興業(株)がホンダ開発(株)に社名変更 ・狭山製作所工機部門が分離独立、ホンダ工機(株)設立 ・AHがYMCA(キリスト教青年会)に青少年支援活動の一環で、ミニトレールなど、1万台寄贈開始 ・安全運転普及本部発足 ・鈴鹿製作所、労働大臣衛生努力賞受賞 ・栃木県真岡市に埼玉製作所真岡分工場開設、稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームSL350 ・ベンリイCB125S ・ベンリイCB90 ・ベンリイCD70 ・CB175 ・CL175 ・ベンリイCL90 ・モンキー Z50Z ・ベンリイSL90 ・SL175 ・ベンリイCL50/CL70 ・ベンリイSS50 ・ドリームCL450 ・ベンリイCB135 ・ベンリイCD125S ・ベンリイCL135 ・ベンリイSL125S ・US90(米国向け、初の三輪バギー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪で万国博覧会開催 ・光化学スモッグ発生被害、社会問題化 ・通産省、鉛公害対策決定(5年以内にガソリンの無鉛化達成) ・政府、首相を長とする中央公害対策本部設置 ・HC規制実施(プロパイガス還元装置義務化) ・交通事故死者数、過去最悪の16,765人 ・米国大気浄化法改正法(通称、マスキー法)成立
		<ul style="list-style-type: none"> ・NIII360 ・LNIII360 ・1300 クーベ 7/1300 クーベ 9 ・Z(空冷) ・バモスホンダ 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・バインダー T55 (双用 / 二条) (ホンダ関係会社 (株)アクト・エース製品) ・汎用エンジンG41 	

二輪車				四輪車		パワープロダクト
ベンリイCL125	ベンリイCB125	ベンリイCD125	リトルホンダPC50	1300 77	TN360スノーラ	ティラー F28
モンキー Z50A	ドリームCB750FOUR	ベンリイSL90	ダックスホンダST50			発電機E100
ダックスホンダST50エクスポート	ドリームCB450エクスポート	ベンリイCS90	スーパーカブC70			発電機E800
ドリームSL350	ベンリイCB125S	ベンリイCB90	ベンリイCD70	NIII360	LNIII360	バインダー T55
CB175	CL175	ベンリイCL90	モンキー Z50Z	TNIII360	1300 クーベ 7	汎用エンジンG41
ベンリイSL90	SL175	ベンリイCL50	ベンリイSS50	Z(空冷)	バモスホンダ	
ドリームCL450	ベンリイCB135	ベンリイCD125S	ベンリイCL135			
ベンリイSL125S	US90					

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1971	<ul style="list-style-type: none"> ・低公害エンジン CVCC(複合渦流調速燃焼方式)の概要発表 ・鈴鹿製作所 二輪車生産累計1,000万台を10年7カ月で達成 ・浜松製作所に日本初*となる活性汚泥法の総合排水処理場が完成 ・販売・サービス技術の研修を目的としたホンダトレーニングセンターを全国10カ所に設立 ・日本実験安全車計画 ESV*(実験安全車)の開発計画に参加 ※Experimental Safety Vehicle ・ブラジルに、ホンダ・モトール・ド・ブラジル(HDB)設立 ・日本初*の無煙化キューボラ(鑄造炉の粉塵を除去する電気集塵機)を開発、狭山製作所に設置 ・水冷エンジン搭載のライフ、カー・オブ・ザ・イヤー軽自動車部門賞(モーターファン誌主催) ・インドネシア PTフェダルモーターとの技術提携で二輪車生産を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーカブデラックスC50DX/C70DX/C90DX ・ニュースカブ90(新聞配達用) ・ドリームCB500FOUR ・ベンリイCB50 ・ライフ ・ライフ(オートマチック) ・ライフライトバン ・ライフワゴン ・Z(水冷) ・船外機75TWIN/45TWIN 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の資本自由化、輸入関税引き下げ実施 ・米運輸省がエアバッグなど完全受動保護装置、または安全ベルト強制装着警報装置の義務付け発表 ・米環境保護庁、マスキー法に沿った自動車排ガス規制決定 ・自動車騒音規制法施行 ・ドルショック、ニクソン米大統領、ドル防衛声明発表 ・スミソニアン協定によるドル円交換レート切り上げ、固定相場制終了 ・通産省、対米自動車輸出の抑制措置要請 ・自動車重量税新設 	 <p>スーパーカブデラックスC50DX</p>  <p>ニュースカブ90</p>  <p>ドリームCB500FOUR</p>  <p>ベンリイCB50</p>	 <p>ライフ</p>  <p>ライフ(オートマチック)</p>  <p>ライフライトバン</p>  <p>ライフワゴン</p>  <p>Z(水冷)</p>	 <p>船外機75TWIN</p>
1972	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転普及本部内に、海外安全運転普及推進委員会設置 ・(株)ACT-A(アクト・エー)、(株)ACT-L(アクト・エル)、(株)ACT-TRADING(アクト・トレーディング)設立 ・時代進化に即応できる体質強化を目指し、ニュー・ホンダ・プラン(NHP)として、9プログラム17プロジェクトを登録 ・四輪車専門店の特約店制度制定、シビックの発売と同時に小型特約店制度導入 ・ホンダSRが(株)ホンダSFより分離独立、(株)ホンダ・エスアール設立 ・ホンダ自動車教習所が、ホンダ開発(株)より分離独立、(株)レインボーモータースクール設立 ・CVCCエンジンの全容を発表 ・鈴鹿製作所、労働大臣衛生優良賞受賞 ・シビック1200、米国輸出開始 ・CVCCエンジン、米国・マスキー法*1975年規制値をクリア ※大気清浄法改正法 ・トヨタ自動車工業(株)とCVCCエンジン技術供与契約を締結 ・ホンダSR(ショールーム) 札幌オープン ・シビック1200GLが、カー・オブ・ザ・イヤー受賞(モーターファン誌主催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームSL250S ・ベンリイCB90JX ・ドリームCB3350FOUR ・シャリイ ・ベンリイCB125 ・エルシノアCR250M(競技専用車) ・マイティダックスホンダST90 ・ライフツーリング ・TN-V ・シビック(2ドア/3ドア) ・ライフ ステップバン ・145 ・145 クーベ ・Z(ハードトップ) ・バインダー・アクト号(二輪一条) (ホンダ関係会社(株)アクト・エース製品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽新幹線、新大阪ー岡山間開通 ・沖縄、本土復帰 ・日中国交樹立 ・道交法改正、初心者マーク貼付義務化 ・二輪車ヘルメット着用義務化 ・自動車総連結成 	 <p>ドリームSL250S</p>  <p>ベンリイCB90JX</p>  <p>ドリームCB3350FOUR</p>  <p>シャリイ</p>  <p>ベンリイCB125</p>  <p>エルシノアCR250M</p>  <p>マイティダックスホンダST90</p>	 <p>ライフツーリング</p>  <p>TN-V</p>  <p>シビック(2ドア)</p>  <p>ライフ ステップバン</p>  <p>145</p>  <p>145 クーベ</p>  <p>Z(ハードトップ)</p>	 <p>バインダー・アクト号(二輪一条)</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1973	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉製作所と狭山製作所を統合し、埼玉製作所 狭山工場・和光工場とする ・埼玉製作所和光工場、第4種無災害記録680万時間達成 ・埼玉製作所狭山工場において自動車業界初[®]の粉体塗装装置稼働 ・モーターレクリエーション推進本部発足 ・第4回ESV国際会議でホンダESV公開 ・CVCCエンジン開発者、科学技術庁長官賞受賞 ・シビック、145・145キューベに無段変速オートマチック機構を搭載 ・鈴鹿サーキットで第1回モータースポーツフェスティバル開催 ・(株)RSC(レーシング・サービス・センター)設立 ・フィリピンに、二輪車生産・販売合弁会社 マリワサ・ホンダ設立 ・鈴鹿製作所、第4種無災害記録1,020万時間達成 ・(株)レインボーモータースクール 交通教育センター福岡開設(交通教育センター第1号) ・インドネシアに、二輪車部品生産合弁会社P.T.ホンダ・フェデラル(HFJ)設立 ・埼玉製作所和光工場、労働大臣安全優良賞受賞 ・創立25周年記念式典開催(荒川テストコースなどで開催) ・自動車船運航会社 アクトマリタイム(株)設立 ・本田宗一郎、藤澤武夫が退任、取締役最高顧問に就任 ・河島喜好が2代目社長就任 ・鈴鹿サーキットに二輪車ユーザーが集い、第1回ホンダ・モーターレクリエーション全国大会開催 ・(株)本田技術研究所が二輪車開発部門を分離、(株)本田技術研究所 朝霞研究所発足 ・最高顧問本田宗一郎、静岡県天竜市名誉市民章を受章 ・サービス技術者の海外からの受け入れ研修HSTCを開始 ・シビック1200GL ATが、カー・オブ・ザ・イヤー受賞(モーターファン誌主催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノビオPM50 ・バイアルスTL125 ・エルシノアCR125M(競技専用車) ・エルシノアMT125 ・エルシノアMT250 ・ベンリイCD50/CD70/CD90/CD125 ・ノーティダックスホンダCY50 ・ドリームCB250T ・ドリームCB360T ・ライフ ピックアップ ・シビック(4ドア) ・シビック CVCC(4ドア) ・ティラー F42 ・バインダー・アクト号(一輪一条) (ホンダ関係会社(株)アクト・エース製品) ・発電機ER1200 ・汎用エンジンG42 ・汎用エンジンGS65 ・発電機EM3000 ・発電機EM5000/ET5000 ・発電機EM300 ・田植機アクト号(二条) (ホンダ関係会社(株)アクト・エース製品) ・水ポンプW20/W30 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際通貨危機、スミソニアン体制崩壊、円急騰で日本も変動相場制へ移行 ・運輸省、昭和48年度排出ガス規制実施 ・低公害車優遇税制(物品税等) ・第一次石油危機(オイルショック)によるインフレ、経済不況 ・軽自動車の車検制度導入 ・第4次中東戦争起こる ・政府、石油緊急対策案網決定(マイカー自粛など) 	        	  	         
1974	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルーに、二輪車販売会社ホンダ・デル・ペルー(HDP)設立 ・スイスに、二輪車・汎用製品販売合弁会社ホンダ・スイス(SH)設立 ・(株)ホンダ営研、業務を本田技研に集約・発展的解消 ・ホンダ工機(株)を発展拡大、ホンダエンジニアリング(株)設立 ・本社を中央区八重洲から渋谷区神宮前6丁目27番8号へ移転 ・ホンダSR (ショールーム)仙台オープン ・本田藤澤記念財団法人 国際交通安全学会 設立 ・軽乗用車生産休止 発表 ・フォード車販売開始に伴い、ホンダ中古車販売(株)が(株)ホンダイインターナショナルセールス(HISCO)へ名称変更 ・CVCCエンジン搭載輸出車がEPA(米国環境保護庁)の排出ガステストに合格 ・シビック CVCC 米国輸出開始 ・シビックCVCC GFが、カー・オブ・ザ・イヤー受賞(モーターファン誌主催) シビックとして3年連続で受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームCB550FOUR ・モンキー Z50J ・ノビオ ・ドリームCB400FOUR ・ドリームCB500T ・シビック RS (2ドア/3ドア) ・シビック パン 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内自動車メーカー、石油資材高騰などにより、販売価格値上げ続く ・自動車取得税、重量税大幅引き上げ ・運輸省、保安基準改正(前席3点式シートベルト義務付けなど) 	    	 	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1975	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア プロスペクトモーター(PM)にて、技術提携による四輪車生産開始 民間企業として世界初*のドル建て普通社債、総額2,500万ドルをペイレートで発行 米国におけるCVCC総合特許認可・公示 ブラジルに、二輪車生産合弁会社モトホンダ・ダ・アマゾン(HDA)設立 米国にてゴールドウイングGL1000発売(生産は1974年に埼玉製作所狭山工場で開始) 	<ul style="list-style-type: none"> エルシノア CR250M(競技専用車) バイアルスTL250(競技専用車) XL125 XL250 ベンリイCB125JX ドリームCB550FOUR-II ドリームCB750FOUR-II ゴールドウイングGL1000(輸出専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン無鉛化スタート ・運輸省、昭和50年度排出ガス規制実施 ・ベトナム戦争終結 ・自動二輪免許に小型中型の限定制度スタート ・仏で第1回先進国首脳会議(サミット)開催 	       	 	  
1976	<ul style="list-style-type: none"> 熊本製作所稼働開始 イタリア イアアップ・インダストリアル社(IAP)にて、技術提携による二輪車生産開始(機種:CB125S) タイに、二輪車・汎用部品生産合弁会社エイシャン・オートパーツ(AAP)設立 ニュージーランド ニュージーランドモーター社にてシビック生産開始 二輪車、四輪車整備技術に関する基礎知識と専門技術を養成するホンダ・インターナショナル・テクニカル・スクール開校 シビックシリーズ、発売以来4年で生産累計100万台達成 東南アジア地域において、海外生産部品相互補完体制構築 (株)ホンダ用品研究所設立 耐久ロードレースヨーロッパ選手権 ボルドール24時間で優勝し、シリーズ5戦5勝 	<ul style="list-style-type: none"> エルシノア CR125M II (競技専用車) バイアルスTL50 ベンリイCB50JX ロードバル ドリームCB400FOUR-I ドリームCJ250T ドリームCJ360T ノーティダックス XE50/XE75 CG125(ブラジルで初生産の海外専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車規格の保安基準改正施行(サイズ拡大、排気量550ccへ) ・10モード燃費公表制度スタート ・自動車公正取引協議会、新車標準価格明示をメーカー、販売業者に義務付け 	         	  	         

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています





























年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1977	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューヨーク証券取引所(NYSE)に上場。ADR(米国預託証券)発行により新資本金280億5,000万円となる ・EPA/FEA(米国環境保護庁/連邦エネルギー庁)1977年型車燃費テストにおいて、シビック4年連続第1位 ・初の連結決算を発表 ・全国の二輪車ユーザーが集う、第1回日本セーフティクラブミーティング77開催(鈴鹿サーキット) ・米国オハイオ州に217エーカー(87万8,200m²)の二輪車生産工場建設発表 ・本田宗一郎、本田弁二郎により(財)本田財団設立 ・第1回NHサークル全社大会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンリイCB125T-I ・ベンリイCD125T ・R&P ・エアラ ・ドリームCB550FOUR-K ・ドリームCB750FOUR-II ・ドリームCB750FOUR-K ・バリエ ・ホーク II CB400T ・ホーク CB250T ・ウイングGL500 ・エルシノアCR250R(競技専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・米、二輪車排出ガス規制開始 ・米運輸省、燃費基準発表 ・排他的経済水域200海里設定スタート ・日本初の静止気象衛星「ひまわり」打ち上げ ・四輪車輸出400万台突破、過去最高の435万台、二輪車輸出も過去最高の約400万台 	<p>二輪車</p> <p>ベンリイCB125T-I ベンリイCD125T R&P エアラ ドリームCB550FOUR-K ドリームCB750FOUR-II ドリームCB750FOUR-K バリエ ホーク II CB400T ホーク CB250T ウイングGL500 エルシノアCR250R</p>	<p>四輪車</p> <p>TN-アクティ アコード CVCC(サルーン)</p>	<p>パワープロダクト</p> <p>船外機75 汎用エンジンG150 汎用エンジンG200 ティラー F400 バインダー・アクト号TB600(二輪二条) 除雪機スノースーパー S35 発電機E1200 発電機E800 発電機ER1200 発電機ES2800 ティラー F600 水ポンプWA30</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1978	<ul style="list-style-type: none"> ・米国に、二輪車生産会社 ホンダ・オブ・アメリカ・マニュファクチャリング (HAM)設立 ・ベルギーに、四輪車物流会社 ホンダ・ヨーロッパ(HE)設立 ・アルゼンチンに、ホンダ・モトール・デ・アルヘンティーナ・エス・エー (HAR)設立 ・国内四輪車新販売チャンネル ホンダ・ベルノ店稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ・パルフレイ ・ベンリイCM125T ・ホークCB400T(ホンダマチック搭載) ・ウイングGL400 ・ベンリイCB125T ・ホークII CB400T ・ホーク CB250T ・シャレット ・バルティン ・バルホリデー ・XL250S ・ホークIII CB400N ・XL125S ・XR80(競技専用車) ・CR125R(競技専用車) ・ゴリラ ・CB750K ・モンキー 	<ul style="list-style-type: none"> ・通産省、自動車輸出抑制で行政指導 ・昭和53年度排出ガス規制 (日本版マスキー法)、新型車適用開始 ・輸入乗用車関税撤廃 ・新東京国際空港(成田空港)開港 ・中国で改革開放政策決定 (市場経済への移行) 	<p>二輪車</p>	<p>四輪車</p>	<p>パワープロダクツ</p>
1979	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車総合試験場 栃木ブルーピンググラウンド(PG)開設 ・本田技術研究所が汎用製品開発部門を分離、本田技術研究所 朝霞東研究所発足 ・ナイジェリアに、二輪車生産会社 ホンダ・マニュファクチャリング・ナイジェリア(HMN)設立 ・WGPに復帰、NR500がイギリスGPでデビュー ・米国・HAMメアリスビル二輪車生産工場稼働(生産機種:CR250R) ・モトクロス世界選手権シリーズ500ccクラスで初のワールドチャンピオン獲得(マシン:RC500M、ライダー:グラハム・ノイス) ・英国 BL(プリティッシュ・レイランド)社とトライアンフ・アクレーム、バラードのライセンス生産技術供与調印 	<ul style="list-style-type: none"> ・CB650 ・ダックス ・MB50 ・ウイングGL400カスタム/GL500カスタム ・CB750F ・MT50 ・XL500S ・ホークCB250N ・CM400T ・カレン ・CR80R(競技専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次オイルショック発生 ・米中国交樹立 ・欧米首脳による東京サミット開幕 ・SONY、「ウォークマン」発売 ・省エネルギー法施行 	<p>二輪車</p>	<p>四輪車</p>	<p>パワープロダクツ</p>

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1980	<ul style="list-style-type: none"> ・アコード、生産累計100万台達成 ・米国 HAM 四輪車生産工場建設計画公表 ・米国に、アメリカン・ホンダ・ファイナンス(AHFC)設立 ・売上高(単独)1兆694億4,000万円を達成 ・スペインに、二輪車輸入販売会社ホンダ・エスパーニャ設立 ・シビック1300に最高出力72馬力CVCC-IIエンジン搭載 ・(株)レインボーモーターズスクール、交通教育センターレインボー埼玉開設 ・二輪世界耐久選手権シリーズで初代ワールドチャンピオン獲得 ・ベルギーに、ホンダ・ベルギー基金設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・MB-8 ・CB250RS ・CB650 カスタム ・XL50S ・XL80S ・スーパーカブC90 ・ラクーン ・CB125JX ・ハミング ・750カスタムエクスクループ ・スーパーホークIII ・スーパーホーク ・タクト ・ベンリイCD90 ・CM250T ・CR125R(競技専用車) ・CR250R(競技専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品輸入関税の原則撤廃 ・通産省、対米自動車輸出にガイドライン設定、自粛要請 ・自工会、生産台数1,000万台突破、世界一と発表 ・四輪車輸出596万台で6年連続世界1位
		<ul style="list-style-type: none"> ・シビック カントリー ・クイント ・アコード(ハッチバック/サルーン) ・プレリユード ・バラード ・シビック 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・汎用エンジンG100 ・ミニティラーこまめ F200 ・発電機デンタEX400NT 茶園用 ・除雪機スノーラ HS35(ホンダ初の除雪機) ・発電機デンタEM400 しいたけ用/しらす用 	

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
MB-8	CB250RS	CB650 カスタム	シビック カントリー	クイント	汎用エンジンG100	ミニティラーこまめ F200
						
XL50S	XL80S	スーパーカブC90	アコード(ハッチバック)	プレリユード	発電機デンタEX400NT	除雪機スノーラ HS35
						
ラクーン	CB125JX	ハミング	バラード	シビック	発電機デンタEM400	
						
750カスタムエクスクループ	スーパーホークIII	スーパーホーク				
						
タクト	ベンリイCD90	CM250T				
						
CR125R(競技専用車)	CR250R(競技専用車)					

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1981	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイジェリア レベンティス社との合併によりホンダ・マニファクチュアリング・ナイジェリア(HMN)設立。二輪車生産開始 ・ブラジル コンソルシオ・ナシオナル・ホンダ(CNH)設立(ディーラーおよびユーザー向けファイナンス) ・ブラジル HDA、アルコールオートバイ(CG125)量産開始 ・ホンダ退職者による、ホンダ倶楽部結成 ・両上肢障害者用運転補助装置(フランツシステム)装着 国産1号車完成(シビック) ・ロンドン証券取引所に上場 ・第1回ホンダ・エコノパワー燃費競技大会を鈴鹿と埼玉県 桶川にて開催。優勝チームの記録は292.5km/L(鈴鹿)、621.8km/L(桶川) ・ホンダエレクトロジャイロケータ発表(世界初*の自動車用地図型カーナビゲーションシステム) ・EPA(米国環境保護庁)による1982年型車燃費テストでシビックが40マイル/ガロン突破。ガソリン車で初*の記録 ・特例子会社、ホンダ太陽(株)設立 ・英国 BL社にてバラードベースのライセンス生産車 トライアンフ・アクレームを英国で発売 ・米国に、四輪車用パーツ生産会社ベルマー・パーツ・インダストリーズ*(BPI)設立 ※AH、東京シート(株)、三恵技研工業(株)の出資による 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャリイ50/70 ・スーパーカブ50 ・シルクロード ・イーハトーブ ・CB750F ・CB750カスタム ・タクトフルマーク ・CT110 ・スカッシュ ・250T LAカスタム/250T マスター ・ATC110(三輪バギー) ・ATC185S(三輪バギー) ・ATC200(三輪バギー) ・ATC70(三輪バギー) ・CBX400F ・XL250R ・ストリーム(ホンダ初の三輪スクーター) ・モトコンボ ・CX500 TURBO(輸出専用車) ・CG125AL(ブラジル製・専用のアルコール燃料対応車) ・CG125(ナイジェリアで初生産の海外専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・対米乗用車輸出を年間168万台とする自主規制開始 ・自動車生産台数2年連続世界第1位、二輪車生産741万台で史上最高 ・四輪車輸出600万台突破で過去最高、二輪車輸出436万台で過去最高 	<p>二輪車</p>  シャリイ50  スーパーカブ50  シルクロード  イーハトーブ  CB750F  CB750カスタム  タクトフルマーク  CT110  スカッシュ  250T LAカスタム  ATC110  ATC185S  ATC200  ATC70  CBX400F  XL250R  ストリーム  モトコンボ  CX500 TURBO  CG125AL	<p>四輪車</p>  アクティバン・ハイルーフ  アクティストリート・ハイルーフ  アコード(サルーン)  ビガー(サルーン)  トライアンフ・アクレーム  シティ  シティ・プロ	<p>パワープロダクト</p>  船外機BF75  ミニティラー ハウス用こまめF200M  発電機EB1500  発電機EM1500  汎用エンジンG100  発電機EC1500  除雪機アクトスノースーパー・S35A  発電機EB2800  発電機EMS2800  芝刈機HR17

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1982	<ul style="list-style-type: none"> 中国 嘉陵機器廠(国営二輪車生産会社)との技術提携により、二輪車生産開始 熊本製作所、省エネルギー活動で通産大臣賞受賞 (株)本田技術研究所 和光研究所栃木研究室発足 スペイン モンテッサ社と二輪車に関する技術供与契約締結 埼玉製作所真岡工場、エンジン組み立て開始 (株)レインボーモーターズスクール、交通教育センターレインボー浜松 開設 レース活動運営会社(株)ホンダ・レーシング(HRC)設立 ミニティラー F200こまめ、発売から2年7カ月で国内販売累計10万台達成* 南アフリカ ユナイテッド・カー・アンド・ディーゼルのディストリビューターズ社(UCDD)でバラード生産開始 ホンダ独自開発による四輪アンチロック・ブレーキシステムを国産車で初めて*プレリウドに搭載 米国 HAM四輪車生産工場にて乗用車生産第1号車アコードがラインオフ(日本の自動車メーカーとして初*の米国・現地乗用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CB650 ラグジュアリーカスタム ・ランナウェイ ・MBX50 ・MTX50 ・XL125R ・リード50 ・リード80 ・CB400 ラグジュアリーカスタム ・CX-EURO ・VF750セイバー ・VF750マグナ ・XL400R ・スーパーカブ50 ・スカイ ・スペイシー ・125Tマスター ・CB125T ・FT400/FT500 ・MCX50 ・VT250F ・モトラ ・CBX400Fインテグラ/CBX550Fインテグラ ・XL250R(パリ・ダカール) ・CB750Fインテグラ ・250T マスター S-D ・タクト/タクトフルマーク ・CR250R/CR125R/CR80R(競技専用車) ・QR50(競技専用車) ・XL200R ・ジャイロX ・スペイシー 80 ・MTX125R ・CB125JX ・CBX650カスタム ・NV750カスタム ・VF750F ・VF400F ・リード125 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリップス、世界初のCD (フィリップス ソニー共同開発)生産開始 ・東北上越新幹線開業 ・中央自動車道全通 	<p>二輪車</p>	<p>四輪車</p>	<p>パワープロダクト</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1983	<ul style="list-style-type: none"> ・F1世界選手権への参戦発表 ・鈴鹿製作所、無災害250万時間達成 ・英国 BL社とのXX車*共同製造契約調印 ※1985年英国生産・欧州向けレジェンド、1986年英国生産・ローバー 800、1987年日本生産・ローバースターリング ・浜松製作所に汎用機工場完成 ・シンガポールにシンガポール・セーフティードライビング・センター(SSDC)設立(教習開始は二輪車が1985年4月、四輪車が9月) ・F1世界選手権、第9戦イギリスGP、1.5ℓV6ターボエンジンRA163E搭載のSpirit-Honda(スピリット・ホンダ201C)が初参戦 ・米国に汎用製品生産会社ホンダパワーイクイップメント・マニュファクチャリング(HPE)設立 ・鈴鹿サーキットに約2万人が集い、創立35周年記念行事HONDA HUMAN JAMBOREE '83開催 ・(株)ホンダ用品研究所が(株)ホンダ用品技研に社名変更 ・モジュール・トランスファーマシン開発チームが昭和58年度精機学会技術賞を受賞 ・河島喜好が退任、取締役最高顧問に就任 久米是志が3代目社長就任 ・シビック/バラードシリーズが1983-1984日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞 ・WGP500ccクラスでホンダ初のライダーチャンピオン獲得(NS500、フレディ・スベンサー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・MTX200R/MTX80R/MTX50R ・MVX250F ・スーパーカブ50スーパーカスタム/スーパーカブ50 ・タクティ ・CBX400カスタム ・CXカスタム ・MBX125F ・NV400カスタム ・NV400SP ・XL125R パリ・ダカール ・スペイシー 125ストライカー ・タクト・クレージュ仕様 ・TL125/TLR200 ・XLX250R ・エクスプレス ・ジョイ ・リーダー ・CBX250RS ・ジャスト ・MBX80インテグラ ・VT250Fインテグラ ・ウイング インターステート ・ポーカル ・XLV750R ・ATC200X/ATC110(三輪バギー) ・イブ ・CBR400F ・CBX750F ・GB250クラブマン ・TLM50 ・ビート ・フラッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国自動車道全線開通 ・3年車検を盛り込んだ道路運送車両法施行 ・無鉛ハイオクガソリン発売 ・原付自転車一種に速度警報装置義務付け
	<ul style="list-style-type: none"> ・TNアクティ/アクティバン(4WD) ・バラードスポーツCR-X ・シビック(3ドア/4ドア/5ドア シャトル) ・シビック プロ ・バラード(4ドア) ・シティ ターボII 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電機EX750/EX750NT 茶園用 ・汎用エンジンGX110/GX140 ・耕うん機F310 ・発電機EB1200X/EB1500X/EB2000X ・発電機EM1500X/EM2000X ・発電機ET5000Z ・発電機EW170(溶接・発電兼用) ・管理機F410/F510 ・発電機EC900X/EC1200X/EC1500X/EC2000X ・耕うん機F610/F660 ・水ポンプWB20X/WB30X 	

二輪車				四輪車	パワープロダクト
					 
MTX200R	MVX250F	スーパーカブ50 スーパーカスタム	タクティ		
					 
CBX400カスタム	CXカスタム	MBX125F	NV400カスタム	バラードスポーツCR-X	耕うん機F310 発電機EB1200X
					 
NV400SP	XL125R パリ・ダカール	スペイシー 125ストライカー	タクト・クレージュ仕様	シビック(3ドア)	発電機EM1500X 発電機ET5000Z
					 
TLR200	XLX250R	エクスプレス	ジョイ	シビック(4ドア)	発電機EW170 管理機F410
					 
リーダー	CBX250RS	ジャスト	MBX80インテグラ	シビック プロ	発電機EC900X 耕うん機F610
					
VT250Fインテグラ	ウイング インターステート	ポーカル	XLV750R	バラード (4ドア)	水ポンプWB30X
					
ATC200X	イブ	CBR400F	CBX750F	シティ ターボII	
					
GB250クラブマン	TLM50	ビート	フラッシュ		

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1984	<ul style="list-style-type: none"> ・インド ヒーローグループと二輪車生産合併契約調印、ヒーロー・ホンダ・モーターズ(HHML)設立 ・インド カイナティック・エンジニアリング社との二輪車(スクーター)生産販売合併会社カイナティック・ホンダ・モーター(KHM)設立 ・狭山工場での二輪車生産終了(浜松製作所に移管) ・最高顧問 本田宗一郎、三重県県民功労者章受章 ・タイ バンチャン・ゼネラル・アッセンブリー(BGAC)にて四輪車委託生産開始 ・国内サービス・パーツ供給機能と(株)ホンダSFを集約し(株)ホンダサービス(HSG)設立 ・F1 世界選手権、第9戦ダラスGPでウィリアムズ・ホンダ初優勝(ウィリアムズホンダFW09、ケケ・ロズベルグ)エンジンサプライヤーとして初勝利 ・国内四輪車新販売チャンネル ホンダ・クリオ店稼働 ・米国 HPE稼働、芝刈機生産開始 ・北米での四輪車研究・開発拠点、ホンダR&Dノースアメリカ(HRA)設立 ・第1回NHサークル世界大会を鈴鹿サーキットにて開催 ・カナダに、ホンダ・オブ・カナダ・マニュファクチャリング(HCM)設立 ・(株)ホンダ・エス・アール 発展的解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・VF400Fインテグラ ・CBX750ホライゾン ・VT250F ・イブスマイル ・ビーブル ・CBX125F ・CBX125Fカスタム ・NS250F ・NS250R ・タクト/タクトフルマーク ・ATC70/110/200X(三輪バギー) ・ロードフォックス ・CBR400Fエンデュランス ・スペースー 250フリーウェイ ・VT250Z ・リード・スーパーデラックス ・モンキー(ゴールドメッキ仕様) ・ATC250R(三輪バギー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物品税、自動車税、軽自動車税引き上げ ・自動車運転免許所持者、5,000万人突破
		<ul style="list-style-type: none"> ・シティ カプリオレ ・シビック Si ・バラードスポーツCR-X Si ・シビックシャトル(4WD) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・発電機EX550 ・ミニティラー標準こまめF210(K)/セル付きこまめF210(KS)/ロータリーIこまめF210R1(KR1)/ロータリーIIこまめF210R2(KR2)/果樹園用こまめF210(Q)/茶園用こまめF210P(P)/うねたてこまめF210(L) ・水ポンプWB10/WB15 ・船外機BF20 ・芝刈機HRA214 ・水ポンプWH15X/WH20X(高圧タイプ) ・除雪機スノーラHS55 ・除雪機スノーラHS70 ・発電機EC550(キャリアハンドル付) ・発電機EC550(フルフレーム付) 	

二輪車				四輪車	パワープロダクト
VF400Fインテグラ	CBX750ホライゾン	VT250F	イブスマイル	シビック Si	ミニティラーセル付きこまめF210(KS)
ビーブル	CBX125F	CBX125Fカスタム	NS250F	バラードスポーツCR-X Si	水ポンプWB15
NS250R	タクト	ATC70	ロードフォックス	シビックシャトル(4WD)	芝刈機HRA214
CBR400Fエンデュランス	スペースー 250フリーウェイ	VT250Z	リード・スーパーデラックス	除雪機スノーラHS55	
					発電機EC550(キャリアハンドル付)
モンキー	ATC250R			発電機EC550(フルフレーム付)	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1985	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダプリモ店稼働、国内四輪車販売チャンネルが3系列となる ・自動車用FRM*アルミコンロッド量産実用化成功 ※繊維強化金属材料 ・英国に、ホンダ・オブ・ザ・UKマニュファクチャリング(HUM)設立 ・インドに、汎用製品生産合弁会社 シュリラム・ホンダ(SHPL)設立 ・フランスに、汎用製品生産会社 ホンダ・フランス・インダストリアル(HFI)設立 ・米国 HAMアンナ二輪車用エンジン工場(AEP)生産開始 ・汎用製品生産累計1,000万台達成 ・特例子会社、希望の里ホンダ(株)設立 ・軽商用車アクティシリーズ、八千代工業(株)へ生産委託 ・東京都港区南青山2丁目1番地1号にホンダ青山ビル完成、本社を移転 ・インド HHML二輪車生産工場生産開始 ・メキシコに、ホンダ・デ・メヒコ S.A. de C.V.設立(HDM) ・ホンダ福岡ビル完成 ・ブラジルに、ホンダ・コンポーネンツ・ダ・アマソニア設立 ・アコード・ピガースシリーズ、1985-1986日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・MTX200R2 ・CBX250S ・TLM200R ・DJ-1 ・XLR250R ・XR250R(競技専用車) ・レブル ・CBX750Fボルドール ・NS400R ・ゴリラ ・モンキー ・イブックス/イブックスS ・リード80SS ・GB400ツリーストロフィー/GB500ツリーストロフィー ・ATC250R/ATC200X(三輪バギー) ・CBR400F ・GB400ツリーストロフィー MkII ・XL600Rファラオ ・ATC125M(三輪バギー) ・MTX50R ・ジャイロ アップ ・TRX200SX/TRX70(四輪バギー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車保有、1,000万台突破 ・5カ国蔵相中央銀行総裁会議(G5)、ドル高是正の市場協調介入で合意(ブラザ合意) ・道路交通法改正、前席シートベルト着用義務付け ・関越自動車道全通 	<p>二輪車</p>  MTX200R2  CBX250S  TLM200R  DJ-1  XLR250R  XR250R(競技専用車)  レブル  CBX750Fボルドール  NS400R  ゴリラ  モンキー  イブックス  リード80SS  GB400ツリーストロフィー  ATC250R  CBR400F  GB400ツリーストロフィー MkII  XL600Rファラオ  ATC125M  MTX50R  ジャイロ アップ  TRX70	<p>四輪車</p>  クイントインテグラ(3ドア)  アコード  アコードエアロデッキ  トゥッティ  レジェンド	<p>パワープロダクツ</p>  発電機EX2000  船外機BF50  汎用エンジンGX240  発電機EX900  乗用芝刈機HT3810  草刈機刈丸UM17-SJ  発電機EM550  耕うん機F310  乗用芝刈機HT-R3009  除雪機スノーラHS80  芝刈機HR173  汎用エンジンGX340  運搬機力丸HP250  発電機EB3000  発電機EB900  発電機EM3000  発電機EW140  発電機EX4000  乗用管理機マイティ11  草刈機刈丸UM-24  発電機EXW140

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪	四輪	パワープロダクツ
1986	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ・ダカールラリー二輪車部門優勝(1989年まで4連勝)(NXR750) ・フランス HFI操業開始 ・二輪営業部とモーターレクリエーション推進本部、MT(モータートラック)プロジェクト発足 ・インドネシアに、四輪車用エンジン・汎用部品生産合弁会社PTホンダ・ブロスベクト・エンジン・マニファクチュアリング(HOPE)設立 ・タイに、二輪車販売合弁会社 A.P.ホンダ(APH)設立 ・ポルトガルに、二輪車販売会社 ホンダ・モーター・デ・ポルトガル(HP)設立 ・米国に、第2の四輪車販売チャンネル ACURA(アキュラ)設立 ・(株)本田技術研究所 和光研究センター設立 ・英国 BL社とホンダ・バラードのBL社による生産委託契約締結 ・ヒューマノイド・ロボット研究開始 ・航空機と航空機エンジン研究開始 ・埼玉製作所真岡工場を真岡部品製作所として発足 ・米国 HAMにてシビック生産開始 ・米国 CSI調査(J.D.パワー・アンド・アソシエイツ社)でホンダが1位獲得(1987年から1989年までアキュラが3年連続1位) ・F1世界選手権、ウィリアムズ・ホンダが初のコンストラクターズチャンピオン獲得 ・米国 HAMアンナエンジン工場にて、四輪車用エンジン生産開始(シビック) ・世界初*舵角応動型四輪操舵システム(4WS)発表 ・カナダ ホンダ・オブ・カナダ・マニファクチュアリング(HCM)にて四輪車生産開始 ・米国の月間乗用車販売において、GM、フォードに次ぐ初の3位*となる(11月) ・国内年間 登録車(乗用車・トラック・バス含む、軽自動車を除く)でトヨタ、日産に次ぐ初の3位*となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・DJ・1R ・CBR250FOUR ・TLR250R ・VFR400R ・VFR400Z ・VFR750F ・VT250F ・ジャズ ・シャドウ ・タクトアイビー ・フュージョン ・DJ・1L ・XR80R(競技専用車) ・CBR400R ・XR250R(競技専用車) ・NSR250R ・XLR250R ・FTR250 ・シビックシャトル(リアルタイム4WD) ・クイントインテグラ(4ドア) ・シティ ・動力噴霧機WJ150/WJ250/WJ300(ホンダ初の動力噴霧機) ・動力噴霧機WJ250H(高圧タイプ) ・バインダー TB260(一輪一条)(ホンダ初のバインダー) ・バインダー TB360(二輪一条) ・バインダー TB560A/TB560B(二輪二条) ・運搬機力丸HP400CJ/HP400BJ ・草刈機刈丸UM-21 ・乗用芝刈機HT-R3811 ・一輪管理機FR215/FR315 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等法施行 ・労働者派遣事業法施行 ・東北自動車道全通 ・原付自転車一種のヘルメット着用義務化 ・自動車運転中のシートベルト着用義務化 ・自動車保有台数、5,000万台突破 	<p>二輪</p>	<p>四輪</p>	<p>パワープロダクツ</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1987	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ホンダサービス(HSG)サービス部門をホンダに集約、部品・用品供給開始 ・SRSエアバッグシステム発表(国内初※、レジェンドシリーズに搭載) ・タイ THにて汎用エンジン生産開始 ・ホンダ札幌ビル完成 ・米国 ロサンゼルスに、北米事業統括会社ホンダ・ノース・アメリカ(HNA)設立 ・(株)ホンダランドが(株)鈴鹿サーキットランドに社名変更 ・(株)ホンダ用品技研が(株)ホンダアクセスに社名変更 ・米国における開発生産体制拡充、米国生産車輸出計画など5つの戦略(ファイブパート・ストラテジー)を日米同時発表 ・タイ TH製汎用エンジン輸出開始 ・ブラジル HDA、二輪車生産累計100万台達成※ ・熊本製作所、二輪車・バギー・汎用製品 生産累計1,000万台達成※ ・F1世界選手権、第15戦日本GP、初開催の鈴鹿サーキットでウィリアムズ・ホンダのネルソン・ピケがドライバーズチャンピオン獲得 ・国内営業体制(二輪車・四輪車・汎用製品)の本社・支店機能を一元化 ・二輪車生産累計5,000万台達成(日本自動車工業会調べ) ・ホンダ独自のCSI調査開始(日本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクトフルマーク ・CBR750スーパーエアロ ・GB250クラブマン ・NS50Fエアロ ・スペースイ 125 ・CBR250R ・VFR400R ・モンキー R ・V45マグナ ・VTZ250 ・トランザルプ600V ・バル ・NSR50 ・NS125R(イタリア製) ・VFR750R ・XLR80R ・NSR80 ・TRX250R(四輪バギー) ・AX-1 ・XLR パバ 	<ul style="list-style-type: none"> ・国鉄の分割・民営化 ・鈴鹿サーキットでF1日本グランプリ開催 ・米ニューヨーク株式市場大暴落(ブラックマンデー) 	<p>二輪車</p>  タクトフルマーク  CBR750スーパーエアロ  GB250クラブマン  NS50Fエアロ  スペースイ 125  CBR250R  VFR400R  モンキー R  V45マグナ  VTZ250  トランザルプ600V  バル  NSR50  NS125R  VFR750R  XLR80R  NSR80  TRX250R  AX-1  XLR パバ	<p>四輪車</p>  レジェンド(2ドアハードトップ)  プレリユード  アコードCA  シビック(3ドア)  シビック(4ドア)  シビックシャトル  CR-X	<p>パワープロダクト</p>  乗用芝刈機HT4213  水ポンプWT20X  芝刈機HRA216  田植機TPR40  ハーベスター TH400  水ポンプWT40X  除雪機スノーファイターHS1075Z  除雪機雪丸HS555  発電機EV6010  発電機EX300  船外機BF9.9A  田植機TP2  発電機HIPPO

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

























年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1988	<ul style="list-style-type: none"> インド シュリラム・ホンダ・パワーイクイップメント(SHPL)にて汎用製品生産開始 オーストラリア ホンダ・マニュファクチャリング・オーストラリア(AUH-MPE)にて芝刈機生産開始 スペインに四輪車販売会社 ホンダ・オートモビル・エスパーニャ(HAESA)設立 メキシコ ホンダ・テ・メヒコ(HDM)にて二輪車生産開始 本田技術研究所のドイツ駐在員事務所HREを現地法人化 (株)ホンダダイレクトマーケティング設立 (株)ホンダリース設立 米国HAM製アコードクーペ/ゴールドウイングを日本に輸入・発売 シンガポールに合弁でプキ・パド・ドライビング・センター(BBDC)設立(1990年4月に開校) ホンダ信販(株)が(株)ホンダファイナンスに社名変更 米国 ホンダエンジニアリング・アメリカ支店(EG-A)を現地法人化し、ホンダエンジニアリング・ノースアメリカ(EGA)設立 (株)アクトトレーディングが(株)ホンダトレーディングに社名変更 ニュージーランドに、四輪車生産販売会社ホンダニュージーランド(HNZ)設立 四輪車用エンジン高効率化技術、可変バルブタイミングリフト機構(VTEC)/可変ウイングターボシステム発表 F1世界選手権、第15戦 日本GPでマクラーレン・ホンダのアイルトン・セナが優勝、初のドライバーズチャンピオン獲得 F1世界選手権、最終戦オーストラリアGPでマクラーレン・ホンダが優勝、16戦中15勝 モビリティワールドもてぎ(仮称)構想を発表 最高顧問 藤澤武夫逝去(12月30日、享年78歳) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBR400RR ・NSR250R/NSR250R SP ・スティード ・ブロス プロダクト1/プロダクト2 ・ディオ ・CRM50 ・DJ・1RR ・プレスカブ50 ・CRM80 ・NX125 ・TLM220R ・CD250U ・ゴールドウイング(米国製) ・スーパーカブ30周年記念特別仕様車 ・バックスクラブ ・リード/リード90 ・CBR250R ・アフリカツイン ・カブ100EX(タイ製) ・CR250R(競技専用車) ・VT250 スパーダ ・トゥッデイ(軽乗用車タイプ) ・アコード クーベ(米国製) ・アクティストリート ・アクティ・バン プロ ・コンチェルト(4ドア/5ドア) ・耕うん機こまめパンチF310 ・乗用管理機マイティ13R ・汎用エンジンGD320/GD410(ディーゼル) ・トラクターTX18/TX20(ホンダ初のトラクター) ・汎用エンジンGD1100/GD1250(ディーゼル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界最長(当時)の青函トンネル開通 ・フロン規制法施行 ・交通事故死者数、再び1万人突破 	<p>二輪車</p>	<p>四輪車</p>	<p>パワープロダクツ</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1989	<ul style="list-style-type: none"> ・FF車用駆動力制御システム、TCS(トラクションコントロールシステム)を発売(世界初*) ・(株)レインボーモータースクールがHSR九州、交通教育センターレインボー熊本開設 ・最高顧問 本田宗一郎、日本人初の米国自動車殿堂 (Automotive Hall of Fame)入り ・ポルトガルに、四輪車・部品輸入販売会社 ホンダ・オートモービル・テ・ポルトガル(HAP)設立 ・ローバグループと提携強化、英国 HUM四輪車工場建設に関する覚書に調印 ・英国に、欧州本社 ホンダ・モーター・ヨーロッパ(HME)設立 ・1989年米国モデル別乗用車販売台数でアコードがベストセラーカーとなる ・米国 HAM四輪車生産第2工場(イーストリバティ工場 ELP)稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ・G' (ジーダッシュ) ・VFR400R ・NSR250R ・CB-1 ・タクト(スタンドアップ仕様) ・CRM250R ・NSR250R SP ・カブ100EX(タイ製) ・NSR125F(イタリア製) ・フリーウェイ ・CR250R/CR125R(競技専用車) ・GB250クラブマン ・ジャイロX ・ディオ ・CG125NR(ナイジェリア生産/海外専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和天皇崩御、明仁皇太子殿下ご即位「平成」に改元 ・初の消費税3%導入(物品税廃止) ・ベルリンの壁崩壊 ・国内4輪車生産が1,302万5,741台で史上最高記録を更新、10年連続で世界一
		<ul style="list-style-type: none"> ・インテグラ (3ドア/4ドア ハードトップ) ・アコード ・アスコット ・アコード インスパイア ・ビガー 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・耕うん機こまめF210 ・耕うん機F410/F510 ・ハーベスタTH40A/TH45A ・乗用芝刈機H3011H/H3013H ・除雪機スノーラHS1190 ・管理機F1100/ティラー F1150 ・管理機F810/ティラー F860 ・除雪機スノーラHS870S/HS660S 	



















二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
G'	VFR400R	NSR250R	インテグラ(3ドア)	アコード	耕うん機こまめF210	耕うん機F410
						
CB-1	タクト	CRM250R	アスコット	アコード インスパイア	ハーベスタTH45A	乗用芝刈機H3011H
						
NSR250R SP	カブ100EX	NSR125F	ビガー		除雪機スノーラHS1190	管理機F1100
						
フリーウェイ	CR125R	GB250クラブマン			ティラー F860	除雪機スノーラHS870S
						
ジャイロX	ディオ					

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1990	<ul style="list-style-type: none"> ・米国 HPEにて欧州向け芝刈機用エンジン生産開始 ・ローバグループとの資本提携契約調印 ・英国 ホンダエンジニアリング・ユーロオフィス(EG-E)を現地法人化、ホンダエンジニアリング・ヨーロッパ(EGE)設立 ・埼玉製作所栃木工場発足 NSX生産開始 ・久米是志が退任、川本信彦が4代目社長就任 ・日本メーカー初*の助手席用SRSエアバッグシステム、シートベルト・プリテンショナーを開発 ・米国 ACURA(アキュラ)チャンネルでNSX販売開始 ・ホンダエンジニアリング(株)栃木技術センター(EG-T)発足 ・フィリピンに、四輪車生産合併会社 ホンダ・カーズ・フィリピンズ(HCPI)設立 ・米国 AHが、ロサンゼルス市ガーデナーからトランスへ移転 ・最高顧問 本田宗一郎、鈴鹿市より鈴鹿名誉市民章を受章 	<ul style="list-style-type: none"> ・XR100R(競技専用車) ・NSR250R ・ズーク ・CBR250RR ・CBR400RR ・VFR750F ・アフリカツイン ・NSR250R SP ・EZ-9 ・パシフィックコースト ・ゴールドウイングSE(米国生産10周年) ・ジャイロキャノピー ・ディオ ・アコード クーベ(米国製) ・アクティトラック ・アクティバン ・ストリート ・トゥデイ ・NSX(米国ACURA・チャンネル) ・NSX ・レジェンド ・芝刈機HRC216(米国製) ・芝刈機HR173(米国製) ・芝刈機HRA215(米国製) ・耕うん機FU600 ・乗用芝刈機H4514H 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車、規格改定(全長排気量660cc拡大)施行 ・自動車保管場所確保法公布、軽自動車に車庫義務付け(東京23区 大阪市) ・東西ドイツ統一、ドイツ連邦共和国誕生 ・四輪車新車登録台数、700万台突破(7,777,665台) 	<p>二輪車</p>  XR100R  NSR250R  ズーク  CBR250RR  CBR400RR  VFR750F  アフリカツイン  NSR250R SP  EZ-9  パシフィックコースト  ゴールドウイングSE  ジャイロキャノピー  ディオ	<p>四輪車</p>  アコード クーベ  アクティトラック  アクティバン  アクティストリート  トゥデイ  NSX(ACURA)  NSX  レジェンド	<p>パワープロダクツ</p>  芝刈機HRC216  芝刈機HR173  芝刈機HRA215  耕うん機FU600  乗用芝刈機H4514H

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1991	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)本田技術研究所 和光基礎技術研究センター(HGF)発足 ・ローバグループとアコード/コンチェルトの開発など新たな協力関係の覚書に調印 ・(株)ホンダパーキング設立 ・ホンダ大阪ビル完成 ・四輪車用 VTEC-E エンジンを発表 ・二輪車安全運転教育用「ホンダ・ライディングシミュレーター」を交通教育センター鈴鹿に設置 ・最高顧問 本田宗一郎 逝去(8月5日、享年84歳) ・鈴鹿製作所での二輪車生産終了、熊本製作所と浜松製作所へ生産移管 ・本田宗一郎 お礼の会 開催。本社・栃木・浜松・鈴鹿・熊本・埼玉の6会場で延べ6万2,000人が来場 ・オーストラリアに、二輪車販売・汎用製品(芝刈機)生産販売会社 ホンダ・オーストラリア・モーターサイクル&パワーイクイップメント(AUH-MPE)設立 ・チェコ・スロバキアに、輸入販売事業所 ブラハ事務所(HPR)設立 ・市場での使用済みプラスチックバンパーの回収・リサイクルを国内自動車メーカーとして初めて*本格スタート ・シビックが1991-1992日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・XR200R(競技専用車) ・NS-1 ・モンキー バハ ・CRM250R ・ジェイド ・XLティグリー ・NSR250R・SE ・CR250R(競技専用車) ・ナイトホーク750 ・ゼルビス ・トランザルプ400V ・イーゼースノー(雪上走行専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バブル景気崩壊、'86/12~'91/2の51カ月間 ・リサイクル法施行 ・オートマチック車限定運転免許制度発足 ・10・15モード燃費基準導入スタート
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジープ チェロキー(米国クライスラー製) ・ジープ ラングラー(米国クライスラー製) ・レジェンド クーベ ・アコード クーベ/アコード ワゴン(米国製) ・ビート ・シビック ・シビック フェリオ ・プレリウド 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機UM2460/UM2160 ・一輪管理機FR315 ・発電機EG2300X/EB2300X/EM2300X ・管理機パンチ2F501/F805 ・一輪管理機FR415/FR615 ・除雪機スノーブルSB665(ブレード式) ・発電機EX2200 	

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
XR200R	NS-1	モンキー バハ	ジープ チェロキー	ジープ ラングラー	草刈機UM2460	一輪管理機FR315
						
CRM250R	ジェイド	XLティグリー	レジェンド クーベ	アコード クーベ	発電機EG2300X	管理機パンチ2F501
						
NSR250R・SE	CR250R	ナイトホーク750	ビート	シビック	一輪管理機FR615	除雪機スノーブルSB665
						
ゼルビス	トランザルプ400V	イーゼースノー	シビック フェリオ	プレリウド	発電機EX2200	

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1992	<ul style="list-style-type: none"> ・社是を「わたくしたちは、世界的視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす」に改定 ・フィリピン HCPIにて四輪車(シビック)生産開始 ・TQM*全社展開 ※Total Quality Management ・トルコに、四輪車販売合弁会社 アナドルホンダ・オートモビルセリック(TAH)設立 ・環境に関する取り組み方針 ホンダ環境宣言を制定 ・埼玉製作所栃木工場を栃木製作所 高根沢工場、真岡部品製作所を栃木製作所 真岡工場に名称変更 ・(株)本田技術研究所の特例子会社、ホンダR&D太陽(株)設立 ・中国に、二輪車生産販売合弁会社 五羊-本田摩托(広州)有限公司(WHM)設立 ・タイに、ホンダ・カーズ・マニュファクチャリング(タイランド)(HCMT)設立 ・F1世界選手権、1992年シーズンをもって参戦終了を発表 ・英国 HUM四輪車工場稼働、アコード生産開始 ・パキスタンに、四輪車生産販売合弁会社 ホンダ・アトラス・カーズ・パキスタン(HACPL)設立 ・中国に、二輪車生産販売会社 天津本田摩托有限公司(TJH)設立 ・汎用製品生産累計2,000万台達成* 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディオ ZX ・CB750 ・ジョルノ ・ナイトホーク250 ・CB400 SUPER FOUR ・NR ・CBR600F ・CB1000 SUPER FOUR ・Z50R(競技専用車) ・インスパイア ・ビガー ・CR-X テルソル ・アスコット イノーバ ・NSX-R ・ドマーニ ・芝刈機HL164(リール式) ・船外機BF35A/BF45A ・芝刈機HRE350(電動式・イタリア製) ・運搬機力丸HP500H ・高圧洗浄機WS70(ホンダ初の高圧洗浄機) 	<ul style="list-style-type: none"> ・対米乗用車輸出規制枠 165万台、対EC自動車輸出枠 126万台で合意 ・山形新幹線開業 ・米加メキシコが北米自由貿易協定(NAFTA)合意

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
ディオ ZX	CB750	ジョルノ	インスパイア	ビガー	芝刈機HL164	船外機BF45A
						
ナイトホーク250	CB400 SUPER FOUR	NR	CR-X テルソル	アスコット イノーバ	芝刈機HRE350	運搬機力丸HP500H
						
CBR600F	CB1000 SUPER FOUR	Z50R	NSX-R	ドマーニ	高圧洗浄機WS70	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1993	<ul style="list-style-type: none"> ・スペインに、二輪車安全運転訓練センター開設 ・中国に、二輪車生産販売合併会社 嘉陵-本田発動機有限公司 (JLH)設立 ・汎用エンジンGX120が米国カリフォルニア州で発効される世界初の汎用エンジン排出ガス規制に第1号としてCARBより認可 ・香港に、二輪車・四輪車販売会社 ホンダ・モーター・チャイナ (HMC)設立 ・いすゞ自動車(株)と商品の相互補完で基本契約締結 ・栃木製作所芳賀工場 設立(四輪車デファレンシャルギヤ製作) ・ブラジル HDAにて発電機生産開始 ・鈴鹿サーキットに、ホンダコレクションホール開館 ・米国に、AHの出資によるイーグル・ロック・スクール[®]設立 ※全寮制奨学金付高校 ・浜松製作所汎用機工場ISO9001 認証取得(ホンダ国内工場初) ・ホンダ特装(株)設立 ・オーストラリアを縦断するワールドソーラーチャレンジ[®]1993に参戦、新記録優勝 ※ソーラーカーレース ・アコード、1993-1994日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞 ・UAEに、中近東事務所(HAMER)設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクト ・CBR1000F ・アフリカツイン ・ジャイロUP ・XLR125R/XLR200R ・マグナ ・NSR250R ・NSR250R SP 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン乗用自動車の燃費基準改正 <2000年度目標> ・欧州連合(EU)発足(マーストリヒト条約発効) ・環境基本法制定
		<ul style="list-style-type: none"> ・トゥッデイ ・シビック クーベ(米国製) ・トゥッデイ アソシエ(4ドア) ・インテグラ(3ドア/4ドアハードトップ) ・アコード ・アスコット/ラファーガ ・ジャズ(いすゞ自動車製) ・クロスロード(英国ローバー製) ・ジープ・グランドチェロキー(米国クライスラー製) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機UM1760(あぜ草用) ・高圧洗浄機WS60/WS110/WS150 ・高圧洗浄機WSE60(電動式) ・芝刈機HRB215(米国製) ・ミニティラーミニこまめF110 ・耕うん機ラッキー FU650/FU450 ・汎用エンジンGX610/GX620 	

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
タクト	CBR1000F	アフリカツイン	トゥッデイ	シビック クーベ	草刈機UM1760	高圧洗浄機WS110
						
ジャイロUP	XLR125R	マグナ	トゥッデイ アソシエ(4ドア)	インテグラ(3ドア)	高圧洗浄機WSE60	芝刈機HRB215
						
NSR250R	NSR250R SP		アコード	ラファーガ	ミニティラーミニこまめF110	耕うん機ラッキー FU650
						
			ジャズ	クロスロード	汎用エンジンGX620	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1994	<ul style="list-style-type: none"> ・タイに、安全運転教育センター開所 ・ベトナムに、ベトナム事務所(HVO)開設 ・埼玉製作所狭山工場、労働省第3種無災害記録1,580万時間を達成 ・中国・北京に、ホンダ初の四輪車ショールーム設置 ・パキスタン HACPLにて四輪車生産開始 ・ローバグループとの資本提携解消に合意 ・中国に、HMC上海事務所(HMC-S)開設 ・新組織運営体制施行、四極(米州、欧州、アジア、日本)自立化 ・WGP500ccクラスでミック・ドゥーハンがチャンピオン獲得(1998年まで5連覇) ・埼玉製作所狭山工場、四輪車生産累計1,000万台を達成 ・浜松製作所、労働省第3種無災害記録1,580万時間を達成 ・中国に、小型発電機生産販売合弁会社 福建閩東-本田発電機組有限公司(FMH)設立 ・国内開発・生産工程でのオゾン破壊物質(特定フロン、トリクロロエタン)使用全廃達成 ・中国 東風汽車公司との鑄・鍛造部品生産合弁会社 東風本田汽車零部件有限公司(DHAC)設立に調印 	<ul style="list-style-type: none"> ・RVF ・RVF/RC45 ・スーパーカブ100(タイ製) ・ディオ ・ゴールドウイング SE 20周年記念車(米国製) ・レブル ・CRM250R ・CUV ES(電気スクーター・官公庁向けリース販売) ・ディオXR ババ ・フォートラックス300EX/フォートラックス90(四輪バギー) ・V-TWINマグナ ・CB1000 SUPER FOUR・T2 ・マグナ・RS ・キャビーナ(50/90) ・ホライゾン(いすゞ自動車製) ・アコード クーベ/アコード・ワゴン(米国製) ・オデッセイ ・シビック 5ドア(英国製・欧州専用車) ・除雪機スノーラHS980 ・高圧洗浄機WSX110/WSX150 ・草刈機あぜ丸2UM135/あぜ丸1UM643(あぜ草用) ・投光機 EM4002 ・発電機EG900/EB1500 ・トラクターマイティ130D(ディーゼル・クボタとの共同開発) ・乗用芝刈機H1011(米国製) ・トラクターTX160/TX240/TX260/TX280/TX300/TX320(クボタ製) ・芝刈機HRF464 ・除雪機スノーラHS870/HS970 	<ul style="list-style-type: none"> ・NAFTA(北米自由貿易協定)発効 ・通産省、対米乗用車輸出自主規制撤廃発表 ・通産省、EU委員会と自動車輸出台数98万4,000台で合意 ・自工会、'93年度自動車生産1,084万9,827台と発表。14年振りに米国が世界一 ・関西国際空港開港 ・日米包括協議、自動車、部品分野を除き3分野で合意 	<p>RVF</p>  <p>RVF/RC45</p>  <p>スーパーカブ100</p>  <p>ディオ</p>  <p>ゴールドウイング SE</p>  <p>レブル</p>  <p>CRM250R</p>  <p>CUV ES</p>  <p>ディオ XR ババ</p>  <p>フォートラックス300EX</p>  <p>V-TWINマグナ</p>  <p>CB1000 SUPER FOUR・T2</p>  <p>マグナ・RS</p>  <p>キャビーナ(50)</p> 	<p>ホライゾン</p>  <p>アコード クーベ</p>  <p>アコード・ワゴン</p>  <p>オデッセイ</p>  <p>シビック 5ドア</p> 	<p>除雪機スノーラHS980</p>  <p>高圧洗浄機WSX110</p>  <p>草刈機あぜ丸2UM135</p>  <p>投光機EM4002</p>  <p>発電機EG900</p>  <p>トラクター マイティ130D</p>  <p>乗用芝刈機H1011</p>  <p>トラクターTX320</p>  <p>芝刈機HRF464</p>  <p>除雪機スノーラHS870</p> 

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1995	<ul style="list-style-type: none"> ・国内四輪車販売80万台体制計画スタート ・米国カリフォルニア州排出ガス規制ULEV(ウルトラ・ローエミッション・ピークル)基準をガソリンエンジンで初めて達成 ・シビック、世界生産累計1,000万台達成* ・大分県日出町に、ホンダ太陽(株)とホンダR&D太陽(株)の日出工場完成 ・(株)ホンダインターナショナルセールス(HISCO)と直営系販売会社(クリオ・ベルノ)を統合、ホンダ中古車販売(株)設立 ・3ステージVTECエンジン、ホンダマルチマチック(無段変速オートマチック・トランスミッション)開発 ・米国製シビックの5タイプがカリフォルニア州大気資源局および環境保護庁より、量産ガソリンエンジン車として世界初のLEV(ロー・エミッション・ピークル、低公害車)認定取得 ・世界初の二輪車用新ブレーキシステム、小型二輪車用(スクーターを含む)M.A.-C.ABS、大型二輪車用T.R.-C.ABS開発 ・シビック/シビックフェリオが1995-1996日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞 ・メキシコHDM四輪車生産工場にてアコード生産開始 ・インドに、四輪車生産販売合併会社 ホンダシエルカーズインディア(HSCI)設立 ・米国にて航空機用小型ターボファンエンジン試験飛行開始 ・UAE ホンダ・ガルフ FZE(HBD)稼働開始 ・先進安全自動車 ホンダ ASV※発表 ※Advanced Safety Vehicle 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロード ・NS-1 ・NSR50/NSR80 ・XR ババ ・XR250 ・XR250R(競技専用車) ・ダックス ・ラクーン(電動アシスト自転車) ・ティグリー ・CB400 SUPER FOUR バージョンR ・シャドウ・アメリカン クラシック エディション(米国製) ・CBR600F ・ディオ・チェスタ ・トビック ・マグナ フィフティ ・VRXロードスター ・スベischer 125 ・CR80R2(競技専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災発生 ・世界貿易機関(WTO)発足 ・ドル円80円台突破、戦後最高値更新(1ドル79円75銭) ・日米自動車部品協議が最終合意、スーパー 301条による制裁発動回避 ・製造物責任法(PL法)施行 ・改正車両法施行、定期点検項目の大幅削減など ・自動車保有台数、7,000万台突破

二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
ブロード	NS-1	NSR50	インスパイア	セイバー	耕うん機スーパーラッキーFU750	汎用エンジンGX200
						
XR ババ	XR250	XR250R	NSX typeT	シビック	多用途インボイルタイプ・モーター	草刈機刈丸エースUM460
						
ダックス	ラクーン	ティグリー	シビック フェリオ	CR-V	船外機BF90	除雪機スノーラHS1180Z
						
CB400 SUPER FOUR バージョンR	シャドウ・アメリカン クラシック エディション	CBR600F	インテグラ TYPE R		除雪機スノーファイターHS2512Z	乗用耕うん機ラッキーくるりFJ900
						
ディオ・チェスタ	トビック	マグナ フィフティ			発電機EX4.5D-ATS	
						
VRXロードスター	スベischer 125	CR80R2				

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1996	<ul style="list-style-type: none"> 塗膜除去を必要としないバンパーからバンパーへのリサイクル技術を開発 ベトナムに、二輪車生産販売合弁会社ホンダ・ベトナム(HVN)設立 タイに、ホンダ・カーズ・マニュファクチャリング・タイランド(HCMT)アユタヤ工場開設、四輪車(シティ)生産開始 ブラジルに、四輪車生産販売会社 ホンダ・オートモーベイス・ド・ブラジル(HAB)を設立(1997年10月:生産開始) 左右輪駆動力配分システム(Direct Yaw Control System)開発 北海道に、(株)本田技術研究所 総合試験場 鷹栖ブルーピングセンター(HPG-T)開設 イタリアに、HMEが欧州二輪車事業の新会社 ホンダ・ヨーロッパ・モーターサイクル(Honda Europe Motorcycle.s.r.l.)(HEM)を設立 自立歩行人間型ロボット プロトタイプ(P2)発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・スティードVSE ・CB400 SUPER FOUR バージョンS ・ホーネット ・ベンリィ 50S/ベンリィ 90S ・V-ツインマグナ S ・ディオ ST ・XR70R(競技専用車) ・ワルキューレ(米国製) ・ジョーカー/ジョーカー 90 ・CR250R(競技専用車) ・ラクーンCX(電動アシスト自転車) ・ディオ ・ACURA CL(米国製・北米専用車) ・シビック クーベ(米国製) ・レジェンド ・トゥデイ(3ドア/5ドア) ・インテグラSJ ・オルティア ・パートナー ・シティ(タイ製・海外専用車) ・デイトリップパー (キャンピングトレーラー・ホンダ特装販売) ・ステップワゴン ・オデッセイ フィールドデッキ ・ACURA 1.6EL(カナダ製・カナダ専用車) ・ロゴ (3ドア/5ドア) ・S-MX ・プレリユード ・耕うん機ラッキープロFUR750/FUR950 ・発電機EX500 ・乗用芝刈機H2013(米国製) ・除雪機スノーファイターHS2011Z/HS1710Z ・乗用除雪機ボブキャットHPL553JC ・二輪車安全運転教育用ホンダライティングシミュレーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通情報通信システム(VICS)、ドライバーに供給開始、カーナビゲーション市場急拡大 ・大型二輪車免許、普通二輪車免許新設 ・初の小選挙区比例代表並立制による総選挙実施 	<p>二輪車</p>  <p>スティードVSE</p>  <p>CB400 SUPER FOUR バージョンS</p>  <p>ホーネット</p>  <p>ベンリィ 50S</p>  <p>V-ツインマグナ S</p>  <p>ディオ ST</p>  <p>XR70R</p>  <p>ワルキューレ</p>  <p>ジョーカー</p>  <p>CR250R</p>  <p>ラクーンCX</p>  <p>ディオ</p>  <p>ライティングシミュレーター</p>	<p>四輪車</p>  <p>ACURA CL</p>  <p>シビック クーベ</p>  <p>レジェンド</p>  <p>トゥデイ(3ドア)</p>  <p>インテグラSJ</p>  <p>オルティア</p>  <p>パートナー</p>  <p>シティ</p>  <p>デイトリップパー</p>  <p>ステップワゴン</p>  <p>オデッセイ フィールドデッキ</p>  <p>ACURA 1.6EL</p>  <p>ロゴ(3ドア)</p>  <p>S-MX</p>  <p>プレリユード</p>	<p>パワープロダクツ</p>  <p>耕うん機ラッキープロ FUR750</p>  <p>発電機EX500</p>  <p>乗用芝刈機H2013</p>  <p>除雪機スノーファイターHS2011Z</p>  <p>乗用除雪機ボブキャットHPL553JC</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています


























年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
1997	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初*の360度自在傾斜 超小型軽量4ストロークエンジン GX22/31 発表 ・米国に、ホンダ・トランスミッション・マニュファクチャリング・オブ・アメリカ Inc. 設立 ・インド、ヒーロー・ホンダ(HHML)、第二工場開所 ・栃木製作所 高根沢工場にて、電気自動車HONDA EV Plus 生産開始 ・米国に、ホンダ・サウスカロライナ・マニュファクチャリング 設立 ・米国 HAMメアリスビル工場が J.D.パワーアンドアソシエーツ社の 初期品質調査(IQS)にて世界No.1(プラチナ賞)を獲得 ・電気自動車HONDA EV PLUS、米国でリース販売開始 ・タイ HCMT製シティをシンガポールへ輸出開始 ・(株)ホンダリースが(株)ホンダパーキングを吸収合併 ・5リンク・ダブルウィッシュボーン・リアサスペンション、新EPS(電動パワステ)+VGR(可変ギアレシオ)、VSA(車両挙動安定化制御システム)発表 ・栃木県茂木町に、ツインリンクもてぎ オープン ・交通教育施設 アクティブセーフティレーニングパークもてぎ 開設 ・インターナビシステム等を装備した新世代ホンダ・ナビゲーションシステム発表 ・ホンダ・インテグレートッド・モーターアシスト(IMA)・システム発表 ・ZLEV(ゼロ・レベル・エミッションピークル、極超低公害ガソリンエンジン技術)発表 ・シートベルトに膨張機能を持たせたエアベルト発表 ・二輪車世界生産累計1億台*達成 熊本製作所で記念式典開催 ・タイに、(株)本田技術研究所 二輪車現地法人 ホンダR&D サウスイースト・アジア(HRS)設立 ・中国 広州汽車集团有限公司と東風汽車公司以乗用車生産合併 事業に関する基本協議書に調印 ・二輪車エンジン4ストローク化方針発表(2ストロークエンジンを4ストロークエンジンに切り替え) ・ベトナム HVNにて二輪車生産開始 ・国内四輪車販売80万台達成* 	<ul style="list-style-type: none"> ・CRM250AR ・ドリーム50 ・モンキー SP 誕生30周年記念車 ・ラクーン(電動アシスト自転車) ・X4 ・シャドウ(400/750) ・CB400 FOUR ・SL230 ・ファイアーストーム ・ベンリィ CL50 ・ディオ フィット ・フォーサイト ・XR400R(競技専用車) ・ピア(イタリア製) ・リトルカブ ・CR125R(競技専用車) ・ドマーニ ・NSX typeS ・シビックフェリオ LEV ・パートナー 1.6 LEV ・ライフ ・HONDA EV Plus (電気自動車・米国リース販売) ・アコード(2ドア/4ドア) (米国製・海外専用車) ・ステップワゴン アルマス(福祉車両) ・ロゴ アルマス 自乗車(福祉車両) ・HONDA EV Plus (電気自動車・国内法人向けリース販売) ・アコード/アコードワゴン ・トルネオ ・オデッセイ プレステージ ・レジェンド/レジェンド ユーロ ・汎用エンジンGX22/GX31 ・運搬機マミー HPE100M(電動) ・刈払機刈丸4UMK422/UMK431 (ホンダ初の刈払機) ・動力噴霧機WJR2210/WJR2215/WJR2225(背負式) ・動力噴霧機WJ313/WJ423/WJ634(定置型) ・汎用エンジンGC160/GCV160 ・トラクター用深耕ロータリー R1000CD ・水ポンプWX10 ・汎用エンジンGC135/GCV135 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許保有者 7,000万人突破 ・消費税率5%に引き上げ ・運輸省、自動二輪車排出ガス規制公布 ・環境影響評価(環境アセスメント)法成立 ・英国が香港を中国へ返還 ・タイバーツ暴落、アジア通貨危機 ・ニューヨーク株式市場暴落、世界同時株安が加速 ・地球温暖化防止 京都会議開催 	<p>二輪車</p>  CRM250AR  ドリーム50  モンキー SP  ラクーン  X4  シャドウ(400)  CB400 FOUR  SL230  ファイアーストーム  ベンリィ CL50  ディオ フィット  フォーサイト  XR400R  ピア  リトルカブ  CR125R	<p>四輪車</p>  ドマーニ  NSX typeS  シビックフェリオ LEV  パートナー 1.6 LEV  ライフ  HONDA EV Plus  アコード(米国製)  ステップワゴン アルマス  ロゴ アルマス  アコード  トルネオ  オデッセイ プレステージ  レジェンド	<p>パワープロダクツ</p>  汎用エンジンGX22  運搬機マミー HPE100M  刈払機刈丸4UMK422  動力噴霧機WJR2210  動力噴霧機WJ423  汎用エンジンGCV160  深耕ロータリー R1000CD  水ポンプWX10  汎用エンジンGC135

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
1998	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー技術に応用した高効率家庭用機器発表 (家庭用吸収式ヒートポンプエアコン、ガスエンジンGF160V、家庭用コージェネレーションシステム) ・ツインリンクもてぎで、日本初のCARTインディカーレースとなる1998FedExチャンピオンシップシリーズ開催 ・ツインリンクもてぎに、ホンダコレクションホール開館 ・ブラジル HDBが、交通教育センター開設 ・国内全生産事業所でISO14001認証取得完了 ・二輪車・四輪車リサイクル自主行動計画発表 ・ソーラー発電システム技術概要発表 ・川本信彦が退任、吉野浩行が5代目社長就任 ・静岡県細江町に船外機総合テスト場が完成 ・中国に、四輪車生産販売会社 広州本田汽车有限公司 (GHAC) 設立 ・中国に、四輪車用エンジン生産会社 東風本田発動機有限公司 (DHEC) 設立 ・国内 四輪車販売会社 グリーンディーラープロジェクト発足 ・米国 ホンダ・サウスカロライナ・マニュファクチャリング (HSC) にて、ATV*生産開始 ※ All Terrain Vehicle (全地形走行車) の略 ・ホンダ独自の衝突安全技術G-CON(軽/小型車用新・衝突安全ボディ、エアバッグシステム、歩行者傷害軽減ボディ)発表 ・カナダ HCM第2ライン稼働、北米専用オデッセイ生産開始 ・チリに、二輪車・四輪車・汎用製品販売会社 ホンダモーター・デ・チリ・エス・エー (HMDC) 設立 ・本田技研工業(株)創立50周年(9月24日) ・創立50周年記念イベント「ありがとうフェスタ inもてぎ」をツインリンクもてぎで開催 ・「喜びを創造し、拡大し、次世代へつなげていくことで、社会から存在を期待される企業を目指す」という2010年ビジョンを制定 ・アルゼンチンに、四輪車販売会社 ホンダオートモービルズ・デ・アルゼンティーナ・エス・エー (HARG) を設立 ・チリに、販売会社 ホンダモーター・デ・チリ・エス・エー (HMDC) を設立 ・世界初*の歩行者ダミー POLAR I を米国GESAC社と共同開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・VTR ・ラクーン26LX-3L/3B ・ゴリラ ・スーパードリーム(ベトナム製・海外専用車) ・リード50 ・CB1300 SUPER FOUR ・シャドウ エアロ(米国製) ・スティードVLS ・ホーネット600 ・リード100 ・VFR ・タクト ・ラクーンコンボ(電動アシスト自転車) ・CB400 SUPER FOUR バージョンS 50thアニバーサリースペシャル ・ジュリオ ・ディオ ZX 50thアニバーサリースペシャル ・リトルカブ 50thアニバーサリースペシャル ・CL400 ・ワルキューレ ツアラー ・Biz(ブラジル製・海外専用車) ・ステップワゴン フィールドデッキ ・ロゴ アルマス(福祉車両) ・キャバ ・シビックGX(天然ガス自動車・米国製) ・HR-V ・インスパイア(米国製) ・セイバー(米国製) ・Z ・ライフ ・刈払機刈丸4UMR422/UMR431(背負式) ・水ポンプWN20/WN30 ・ミニティラーFG100 ・発電機EN2100 ・ミニティラースーパーパンチFG400J2/FG500J2 ・船外機BF115/BF130 ・発電機EU9i/EU24i/EU28is ・ミニティラーミニこまめFG200 ・運搬機ねこ丸HPE60(電動アシスト) ・水ポンプWX15 ・汎用エンジンGXH50/GXV50 ・船外機BF2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンバープレートの希望番号制スタート ・明石海峡大橋開通 ・地球温暖化対策推進法成立 ・軽四輪車、規格改定(全長全幅拡大)施行 ・完全失業率過去最悪など戦後最悪の不況続く、政府、24兆円規模の緊急経済対策実施 	<p>二輪車</p>  <p>VTR</p>  <p>ラクーン26LX-3L</p>  <p>ゴリラ</p>  <p>スーパードリーム</p>  <p>リード50</p>  <p>CB1300 SUPER FOUR</p>  <p>シャドウ エアロ</p>  <p>スティードVLS</p>  <p>ホーネット600</p>  <p>リード100</p>  <p>VFR</p>  <p>タクト</p>  <p>ラクーンコンボ</p>  <p>CB400 SUPER FOUR バージョンS 50thアニバーサリースペシャル</p>  <p>ジュリオ</p>  <p>ディオ ZX 50thアニバーサリースペシャル</p>  <p>リトルカブ 50thアニバーサリースペシャル</p>  <p>CL400</p>  <p>ワルキューレ・ツアラー</p>  <p>Biz</p>	<p>四輪車</p>  <p>ステップワゴン フィールドデッキ</p>  <p>ロゴ アルマス</p>  <p>キャバ</p>  <p>シビックGX</p>  <p>HR-V</p>  <p>インスパイア</p>  <p>セイバー</p>  <p>Z</p>  <p>ライフ</p>	<p>パワープロダクト</p>  <p>刈払機刈丸4UMR422</p>  <p>水ポンプWN20</p>  <p>ミニティラー FG100</p>  <p>発電機EN2100</p>  <p>ミニティラースーパーパンチ FG500J2</p>  <p>船外機BF130</p>  <p>発電機EU9i</p>  <p>ミニティラーミニこまめFG200</p>  <p>運搬機ねこ丸HPE60</p>  <p>水ポンプWX15</p>  <p>汎用エンジンGXH50</p>  <p>船外機BF2</p>























※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
1999	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車用4ストロークエンジンのバルブ制御システム HYPER VTEC開発 ・パーツブランド HAMP SYNERGY国内販売開始(消耗部品・再生部品) ・インドネシアに、P.T.プロスペクトモーターとの四輪車生産販売合弁会社 P.T.ホンダプロスペクトモーター(HPM)設立 ・世界最高水準の高出力と排出ガスのクリーン化を両立した、2L直列4気筒 DOHC VTECエンジン開発(S2000) ・クローズドボディと同等の剛性と衝突安全性を実現する新骨格オープンボディ構造技術発表(S2000) ・中国 広州本田汽車有限公司(GHAC)でアコード生産開始、ホンダ初の中国製四輪車。東風本田発動機有限公司(DHEC)でエンジン生産 ・埼玉製作所で第4種無災害記録1,340万時間を達成 ・(株)ホンダファイナンスが(株)ホンダクレジット設立(11月より業務開始) ・埼玉製作所に焼却炉ダイオキシン対策設備が完成 ・二輪車国内卸網再編成スタート(ディストリビュータ10社を統合し3現地法人化) ・AHが、米国・アラバマ州に四輪車生産工場建設発表 ・British American Racing(ブリティッシュ・アメリカン・レーシング)(B・A・R)とのジョイントプロジェクトによりB・A・R HONDAとして2000年F1世界選手権参戦を決定 ・自転車用新型電動アシストユニット、共用型バッテリーおよびバッテリー交換スタンド開発。6月の「'99低公害車フェア」に参考出品 ・熊本製作所でダイオキシン対策の新焼却システムが稼働 ・EGがエンジン部品加工機 H-VT6000開発 ・独自のハイブリッドシステム ホンダIMAシステムと車体の軽量化技術 新骨格軽量アルミボディの技術概要を発表(インサイト) ・全国6カ所のサービスセンターおよび国内サービス部門が環境マネジメントシステムISO14001 認証取得 ・二輪車、四輪車、汎用製品における燃費と排出ガス・クリーン化の2005年目標発表 ・二輪車用電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)を50ccまで適用拡大発表 ・自動車業界初*の工場廃棄物埋立処分ゼロ化を達成 ・欧州ビジネス運営体制強化、広域現地法人 ホンダモーターヨーロッパ(ノース)/ホンダモーターヨーロッパ(サウス)設立 ・インドに、二輪車生産販売会社 ホンダ・モーターサイクル・アンド・スクーター・インディア Pvt. Ltd.(HMSI)設立 ・北米アコードの2000年モデルが極超低公害車 SULEV(Super Ultra Low Emission Vehicle)認定取得 ・ホンダ青山ビルが、環境マネジメントシステムISO14001 認証取得 ・米国に、四輪車生産工場 ホンダ・マニュファクチャリング・オブ・アラバマ(HMA)設立 ・GMグループと双方向のエンジン供給について基本合意。ホンダはV6 ULEVエンジン・トランスミッションを、GMグループのいすゞ自動車は欧州向けディーゼルエンジンを供給 ・(株)ホンダアクセスがカスタマイズ用品ブランド モデューロ展開開始 ・ホンダクリオ京都が販売会社として全国で初*のISO14001 認証を取得 ・米国にて汎用製品販売累計1,000万台達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・CB400 SUPER FOUR ・CBR600F ・ジョルノ クレア ・ジョルカブ ・CR125R(競技専用車) ・XR50R(競技専用車) ・X11 ・アコード/トルネオ(LEV仕様適用) ・S2000 ・ステップワゴン ・アクティ・トラック ・アクティ・バン ・バモス ・ラグレイト(カナダ製) ・インテグラSJ LEV ・シビックLEV ・ドマーニLEV ・HR-V(5ドア) ・S-MX ・NSX ・レジェンド ・アヴァンシア ・インサイト(ホンダ初のハイブリッド車) ・オデッセイ ・発電機EX6 ・汎用エンジンGX670/GX620K1/GX610K1 ・発電機EB23/EB26、EM23/EM26、EX22 ・電動カートモンバムLML100(ホンダ初の電動カート) ・発電機EX22 ・除雪機スノーファイターHS1810ZJ/HS2011ZK1J/HS2411ZJ 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州連合(EU)の単一通貨ユーロ誕生 11カ国で導入































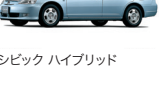









二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
CB400 SUPER FOUR	CBR600F	ジョルノ クレア	アコード	S2000	発電機EX6	汎用エンジンGX670
						
ジョルカブ	CR125R	XR50R	ステップワゴン	アクティ・トラック	発電機EB23	電動カートモンバムLML100
						
X11			アクティ・バン	バモス	発電機EX22	除雪機スノーファイターHS2411ZJ
						
			ラグレイト	インテグラSJ LEV		
						
			シビックLEV	ドマーニLEV		
						
			HR-V(5ドア)	S-MX		
						
			NSX	レジェンド		
						
			アヴァンシア	インサイト		
						
			オデッセイ			

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2000	<ul style="list-style-type: none"> ・インターセプター(日本名:VFR)が米国カリフォルニア大気資源局の二輪車排出ガス規制Tier2(2008年規制)に世界初適合 ・南アフリカ ダймラークライスラー・サウスアフリカ(DCSA)との提携解消、DCSAによる現地生産を2000年内終了と発表 ・F1世界選手権、開幕戦オーストラリアGPでB・A・R Honda 002が4位入賞 ・米国で1975年発売の米国マスキー法'75年規制値に合致するシビック CVCCが、米国自動車技術車協会(SAE)の月刊機関誌 Automotive Engineering誌が選出する20世紀優秀技術車の1970年代優秀技術車を受賞 ・世界初®の屋内全天候型「車対車」全方位衝突実験施設を本田技術研究所 栃木研究所内に完成 ・埼玉製作所と浜松製作所で、工場廃棄物埋立処分「ゼロ化」を達成 ・国内四輪車販売会社にグリーンディーラー認定制度導入 ・ブラジルに、南米地域事業統括会社 ホンダ・サウスアメリカ・リミターダ(HSA)設立 ・地域本部を組織変更、南米本部を設置し 5地域本部制に再編 (北米地域本部、南米本部、アジア・大洋州本部、欧州地域本部、日本本部) ・軽二輪・小型二輪の新車購入ユーザーを対象とした故障・事故時の緊急対応の「ホンダロードサービス」提供開始 ・傷害値計測が可能な第2世代歩行者ダミー POLAR II開発 ・米国 オンスター社(GM100%子会社)とホンダ/ACURAモデルへのGM車載通信サービス「オンスター」提供に基本合意 ・鈴鹿製作所No.1ライン、体質改革完了 ・室内騒音を低減する音響制御技術アクティブ ノイズ コントロールを松下電器産業(株)と共同開発 ・F1世界選手権、2001年シーズンよりジョーダングランプリにエンジン供給決定 ・南アフリカに、二輪車・四輪車・汎用製品販売会社 ホンダ・サウスアフリカ(HSAF)設立 ・米国 GMとパワートレイン供給に関する契約締結、V6エンジン(ULEV対応)とATミッションを開発、2004年モデルから年間約9万台を5年間供給 ・栃木製作所と熊本製作所の工場廃棄物埋立ゼロ化達成により国内全生産事業所でゼロ化が完了 ・ホンダエンジニアリング(株)が、マイクロプロセッサによる高精度ガス式レートセンサー(角速度センサー)およびワイドダイナミックレンジ視覚センサー開発 ・熊本製作所、浜松製作所の二輪車組立ラインを合計7本から3本に集約を発表 ・米国 HAMにてATV生産累計100万台達成 ※1998年からHSCでもATV生産 ・米国 AHが天然ガス充填装置メーカー FuelMaker Corporation(トロント)に出資 ・高知能化バルブタイミング・リフト機構を採用した2.0L DOHC i-VTECエンジン開発 ・インターナビで道路交通情報をパソコンに提供するサービス開始 ・人間型ロボットASIMO発表 ・シビック/シビックフェリオ/ストリームが2000-2001 日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞 ・日本電信電話(株)(NTT)と本田技術研究所が車両・ネットワーク協調型情報流通技術に関する共同研究開始 ・マレーシアに、四輪車生産販売会社 ホンダ・マレーシア Sdn Bhd.(HMSB)設立 ・マレーシア DRBハイコム、オリエンタルホールディングスと3社合併で四輪車・部品製造販売を行うDRBオリエンタルホンダ(DRB-Oriental-Honda Sdn.Bhd.)設立 ・グローバル・ブランド・スローガン The Power of Dreams 制定 ・インドネシアのP.T.アストラインターナショナルと二輪車部品製造、エンジン・車体組立および卸販売を行う合弁会社P.T.アストラ・ホンダ・モーター設立(AHJ) ・タイのホンダ・カーズ・マニュファクチュアリング(タイランド)とホンダ・カーズ(タイランド)を合併、ホンダ・オートモービル(タイランド)(HATC)設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・VFR ・シャドウ スラッシャー ・ラクーン(電動アシスト自転車) ・フォルツァ ・FTR ・シャドウ スラッシャー 750 ・アコードEX (SULEV仕様対応・米国製・北米専用車) ・バモス ターボ ・ライフ アルマス(福祉車両) ・アコード/トルネオ/アコードワゴン ・アコードユーロ/トルネオユーロR ・S2000 type V ・オデッセイ アルマス(福祉車両) ・シビック ・シビック フェリオ ・ストリーム ・ライフ ダンク ・動力噴霧機WJ105 ・動力噴霧機WJR2210/WJR2215/WJR2225(背負式) ・発電機EM6000GN (ホンダ初の天然ガス発電機・パキスタン向け) ・船外機BF8/BF9.9 	<ul style="list-style-type: none"> ・容器包装リサイクル法施行 ・道路交通法改正によりチャイルドシート義務付け ・運輸省、37の型式を低公害車に初認定

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
VFR	シャドウ スラッシャー	ラクーン	アコードEX	バモス ターボ	動力噴霧機WJ105	動力噴霧機WJR2225
						
フォルツァ	FTR	シャドウ スラッシャー 750	ライフ アルマス	アコード ワゴン	船外機BF8	
						
トルネオ ユーロR	S2000 type V		オデッセイ アルマス	シビック		
						
シビック フェリオ	ストリーム		シビック フェリオ	ストリーム		
						
ライフ ダンク						

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2001	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車・汎用製品生産体制再構築を発表 熊本製作所二輪車組立ラインを2本から1本に集約 汎用エンジン生産を浜松製作所から熊本製作所へ移管 船外機生産を浜松製作所から細江工場へ移管 ・世界初WGP用V型5気筒エンジン発表 ・米国 燃料電池車公道テストプロジェクト、カリフォルニア フェーエル セル パートナーシップ (CaFCP)参加車両、ホンダ製燃料電池スタック搭載の燃料電池車FCX-V3 with Honda FC Stack 一般公道テスト開始 ・国内四輪地区営業部が所在する6カ所の地区ホンダビルで、環境マネジメントシステム ISO14001の認証を取得 ・シビック GX(天然ガス車)がカリフォルニア大気資源局(CARB)より Advanced Technology PZEVとして米国初の認定取得 ・パラジウムなど貴金属使用量を大幅低減する新排出ガス浄化システム 自動車用ペロブスカイト三元触媒システムを世界初*実用化 ・北米(米国、カナダ、メキシコ)における四輪車生産累計、日系自動車メーカーとして初*の1,000万台達成 ・インド 二輪車生産販売会社 ホンダ・モーターサイクル・アンド・スクーター・インディア(HMSI)生産開始 ・ロードレース世界選手権シリーズ第1戦日本GPでWGP通算500勝達成 ・急速燃焼により超低燃費と低排出ガスを両立した1.3L 4気筒ガソリンエンジンi-DSI開発 ・本田技術研究所、ホンダR&Dアメリカズが、太陽光エネルギーを使い水から水素を発生させる、燃料電池車用水素製造・供給ステーションの実験稼働開始 ・英国 HUM第二工場が完成、シビックの生産開始 ・安全運転教育用二輪ライティングシミュレーターをフルモデルチェンジして発売 ・タイにて二輪車・四輪車・汎用製品 生産累計1,000万台達成 ・四輪車用補修部品 ホンダ・リサイクルパーツ(Honda Recycle Parts)、国内販売開始 ・国内二輪営業機能を集約・統括する二輪総合販売会社(株)ホンダモーターサイクルジャパン(HMJ)設立 ・新IMAシステム発表(12月 シビック ハイブリッドに採用) ・浜松製作所細江工場完成、船外機BFシリーズを生産開始 ・中国にて、ホンダの二輪車生産・販売合弁会社天津本田摩托有限公司が、海南新大洲摩托車股份有限公司の二輪事業部門と合併、新合弁会社、新大洲本田摩托有限公司(SDH)設立 ・購買取引先とのデータ情報管理システム IMPACT-IIIを構築、国内370社への導入完了 ・日本電信電話(株)(NTT)と本田技術研究所がハンズフリーで電話・メールへの応答やエリア情報等の取得を行う次世代車載情報提供システムを開発 ・韓国 ソウル市に、二輪車販売現地法人 ホンダ・モーターサイクル・コリア・カンパニー・リミテッド設立(HKO) ・自動車メーカーとして初めて*CVT金属ベルトを内製化 ・電動アシストサイクル共同利用システム Honda Cycle Partnerを国内で事業化 ・中国 東風本田発動機有限公司(DHEC)、ATミッション生産開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリアスクーピー ・エイブ ・CBR1100XX ・CBR600F4i ・ディオ ・シルバークウイング(400/600) ・ステップ コンボ(電動アシスト自転車) ・ズーマー ・ゴールドウイング(米国製) ・CB400SS ・CB900ホーネット ・VTX ・CRF450R(競技専用車) ・シビック GX(天然ガス自動車・米国製) ・ステップワゴン/ステップワゴン アルマス(福祉車両) ・ライフ/ライフ アルマス(福祉車両) ・フィット/フィット アルマス(福祉車両) ・HR-V ・アコード(インド製・海外専用車) ・インテグラ ・パモス ・CR-V ・ストリーム ・オデッセイ アブソルート ・シビック TYPE R(英国製) ・NSX ・シビック ハイブリッド ・モビリオ ・耕うん機こまめF220/ホリデーFH220 ・汎用エンジンGX100 ・耕うん機ラッキーボーイFU400/ホリデーFUH400 ・発電機EU16i ・発電機EBR2300CX(中国製) ・船外機BF225/BF200 ・除雪機スノーラi HS1390i ・Honda四輪ドライビングシミュレーター ・Honda二輪ライティングシミュレーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ同時多発テロ事件発生 	<p>二輪車</p>  クリアスクーピー  エイブ  CBR1100XX  CBR600F4i  ディオ  シルバークウイング(600)  ステップ コンボ  ズーマー  ゴールドウイング  CB400SS  CB900ホーネット  VTX  CRF450R  Honda二輪ライティングシミュレーター	<p>四輪車</p>  シビック GX  ステップワゴン  ステップワゴン アルマス  ライフ  ライフ アルマス  フィット  フィット アルマス  HR-V  アコード  インテグラ  パモス  CR-V  ストリーム  オデッセイ アブソルート  シビック TYPE R  NSX  シビック ハイブリッド  モビリオ  Honda四輪ドライビングシミュレーター	<p>パワープロダクト</p>  耕うん機こまめF220  汎用エンジンGX100  耕うん機ラッキーボーイFU400  発電機EU16i  発電機EBR2300CX  船外機BF225  除雪機スノーラi HS1390i

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2002	<ul style="list-style-type: none"> 中国 東風本田汽車零部件有限公司(DHAC)、新工場稼働 台湾に、四輪車生産販売会社 台湾本田汽車股份有限公司 (HTW-M)設立 中国 上海に、本田摩托車研究開発有限公司(HRCh)設立 HRC契約ライダー加藤大治郎選手がスポーツ功労者として顕彰を受ける ホンダエンジニアリング、次世代型薄膜太陽電池および量産化技術独自開発 レインボーマーターズスクール、交通教育センターレインボー浜名湖完成 CR-V(北米向け)HUMより北米向け輸出開始を発表 和光工場のパワートレイン生産を狭山工場へ移管し閉所 中国 SDHが、100cc 二輪車 Wave(中国名:威武)の生産を天津工場(分公司)にて開始 インドネシアに、部品生産子会社 P.T. ホンダ・プレジジョン・パーツ・マニュファクチャリング(HPPM)設立 子どもアイデアコンテストがスタート 全事業領域の環境負荷を定量的に把握する、環境マネジメントシステム Honda LCAシステムを構築 国内販売金融三社(株)ホンダファイナンス、(株)ホンダリース、(株)ホンダクレジットを合併、新会社(株)ホンダファイナンス設立 FCX、米国での販売要件である米国環境保護庁(EPA)とカリフォルニア大気資源局(CARB)の認定を燃料電池車として世界で初めて[※]取得 米国 ACURAチャンネルが販売累計200万台達成(1986年3月設立より) サイドカーテンエアバッグ開発 中国 嘉陵-本田発動機有限公司(JLH)が汎用エンジンの生産を開始 イタリア HIIが二輪車生産累計100万台/エンジン生産累計200万台達成 ブラジル HDAが二輪車生産累計500万台達成 中国初の乗用車顧客満足度指数調査[※]で広州ホンダ(GHAC)製アコードが1位 ※中国品質協会と中国ユーザー委員会による中国初の乗用車ユーザー満足度指数(CCSI)調査 高速道路運転支援システム HiDS(Hondaインテリジェント・ドライバーサポート・システム)開発 新世代情報ネットワークサービス インターナビ・プレミアムクラブサービス開始(アコードから適用) アコード/アコード ワゴンが2002-2003日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞 栃木製作所芳賀工場跡地に品質改革推進センター栃木(QCT)開設 自律的行動を可能にする知能化技術を搭載した新型ASIMOを発表 フィットがホンダの登録車として初の国内販売台数年間1位となる(販売実績:250,790台) タイのホンダグループ出資によるホンダ・タイ基金(HTF)を設立 国内四輪車年間販売 90万台を達成(902,658台) 汎用製品生産累計5,000万台達成 	<ul style="list-style-type: none"> Wave α(ベトナム製・海外専用車) VFR XRM110(フィリピン製・海外専用車) バイト エイブ100 CBR954RR(レースベース車) CBR954RR VTR1000SP-2(レースベース車) ディオ Z4 XL230 トゥデイ(中国製) CGL125/CGL125 Classy(ナイジェリア製・海外専用車) ザッツ/ザッツ アルマス(福祉車両) ストリーム アルマス(福祉車両) ステップワゴン/ステップワゴン アルマス(福祉車両) NSX-R フィット 1.5T/フィット 1.5T アルマス(福祉車両) モビリオ スバイク アコード/アコードワゴン FCX(燃料電池車・日米官公庁にリース販売開始) フィット アリア(タイ製) パイロット(カナダ製・北米専用車) 耕うん機ブチなFG201/FG201H 船外機BF175 芝刈機HRG415/HRG415H/HRG465/HRG465H(フランス製) 船外機BF15/BF20 汎用エンジンGX25 刈払機UMK425/UMK425H 除雪機スノーラ i HS980i/HS1180i 	<ul style="list-style-type: none"> EUの統一通貨、ユーロの硬貨紙幣の流通開始 米国通商代表部(USTR)の貿易障壁報告書、日本に市場開放迫る 経団連と日経連が統合、日本経団連発足 改正車両法成立、リコール制度の規制強化 	<p>二輪車</p>  Wave α  VFR  XRM110  バイト  エイブ100  CBR954RR(レースベース車)  CBR954RR  VTR1000SP-2(レースベース車)  デイオ Z4  XL230  トゥデイ	<p>四輪車</p>  ザッツ  ザッツ アルマス  ストリーム アルマス  ステップワゴン  ステップワゴン アルマス  NSX-R  フィット 1.5T  フィット 1.5T アルマス  モビリオ スバイク  アコード  FCX  フィット アリア  パイロット	<p>パワープロダクト</p>  耕うん機ブチなFG201  船外機BF175  芝刈機HRG415  船外機BF15  汎用エンジンGX25  刈払機UMK425  除雪機スノーラ i HS1180i

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事
2003	<ul style="list-style-type: none"> 台湾本田股份有限公司(HTW-M)新四輪車工場稼働開始(CR-V生産) ホンダ・マレーシア(HMSB)新四輪車工場稼働開始(CR-V生産) 中国 東風本田発動機有限公司(DHEC)新エンジン組立工場完成 トルコ TAH(二輪車生産販売会社)とHAT(四輪車生産販売会社)を統合、ホンダ・トルコ A.S.(HTR)設立 米国 HAM、四輪車エンジン生産累計1,000万台達成 米国 ホンダ・トランスミッション・マニュファクチャリング・オブ・アメリカ(HTM)、ATミッション生産累計500万基達成 インドネシア P.T. ホンダ・プロスペクト・モーター(HPM)、カラワン新四輪車工場の稼働開始 PGM-FI搭載「Wave125i」発表、タイで小型FI搭載車生産はホンダが初* シビックシリーズが世界生産累計1,500万台達成 英国 HUMが四輪車生産累計100万台/エンジン生産累計150万台達成 本田摩托車研究開発有限公司(HRCH)が稼働開始 ブラジル HABで初のフィット海外生産開始 地域本部を組織変更、中国本部を設置し6地域本部制に再編(北米地域本部、南米本部、アジア・大洋州本部、欧州地域本部、日本営業本部、中国本部) 世界初*、追突軽減ブレーキ(CMS)を新開発、E-プリテンショナーと組み合わせ、新型インスパイアに搭載(6月発売) 船外機15機種17タイプが、社団法人 海洋水産システム協会より、業界初*の環境保全型ソリン船外機の認定取得 インドネシアのアストラ・ホンダ・モーター(AHJ)が二輪車生産累計1,000万台達成 シビック ハイブリッドが、カリフォルニア大気資源局(CARB)よりハイブリッド車として初のAdvanced Technology PZEV認証を取得 走行状況により燃焼気筒数を切り替える可変シリンダーシステム採用のV6 3.0L i-VTECエンジンを新開発、新型インスパイアに搭載 吉野浩行が退任、福井威夫が6代目社長に就任 世界で初めて*燃料電池電気自動車FCXを民間企業 岩谷産業(株)へ納車 中国武漢市に四輪車生産販売合弁会社 東風本田汽车有限公司(WDHAC)設立 四輪車世界生産累計5,000万台達成* 衝突時の自己保護性能と相手車両への攻撃性低減を両立するコンパティビリティ対応ボディを開発、新型ライフより適用開始 インターナビ・プレミアムクラブに、フローティングカー情報システム*を自動車メーカーとして世界初*の実用化 ※車内センサーで得られる走行速度等を情報管理センターに送信することで交通流動等の道路交通情報を生成するシステム 中国 広州汽車集团有限公司、東風汽車公司との3社によるホンダ初の中国四輪車生産輸出合弁会社、本田汽車(中国)有限公司(CHAC)設立 インド ホンダR&Dインディア(HRID)が現地開発した二輪車第一弾モデルPassion Plusを発表 米国における四輪車累計販売2,000万台達成*。二輪車(累計約1,500万台)、汎用製品(累計約1,500万台)を合わせた累計販売で5,000万台達成* 本田技術研究所およびホンダ R&D アメリカズが水素燃料供給とコージェネレーション機能を併せ持つホーム・エネルギー・ステーション(HES)の実験稼働を開始 4ストローク50ccスクーター用電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)を世界で初めて*開発 2010年までに全世界で販売する大半の二輪車にPGM-FIを搭載すると発表 北米にて初のH11生産のHORNET 600を輸入、599(北米通称名)として販売開始 氷点下20°Cで始動可能な次世代型燃料電池スタック Honda FC STACK を開発、公道実験開始 メキシコ HDM、ACURAを第2販売チャンネルとして設立を発表 渋滞予測機能を世界初*の実用化、インターナビ・プレミアムクラブに採用 ライフが国内販売累計台数100万台達成*(1997年4月発売) ベトナムに、二輪部品生産会社 ベトナム・オート・パーツ(VAP)設立 米国での四輪車生産累計1,000万台を達成 ※HAM MAP:724万台、ELP:250万台、HMA:26万台 小型ビジネスジェット実験機 HondaJetを自社開発、自社製航空機用小型ターボファンエンジン HF118を搭載し、米国ノースカロライナ州ピードモントトライアット空港にてフライト試験開始 米国 ホンダ・オブ・サウスカロライナ・マニュファクチャリング(HSC)がATV生産累計100万台達成 ホンダ初のディーゼルエンジン、i-CTD i搭載の欧州アコード発売

主要製品
<ul style="list-style-type: none"> CB1300 SUPER FOUR XR250/XR ハハ フュージョン CBR600RR(レースベース車) ソロ XR250 モタード CBR600RR Wave125i(タイ製・海外専用車) XR125L (ブラジル製・欧州で販売開始) CRF50F/70F/100F (競技専用車) スベイシー 100(中国製) パッション プラス (インド製・海外専用車) 599(イタリア製・北米で販売開始) ディオ(中国製) CRF250R(競技専用車) CB400 SUPER FOUR シャドウ(750) MDX(カナダ製) エレメント(米国製) パモス ホビオ ステップワゴン/ステップワゴン スバーダ/ステップワゴン アルマス(福祉車両) インスパイア アコード アルマス(福祉車両)/アコードワゴン アルマス(福祉車両) モビリオ アルマス(福祉車両) ライフ ストリーム アブソルート NSX オデッセイ アコード(台湾製・海外専用車) ジャズ(タイ製・海外専用車) 発電機EXK1200/EXK2000(インド向け) 水ポンプWB20XT(タイ製) 耕うん機サ・ラ・ダFF300/FF300H 汎用エンジンGX35 船外機BF150/BF135 除雪機スノーラ i HSS1170i/HSS1170iH

世の中の出来事
<ul style="list-style-type: none"> 日本郵政公社発足 ETC車載器セットアップ100万台突破

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
CB1300 SUPER FOUR	XR250	フュージョン				
CBR600RR(レースベース車)	ソロ	XR250・モタード	パモス ホビオ	ステップワゴン	汎用エンジンGX35	船外機BF150
CBR600RR	Wave125i	XR125L	ステップワゴン・アルマス	インスパイア		
CRF100F	スベイシー 100	パッション プラス	アコード アルマス	モビリオ アルマス		
599	ディオ	CRF250R	ライフ	ストリーム アブソルート		
CB400 SUPER FOUR	シャドウ(750)		NSX	オデッセイ		
























※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2004	<ul style="list-style-type: none"> 中国における地域本部機能強化を目的とした本田技研工業(中国)投資有限公司(HMCI)設立 ベトナム・オート・パーツ(VAP)生産開始 和光サービスセンター(HSY)が閉所、サービス技術の発信基地として白子ビル開所 米国 ゼネラル・エレクトリック・カンパニー(GE)と小型ビジネスジェット用ターボファンエンジンの共同事業化について合意、基本契約書に調印 タイ ホンダエンジニアリング・エイション(EGAS)で、ダイキャスト金型製造工場が稼働 マレーシア 四輪車生産会社オリエンタル・アッセンブラー(OA)がHMSB設立に伴う生産移管により生産を完了(1969年12月 N360生産開始から約35年間) メキシコ HDM製アコード、アルゼンチンへ輸出開始 ロシアに、二輪車・四輪車・汎用製品輸入販売現地法人 ホンダ・モーター・ルス(HMR)設立 タイにおける二輪車生産累計1,000万台達成*(1967年5月生産開始) 米国 HAM 四輪車生産累計1,000万台達成 栃木製作所高根沢工場閉所 鈴鹿製作所、高根沢工場から移管車種(NSX、インサイト、S2000)生産開始 オテッセイ 国土交通省の「歩行者頭部保護基準」の認可を初取得 航空エンジン専門の研究所として、(株)本田技術研究所和光西研究所(HGN)発足 米国に、航空エンジン事業子会社 ホンダ・エアロ Inc.設立 旧埼玉製作所和光工場跡地にホンダ和光ビル完成 Honda FC STACK搭載の燃料電池二輪車、原付ハイブリッド二輪車および原付電動二輪車を開発、試作車公開 衝突時の歩行者衝撃を低減する「持ち上がりフード」開発 世界初、注意喚起機能付き夜間運転支援システム、インテリジェント・ナイトビジョンシステム開発 中国に、EGの現地法人 本田生産技術(中国)有限公司(EGCH)設立 中国 広州本田汽車有限公司(GHAC)が、フィットを生産販売開始 トライアル世界選手権、藤波貴久が日本人初のチャンピオン獲得 米国 航空エンジン事業子会社 ホンダ・エアロ Inc.の事務所をヴァージニア州レストンに開設、稼働開始 世界初*の四輪駆動力自在制御システム(SH-AWD)を開発、ACURA RL/レジェンドに搭載 都市高速分岐点での車線別VICS情報提供と、気象情報をリアルタイムで提供するインターナビ・ウェザーを世界で初めて実用化* 米国に、ゼネラル・エレクトリック・カンパニー(GE)との合併会社、GE ホンダ エアロ・エンジンズ LLCを設立、小型ビジネスジェット用ターボファンエンジンの事業化推進 家庭用小型コージェネレーションユニット(熱電併給)がドイツの省エネルギー・環境安全ガス工業会の2004年 ガス産業革新賞受賞(初の海外での受賞*) タイ ホンダR&Dサウスイーストアジア(HRS-T)新研究所稼働 インド ヒーローホンダ(HHML)が二輪車生産累計1,000万台達成 氷点下での始動を可能とした Honda FC STACK搭載のFCXが国土交通大臣認定を取得 国内四輪車販売会社をネットワークで結び、一括集中管理する統合システム eディーラーシステムを全販社導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート デイオ Z4 ・CBR1000RR(レースベース車) ・CBR1000RR ・フォルツァ ・PS250 ・ユニコーン(インド製・海外専用車) ・CRF450R(競技専用車) ・e-彩(中国製・海外専用車) ・CR125R/CR250R(競技専用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・改正労働者派遣法により製造業務へ人材派遣解禁 ・総額表示義務付け(本体価格と消費税の合計額) ・道路交通法改正法案公布、二輪車の高速道路2人乗り規制見直しなど ・インドネシア西部スマトラ沖でM9.3の地震発生

二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
スマート デイオ Z4	CBR1000RR(レースベース車)	CBR1000RR	アコード	ザッツ アルマス	動力噴霧機WJR1015	発電機EM45is
						
フォルツァ	PS250	ユニコーン	モビリオ アルマス	エリシオン	耕うん機サ・ラ・ダFF500	除雪機スノーラiHSS970i
						
CRF450R	e-彩	CR125R	ステップワゴン	フィット		
						
			エディックス	CR-V		
						
			レジェンド	FCX		
						
			アコード ハイブリッド			

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2005	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本製作所汎用機工場完成、生産開始 ・イタリア HIIが汎用エンジン生産累計200万台達成 ・フィリピン HPIが二輪車生産累計100万台達成 ・PGM-FI搭載4ストローク船外機が、J.D.パワー社 2005年 米国マリンエンジン競争力情報調査 4ストローク船外機部門で初の顧客満足度1位獲得 ・中国 SDHの天津新工場稼働 ・2005年末までに環境負荷物質(重金属四物質)を二輪車・四輪車国内生産モデルでの削減について自工会目標を前倒しして達成することを発表 ・中国 JLGが事業内容変更、経営資源を汎用事業に集中させる方向で合意 ・米国 AHがシビック GX(天然ガス車)と家庭用天然ガス充填装置(Phil)の市販開始 ・米国 AHが家庭用小型コージェネレーションシステムの事業化に向け、Climate Energy社と基本合意 ・中国 CHACが欧州向けJazz生産開始 ・ホンダアクセスが日本初*二輪車専用ナビゲーションシステム発売 ・グローバル品質保証ルール (Global Honda Quality Standard: G-HQS)を制定 ・二輪車世界生産累計1億5,000万台を達成 ・FCXが燃料電池自動車日本で初*の国土交通省型式認証取得 ・FCXが米国で一般顧客向けリース販売開始、燃料電池自動車世界初* ・名古屋大学と共同でイネの収穫量を増加させる遺伝子の解明に世界で初めて成功 ・3ステージ i-VTECエンジンと小型高効率化したIMAを組み合わせたHondaハイブリッドシステム開発 ・力強い走りと低燃費を両立する、1.8L i-VTECエンジン開発 ・熊本製作所で、米国 HAM 二輪車工場から生産移管したATV「TRX450R」生産開始 ・米国航空ショー「EAA Air Venture」にてHondaJetを一般公開 ・人材育成専門会社、(株)ホンダコンサルティングを設立 ・世界初*、量産二輪車用エアバッグシステム開発 ・インドネシア AHJ、二輪車第三工場稼働 ・中国に、四輪車用パワートレイン系部品生産会社 本田汽车零部件製造有限公司(CHAM)設立 ・シビック/シビック ハイブリッドが日本自動車殿堂カー・オブ・ザ・イヤーを受賞 ・F1世界選手権、BAT(プリティッシュ・アメリカン・タバコ社)との合併会社BAR H Ltd.の株式を全額取得 ・国内販売チャンネルを2006年3月に「ホンダ」へ統合、プレミアムブランド「ACURA」を2008年国内導入を発表 ・(株)本田技術研究所が、タイに四輪車研究所法人 ホンダR&D アジアパシフィック Co., Ltd.(HRAP)設立 ・スーパーカブシリーズ 世界生産累計5,000万台を達成 ・米国で汎用製品販売累計2,000万台達成 ・汎用エンジン生産、浜松製作所から熊本製作所へ移管 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBR600RR(レースベース車) ・CBR600RR ・XR50 モーター/XR100 モーター ・CB1300 SUPER BOL D'OR ・CB400 SUPER BOL D'OR ・XR230 ・XR400 モーター ・シルバーウイング(400・教習車仕様) ・スペース125(教習車仕様) ・CRF250R(競技専用車) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・エアウェイブ ・ステップワゴン ・シビック ・アコード/アコード ワゴン ・オデッセイ(助手席リフトアップシート車・福祉車両) ・シビック ハイブリッド ・フィット ・フィット(フランツシステム・福祉車両) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・芝刈機HRX537(米国製) ・運搬機力丸HP350/HP450 ・芝刈機HRC536(米国製) ・汎用エンジンiGX440 ・除雪機スノーラiHSM980i/HSM1180i/HSM1390i ・除雪機スノーラiHSM1590i 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車リサイクル法施行 ・京都議定書発効 ・中部国際空港「セントレア」開港 ・個人情報保護法施行 ・AT限定自動二輪車免許新設 ・道路関係4公団民営化、高速道路会社6社発足























二輪車	四輪車	パワープロダクト
 CBR600RR(レースベース車)  CBR600RR  XR50モーター  CB1300 SUPER BOL D'OR  CB400 SUPER BOL D'OR  XR230  XR400モーター  シルバーウイング (400・教習車仕様)  スペース125(教習車仕様)  CRF250R	 エアウェイブ  ステップワゴン  シビック  アコード  シビック ハイブリッド  フィット  フィット(フランツシステム)	 芝刈機 HRX537  運搬機力丸HP350  芝刈機 HRC536  汎用エンジンiGX440  除雪機スノーラiHSM980i  除雪機スノーラiHSM1590i

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事
2006	<ul style="list-style-type: none"> ・本田技術研究所 和光西研究所とホンダ・エアロ Inc.が航空宇宙国際品質規格AS9100認証取得 ・二輪車安全運転教育用ライディングトレーナーをホンダ二輪車正規取扱店、法人向け発売 ・国内四輪販売 プリモ・クリオ・ベルノ3チャンネルを統合、全車種取り扱いのホンダチャンネル (Honda Cars 全国2,400拠点)としてスタート ・インターナビ・フローティングカーデータが累積走行距離1億キロ達成 ・日本で初めて*Google Earth*を利用したフローティングカー情報公開 ・スペインで汎用製品販売累計100万台達成 ・ホンダ中古車販売(株)が(株)ホンダユテックに社名変更 ・タイで四輪車補修用板金部品生産会社 アジア・パーツ・マニュファクチャリング(APM)設立 ・ポルトガルの二輪車・四輪車・汎用製品販売会社を統合、ホンダ・ポルトガル(HP)設立 ・汎用製品世界生産累計7,000万台達成 ・(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)と(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン(HRI)が、脳活動でロボットを操作する基礎技術発表 ・ウクライナに、四輪車・汎用製品・部品販売会社 ホンダ・ウクライナ(HUA)設立 ・牽引式ピーチクリーナーを独自開発、社会貢献活動の一環としてピーチクリーン活動開始 ・全世界の二輪車・四輪車・汎用製品および、その製造における2010年CO₂排出低減目標を公表(業界初) ・米国、ATミッション生産工場 ホンダ・プレジジョンパーツ・オブ・ジョージア(HPPG)稼働 ・(株)鈴鹿サーキットランドと(株)ツインリンクもてぎが合併、(株)モビリティランド設立 ・アルゼンチン ホンダ・モーター・ド・アルヘンティーナ S.A.(HAR)が二輪車生産工場稼働 ・パキスタン AHL、ラホール市の二輪車生産工場稼働 ・ホンダ・モーター・チャイナ(HMC)が香港ディズニーランドと事業提携に関する複数年契約締結 ・HondaJetを量産し航空機事業に新規参入、2010年中にHondaJetを販売すると発表 ※2015年に販売延期 ・米国に、航空機の機体開発・製造・販売会社 ホンダ・エアクラフト・カンパニー(HACI)設立 ・F1世界選手権、第13戦ハンガリー GPでホンダレーシングF1チーム優勝 (マシン:RA106 ドライバー:ジェンソン・バトン) ・インドに、補修用部品事業会社 Honda Motor India Pvt Ltd.(HMI)設立 ・中国 GHACが広州に完成車第二工場となる増城工場稼働開始 ・ホンダスマートパーキングアシストシステムを開発(2006年10月発売ライブ搭載) ・ペルーに、二輪車生産会社 ホンダ・セルバ・デル・ペルー S.A.(HSP)設立 ・米国 GE Honda エアロ・エンジンズが、新開発のHF120ターボファンエンジンをビジネスジェット機 Freedomと量産型HondaJetへの搭載について両機体メーカーと合意 ・米国 HACIが、ナショナル・ビジネス・アビエーション・アソシエーション(NBAA)にてHondaJetの受注活動を開始 ・ホンダ エアクラフト カンパニーが、米国にてHondaJetの受注を開始 ・ゼストが平成18年度自動車アセスメントの衝突安全性能試験において軽自動車ですべて初めて運転席・助手席ともに最高評価の6スターを獲得 ・八千代工業(株)を連結子会社とし、軽自動車事業とグローバルでの部品供給体制強化 ・米国 HMAが四輪車生産累計100万台達成 ・太陽電池事業子会社(株)ホンダソルテック設立 ・インド HMI稼働

主要製品
<ul style="list-style-type: none"> ・Pleasure(インド製・海外専用車) ・CBR1000RR(レースベース車) ・CBR1000RR ・クリック(タイ製・海外専用車) ・フォルツァ ・戦鷹(CBF150・中国製・海外専用車) ・グラマーFI(インド製・海外専用車) ・佳御(SCR110・中国製・海外専用車) ・CRF150R(競技専用車) ・モンキー 40周年スペシャル ・モビリオ(サイドリフトアップシート車・福祉車両) ・フィット(助手席回転シート車・福祉車両) ・ゼスト ・パートナー ・ストリーム ・CR-V ・シビックFFV(フレックス燃料車・ブラジル製・海外専用車) ・エリシオン プレステージ ・フィットFFV(フレックス燃料車・ブラジル製・海外専用車) ・電動カートモンバルML200 ・コージェネレーションユニット MCHP1.0 ・船外機BF90/BF75 ・発電機EU55is ・ライディングトレーナー

世の中の出来事
<ul style="list-style-type: none"> ・日本郵政株式会社発足 ・景気拡大期が、いざなぎ景気を超え戦後最長(2002年2月以降)





























二輪車	四輪車	パワープロダクト
 CBR1000RR(レースベース車)  CBR1000RR  フォルツァ	 モビリオ (サイドリフトアップシート車)  ゼスト	 電動カートモンバルML200  コージェネレーションユニット MCHP1.0
 戦鷹  グラマー FI  佳御	 パートナー  ストリーム	 船外機BF90  発電機EU55is
 クリック  CRF150R  モンキー 40周年スペシャル	 CR-V  シビックFFV	
 ライディングトレーナー	 エリシオン プレステージ  フィットFFV	

※:ホンダ調べ *Google Earthは、Google Inc.の商標または登録商標です ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
2007	<ul style="list-style-type: none"> マレーシア HMSB で国連開発計画と共同で奨学金活動、ホンダ・ドリームス・ファンドをスタート 米国 イーグルロック・スクールの支援事業がCASE(教育振興支援審議会)よりジョン・R・チャンドラー賞を受賞 中国 GHACが四輪車生産累計100万台達成 中国 CHAMの新工場が佛山市において稼働開始 PGM-FI搭載の4ストローク船外機が、J.D.パワー社2007年米国マリンエンジン競争力情報調査の4ストロークEFI船外機部門で顧客満足度3年連続1位を獲得 台湾本田の生産部門分社 四輪車生産会社 台湾本田汽車股份有限公司(HTW-M)設立 米国 Climate Energy社と共同で家庭用小型コージェネレーションシステム「フリーワット」を米国北東部販売開始 中国 GHAC製 オデッセイが、中国汽车技術研究中心(CATARC)が実施した衝突安全性能試験(C-NCAP)で、ミニバン初の5つ星レベル評価獲得 中国 GHACが研究開発子会社 広州本田汽車研究開発有限公司(GHRD)設立 米国 HRAでACURA専用デザインスタジオ開設 ポルトガルでホンダとして初の海外でのピーチクリーン活動実施 四輪車・汎用製品の補修用部品拠点 鈴鹿物流センター稼働 米国に、ホンダ・マニュファクチャリング・オブ・インディアナ LLC(HMIN)設立 世界初*の新規開通した主要道路を即時にルート誘導に反映する「主要道リアルタイム地図更新」開発 ブラジル HDA 二輪車生産累計1,000万台達成 CVCCエンジンとカブ号F型が、(財)日本機械学会より「機械遺産」に認定 トライアル世界選手権、トニー・ボウがチャンピオン獲得 二輪車用オートマチックトランスミッション、油圧機械式無段変速機 HFT(Human-Friendly-Transmission)開発 インド HHML 二輪車生産累計2,000万台達成 タイ TH 汎用製品生産累計1,000万台達成 英国 HUM シビック生産累計100万台達成 フィット 国内販売累計100万台達成 米国 HMA オデッセイ生産累計100万台達成 タイ HATC 四輪車生産累計100万台達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBR600RR(レースベース車) ・CBR600RR ・CRF80F(競技専用車) ・ゴールドウイング(エアバッグ) ・トゥデイ ・CB400 SUPER FOUR/CB400 SUPER BOL D'OR ・フォルツァ Z ・エリシオン(サイドリフトアップシート車・助手席リフトアップシート車・福祉車両) ・クロスロード ・シビック TYPE R ・アコード(米国製:海外専用車) ・S2000 TYPE S ・フィット ・ステップワゴン スパーダ ・インスパイア ・耕うん機パンチ・エックスF402J/F402JH ・薄膜太陽電池HEM125PA/HEM115PA((株)ホンダソルテック製造・販売) ・管理機F530/F730 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国サブプライムローン問題表面化、金融市場混乱起る 	<p>二輪車</p> <p>CBR600RR(レースベース車) CBR600RR CRF80F ゴールドウイング(エアバッグ) トゥデイ CB400 SUPER FOUR フォルツァ Z</p>	<p>四輪車</p> <p>エリシオン(サイドリフトアップシート車) クロスロード シビック TYPE R アコード S2000 TYPE S フィット ステップワゴン スパーダ インスパイア</p>	<p>パワープロダクツ</p> <p>耕うん機パンチ・エックスF402J 薄膜太陽電池HEM125PA 管理機F530</p>

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2008	<ul style="list-style-type: none"> ・英国 HUM 四輪車生産累計200万台達成 ・米国 HACLが、メキシコ・カナダでのHondaJet販売開始を発表 ・フィリピン、交通教育センター(Honda Safety Driving Center)開所 ・米国 HACL、ジュネーブで開催の航空機ショー EBACE (European Business Aviation Convention and Exhibition)にて欧州におけるHondaJetの受注開始 ・世界初[®]、二輪車スーパースポーツモデル用新ブレーキシステム 電子制御式 コンバインドABS開発 ・熊本製作所でスーパーカブ発売50周年記念式典を開催 ・ベトナム HVN二輪車生産累計500万台を達成 ・医療法人霞ヶ関南病院(埼玉県川越市)と歩行アシストの共同試験開始 ・ステップワゴン 国内販売累計100万台達成 ・ホンダ太陽(株)日出工場稼働 ・ステアリング操作をアシストし走行安定性を高める、モーションアダプティブEPS開発 ・衝突時の歩行者の頭部衝撃を低減するポップアップフードシステム開発 ・腰部、大腿部の傷害評価を可能にした第3世代歩行者ダミー POLAR IIIによる衝突実験開始 ・周囲の視界をカメラ映像で捉え安心・安全な運転を支援する、マルチビューカメラシステム開発 ・世界初[®]、運転席用 i-SRSエアバッグシステム(連続容量変化タイプ)開発 ・二輪車世界生産累計2億台達成 ・(株)ホンダソルテック、公共・産業用薄膜太陽電池販売開始 ・F1世界選手権、2008年をもって参戦終了 ・国内販売チャンネル ACURA導入計画、中止 ・GSユアサとリチウムイオン電池の製造・販売・研究開発合弁会社設立に基本合意 	<ul style="list-style-type: none"> ・リード ・CBR1000RR(レースベース車) ・ジャイロキャノピー ・DN-01 ・XR230 モタード ・ジャイロX ・CB223S ・CBR1000RR ・スーパーカブ50 50周年スペシャル ・リトルカブ 50周年スペシャル ・CRF450R (競技専用車) ・シャドウ クラシック/シャドウ カスタム(400) 	<ul style="list-style-type: none"> ・米大手投資銀行リーマンブラザーズが経営破綻 <リーマンショック>

二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
リード	CBR1000RR(レースベース車)	ジャイロキャノピー	フリード	アコード	一輪管理機FR716	耕うん機ラッキーFU655L
						
DN-01	XR230 モタード	ジャイロX	アコード ツアラー	FCX クラリティ	芝刈機HRG415C3	船外機BF50
						
CB223S	CBR1000RR	スーパーカブ50 50周年スペシャル	レジェンド	シティ	除雪機ユキオスSB800	
						
リトルカブ 50周年スペシャル	CRF450R	シャドウ クラシック(400)	オデッセイ	オデッセイ (助手席リフトアップシート車)		
						
			ライフ	ゼスト スパーク		
						
			ライフ (助手席リフトアップシート車)			

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2009	<ul style="list-style-type: none"> ・新開発のハイブリッドシステム 1.3L i-VTECエンジン+IMAをインサイトに搭載 ・オデッセイ 国内累計販売100万台達成 ・F1世界選手権、Honda Racing F1 Team(HRF1)を、チームプリンシパル ロス・ブラウン氏に売却 ・ドイツ バイラント社と欧州市場向け家庭用小型コージェネレーションシステムを共同開発 ・ブラジル HDA、二輪車として世界初*のフレックス・フューエル技術 Mix Fuel Injectionシステムを搭載したCG150 TITAN MIX発売 ・ATR、島津製作所と共同で、考えるだけでロボットを制御するブレイン・マシン・インターフェース(BMI)を開発 ・浜松製作所の二輪車エンジン生産終了。熊本製作所への移管完了(完成車は2008年に移管済) ・GSユアサと高性能リチウムイオン電池の製造・販売・研究開発を行う合弁会社(株)ブルーエナジー設立 ・QCT 品質改革センターに市場措置(重要品質問題)部品の重品展示館開設 ・中国 広州ホンダ汽车有限公司(GHAC)が 広汽ホンダ汽车有限公司に社名変更 ・福井威夫が退任、伊東孝紳が7代目社長に就任 ・米国 HAM二輪車工場MMP、二輪車生産終了 ・モンパル ML200の意匠が平成21年度全国発明表彰において経済産業大臣発明賞と発明実施功績賞を受賞 ・中国 DHACが四川大地震の被害を受けた四川省茂県に小学校(東風本田勵志小学校)開校 ・インクリメントP(株)、(株)ゼンリンデータコムと共同で地震発生時の道路情報を共有する「災害時移動支援情報共有システム」を構築、運用開始 ・業界初*、除雪機盗難補償制度「安心プラス」開始 ・カブ系エンジンに搭載可能な新型オートマチックトランスミッションCVマチック開発 ・世界初*の大型二輪車スポーツモデル用デュアル・クラッチ・トランスミッション(DCT)開発 ・人との調和を目指した新たなパーソナルモビリティ技術を開発、U3-X発表 ・埼玉製作所 小川エンジン工場稼働開始 ・多摩テック閉園(1961年10月開園から48年間) ・HRI-USが米国のパデュー大学、レイビル大学との共同研究で金属型カーボンナノチューブの高純度合成に成功 ・インサイトが2009-2010 日本自動車殿堂カーオブザイヤー受賞 ・中国 広汽本田汽车有限公司(GHAC) アコードの生産・販売累計100万台達成 ・インターナビ・プレミアムクラブ会員数が、2002年10月サービス開始以来100万人突破 ・タイ THが新型スクーター PCXを生産・発売、2010年から輸出開始 ・刈払機全機種が業界初*の「安全鑑定証票」取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBR1000RR(ABS) ・CBR600RR(ABS) ・モンキー ・シルバーウイングGT(400)/シルバーウイングGT(600) ・CG150 TITAN MIX(ブラジル製・海外専用車) ・VTR ・スーパーカブ110/スーパーカブ 110プロ ・フェイス ・CRF250R(競技専用車) ・NXR150MIX(ブラジル製・海外専用車) ・PCX(タイ製・海外専用車) ・VT1300CX ・シャドウ ファントム750 ・インサイト ・フリード(インドネシア製・海外専用車) ・シティ FFV(フレックス燃料車・ブラジル製・海外専用車) ・ステップワゴン ・シビック TYPE R EURO(英国製) ・アクティ・トラック ・耕うん機ピアンタFV200(家庭用カセットガス) ・芝刈機HRX537C2(米国製) ・船外機BF60/BFP60 ・船外機BF225/BF200/BF175 ・発電機EU26i ・除雪機雪丸HS655J1 ・除雪機スノーラHS760JSE ・刈払機UMR425(背負式) ・簡易型ドライビングシミュレーター ・Hondaセーフティナビ発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコカー減税開始 ・太陽光発電余剰電力買取制度開始



















二輪車			四輪車		パワープロダクト	
CBR1000RR (ABS)	CBR600RR (ABS)	モンキー	インサイト	シティ FFV	耕うん機ピアンタFV200	芝刈機HRX537C2
シルバーウイングGT(400)	CG150 TITAN MIX	VTR	ステップワゴン	シビック TYPE R EURO	船外機BF60	船外機BF225
スーパーカブ110	フェイス	CRF250R	アクティ・トラック		発電機EU26i	除雪機雪丸HS655J1
PCX	VT1300CX	シャドウ ファントム750			除雪機スノーラHS760JSE	刈払機UMR425

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
2010	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスパワー耕うん機ビアンタ FV200が販売累計1万台達成 ・インターナビ・プレミアムクラブ会員向けに自動車業界初*の通信費無料「リンクアップフリー」開始 ・シンガポール・セーフティ・ドライビング・センター(SSDC)が、東南アジア初*となる本格的な多層式実技教習コースを備えた教習所として移転オープン ・「お客様の喜びを最大化」する商品を早く、安く、低炭素で実現する2020年ビジョン制定 ・中国 SDHが50cc輸出専用スクーター生産累計100万台達成 ・米国 HAMメアリスビル工場(MAP)がホンダの海外四輪車生産工場初の生産累計1,000万台達成 ・ホンダ初 6速オートマチックトランスミッション、世界初*ノイズリデュースングアルミホイール開発(2010年10月発売のレジェンドに搭載) ・フィット ハイブリッドが2010-2011日本自動車殿堂カー・オブ・ザ・イヤーを受賞 ・安全運転教育機器「Honda動画KYT(危険予測トレーニング)」発売 ・量産型HondaJetが米国での型式証明取得に向けた初飛行に成功 ・電動二輪車 EV-neoのリース販売開始 ・インターナビ リンクアップフリーがATTTアワード受賞(自動車通信技術賞 最優秀賞) ・インドにおける二輪車生産・販売合弁会社 ヒーローホンダ(HHM)の合併解消および今後の技術供与発表 ・埼玉県、熊本県と共同で実施する次世代パーソナルモビリティの実証実験計画を公表、使用車両やソーラー充電ステーションを公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・CB Twister(インド製・海外専用車) ・Wave110i AT(タイ製・海外専用車) ・VFR1200F ・CB1100 ・PCX(タイ製) ・VT750S ・VT1300CR/VT1300CS ・VFR1200F デュアル・クラッチ・トランスミッション ・VT400S ・EV-neo(電動二輪車・企業・個人事業主向けリース販売) ・CR-Z ・フリード スバイク ・フィット ハイブリッド ・シビック TYPE R EURO ・ライフ(助手席リフトアップシート車・福祉車両) ・芝刈機HRS536(米国製) ・発電機エネボEU9iGB(家庭用カセットガス) ・船外機BF150/BF135/BF115 ・薄膜太陽電池HEM120PCA/HEM130PCA((株)ホンダソルテック製造・販売) ・パワーコンディショナHEP055S((株)ホンダソルテック販売) ・汎用エンジンGX240/GX270/GX340/GX390 ・汎用エンジンiGX240/iGX270/iGX340/iGX390 ・安全運転教育用Honda自転車シミュレーター ・安全運転教育用四輪ドライビングシミュレーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・南米チリでM8.8の地震発生 ・経産省、エコカー補助金終了 ・東北新幹線全線開業 	<p>二輪車</p>  <p>CB Twister</p>  <p>Wave110i AT</p>  <p>VFR1200F</p>  <p>CB1100</p>  <p>PCX</p>  <p>VT750S</p>  <p>VT1300CR</p>  <p>VFR1200F デュアル・クラッチ・トランスミッション</p>  <p>VT400S</p>  <p>EV-neo</p>  <p>Honda自転車シミュレーター</p>	<p>四輪車</p>  <p>CR-Z</p>  <p>フリード スバイク</p>  <p>フィット ハイブリッド</p>  <p>シビック TYPE R EURO</p>  <p>ライフ (助手席リフトアップシート車)</p>  <p>四輪ドライビングシミュレーター</p>	<p>パワープロダクツ</p>  <p>芝刈機HRS536</p>  <p>発電機エネボEU9iGB</p>  <p>船外機BF150</p>  <p>薄膜太陽電池HEM120PCA</p>  <p>パワーコンディショナ HEP055S</p>  <p>汎用エンジンGX240</p>  <p>汎用エンジンiGX240</p>





















※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2011	<ul style="list-style-type: none"> ・3月11日、東日本大震災が発生。栃木地区事業所、東北地方のお取引先や販売店をはじめ甚大な被害を受ける ・東日本大震災被災地周辺通行可能道路情報をGoogleマップ*に公開 ・量産型HondaJetが最高速度425ノット(時速約787km)を記録 ・アルゼンチン HAR カンパーナ工場で四輪車生産開始 ・家庭用ガスエンジン コージェネレーションユニットを全面改良、ガス事業者への販売開始 ・全世界で販売する製品のCO2排出量を30%低減する目標を公表、グローバル環境スローガンBlue Skies for Our Childrenを制定 ・J.D.パワー社による米国自動車初期品質調査(IQS)でホンダが総合2位(量販ブランドで1位)、ACURAが総合3位、カテゴリー別で7モデルが1位、工場別ではインディアナ工場が1位を獲得 ・中国の合併会社14社の従業員が内モンゴル自治区興和県で植林活動を実施 ・中国 WDHAC、四輪車生産累計100万台達成 ・J.D.パワー社 中国の2011年自動車アフターサービス満足度(CSI)調査においてGHACが1位、WDHACが2位獲得 ・米国 HACI敷地内にHondaJet 生産工場完成 ・インド HMSI ラジャスタン州タブカラ二輪車生産第2工場稼働 ・総合性能を高めた125ccスクーター用エンジン eSPを開発 ・ベトナム HVN二輪車生産累計1,000万台達成 ・タイで大規模な洪水発生。HATCが浸水被害 ・中国 JLHの新工場稼働 ・ケニア・ナイロビに四輪事務所 HSAF-K 開設 ・汎用製品国内生産累計1億台達成(1953年汎用製品第1号H型 汎用エンジン以来) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョルノ ・Biz125Flex(ブラジル製・海外専用車) ・CBR250R ・ズーマー 10th Anniversary ・ディオ110 ・Ace CB125 バイクタクシー仕様/Ace CB125-D(ナイジェリア製・海外専用車) ・ベンリィ ・酷士(中国製・海外専用車) ・CBR1000RR(レースベース車) ・CBR1000RR ・理念S1(中国製・海外専用車) ・シビック(米国製・海外専用車) ・BRIO(タイ製・海外専用車) ・フィット シャトル/フィット シャトル ハイブリッド ・フリード ハイブリッド ・インサイト エクスクルーシブ ・CR-V ・N-BOX ・刈払機UMK425/UMK435/UMR425 ・コージェネレーションMCHP1.0K2 ・除雪機HSS970n/HSS1170n/HSS1180i/HSM1380i/HSM1390i ・船外機BF250 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災、M9.0の地震発生 ・JC08モード燃費基準導入スタート ・タイで大雨による洪水被害拡大 ・新「エコカー補助金」スタート











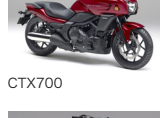
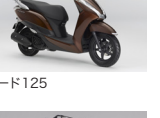
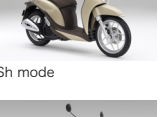
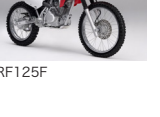

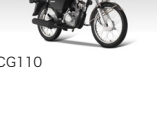












二輪車			四輪車		パワープロダクト	
						
ジョルノ	CBR250R	ズーマー 10th Anniversary	理念S1	シビック	刈払機UMK425	コージェネレーションMCHP1.0K2
						
ディオ110	Ace CB125 (バイクタクシー仕様)	ベンリィ	BRIO	フィット シャトル	除雪機HSS970n	船外機BF250
						
酷士	CBR1000RR レースベース車	CBR1000RR	フリード ハイブリッド	インサイト エクスクルーシブ		
						
			CR-V	N-BOX		

※：ホンダ調べ *Google マップは、Google Inc.の商標または登録商標です ■主要製品は発売年により記載しています



年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2012	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易型四輪ドライブシミュレーター Hondaセーフティナビに、運転復帰リハビリテーション向けソフトを発売 ・洪水被害により生産を停止していたタイ HATCが生産再開 ・埼玉県庁敷地内に、ソーラー水素ステーションを設置。給電機能を装備したFCXクラリティを埼玉県に納車 ・ホンダ二輪車オーナー向け新会員制度Honda Moto LINC (ホンダ モト・リンク)サービス開始 ・日本重化学工業(株)との共同開発により、ホンダ製品使用済み部品からレアアースをリサイクル工程で抽出するプロセスを世界で初めて*確立 ・Hondaスマートホームシステム(HSHS)を導入した実証実験ハウスがさいたま市に完成、初公開 ・軽事業の競争力強化に向け鈴鹿製作所内に四輪R&Dセンター鈴鹿分室(HGT-S)を設立、開発・生産・購買の協働体制がスタート ・パーソナルモビリティ UNI-CUB発表 ・米国 フィットEVが、EPAから米国最高の電費性能認可取得 ・ホンダ製品使用時におけるグローバルでのCO₂排出量を業界で世界初の開示 ・中国 WDHAC、第二工場稼働開始 ・タイ TH、汎用製品生産累計2,000万台達成 ・J.D.パワー社 中国の2012年自動車アフターサービス満足度(CSI)の調査において、2年連続でGHACが1位、WDHACが2位獲得 ・ブラジル HAB 四輪車生産累計100万台達成 ・インド 四輪車生産販売現地法人 ホンダ・シエル・カーズ・インディア・リミテッド(HSCI)の全株式取得、ホンダ・カーズ・インディア・リミテッド(HCIL)に社名変更 ・スチールとアルミを接合する技術を新開発、世界で初めて*北米生産四輪車骨格部品(フロントサブフレーム)に適用(米国アコード) ・ロジウム使用量を50%低減する触媒を開発(米国アコード) ・停電時でも起動を可能にした自立運転機能付きの家庭用ガスエンジン コージェネレーションユニット開発 ・ハイブリッド車の世界販売累計100万台達成* ・米国 HACL, HondaJet 量産1号機生産開始 ・N-BOX+が2012~2013日本自動車殿堂カー・オブ・ザ・イヤーを受賞 ・軽量コンパクトハイブリッドシステム「SPORT HYBRID Intelligent Dual Clutch Drive」を開発 ・米国からの四輪車輸出累計100万台達成(1987年、日本の自動車メーカーとして初めて*米国から四輪車輸出開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリック125i(タイ製・海外専用車) ・ベンリィ 110 ・NC700X/NC700S ・スーパーカブ110(中国製) ・インテグラ ・CRF250L ・スーパーカブ50(中国製) ・ドリーム ユガ(インド製・海外専用車) ・PCX150 ・スーパーカブ50 プロ/スーパーカブ110 プロ(中国製) ・CRF450R(競技専用車) ・ジャズ ハイブリッド(タイ製・海外専用車) ・N-BOX+ ・N-BOX+(車いす仕様車・福祉車両) ・フィットEV(電気自動車・自治体 企業向けリース販売) ・CR-Z ・BRIO AMAZE(タイ製・海外専用車) ・N-ONE ・FIT twist(ブラジル製・海外専用車) ・耕うん機パンチ・エックスF502 ・汎用エンジンGX120/GX160/GX200 ・芝刈機ガラスバHRE330/HRE370(電動式) ・コージェネレーションMCHP1.0R ・薄膜太陽電池HEM140PCPB ・(株)ホンダソルテック製造・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー固定買取制度開始

二輪車	四輪車	パワープロダクト
 クリック125i  ベンリィ 110  NC700X  スーパーカブ110  NC700S  インテグラ  CRF250L  スーパーカブ50  ドリーム ユガ  PCX150  スーパーカブ50 プロ  CRF450R	 ジャズ ハイブリッド  N-BOX+  N-BOX+ (車いす仕様車)  フィットEV  CR-Z  BRIO AMAZE  N-ONE  FIT twist	 耕うん機パンチ・エックスF502  汎用エンジンGX120  芝刈機ガラスバHRE330  コージェネレーションMCHP1.0R  薄膜太陽電池HEM140PCPB

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2013	<ul style="list-style-type: none"> ・インド初となる風洞実験施設が、ホンダR&D(インド)に新設、二輪車研究開発力を強化 ・Honda Moto LINC(ホンダ モト・リンク)のサービスをすべての二輪車オーナーに提供開始 ・ハイブリッド車用ニッケル水素バッテリーから抽出したレアアースを再利用する仕組みを世界で初めて[※]確立 ・ケニアに、二輪車生産販売会社 ホンダ・モーターサイクル・ケニア Ltd.(HMK)設立 ・中国 WHM二輪車生産累計1,000万台達成 ・ナイジェリアに、四輪車および部品輸入・販売現地法人 ホンダ・オートモービル・ウエスタンアフリカ(HAWA)設立 ・マレーシアに、四輪車用エンジン生産会社 ホンダ・アッセンブリー(マレーシア) Sdn. Bhd.(HASB)設立 ・パワーユニット(PU)サプライヤーとしてMcLaren(マクラーレン)とのジョイントプロジェクトにより2015年F1世界選手権参戦を発表 ・インド HMSI カルナータカ州ナルサプール地区の第三工場稼働 ・独立行政法人産業技術総合研究所と、東京電力福島第一原子力発電所建屋内で遠隔操作で現場調査を行う、高所調査用ロボットを共同開発、稼働を開始 ・ハイブリッド車用ニッケル水素バッテリーから抽出のレアアースをハイブリッド車用モーターへ再利用する取り組みを、TDK(株)、日本重化学工業(株)と共同での推進を合意 ・GMと次世代燃料電池システムの共同開発に合意(2020年頃の実用化に向けて燃料電池システムと水素貯蔵システムを共同開発) ・埼玉製作所寄居工場稼働 ・ホンダ太陽が障害者雇用優良事業所厚生労働大臣表彰を受賞 ・米国、HACI本社敷地内にHondaJetカスタマーサービスセンター完成 ・太陽電池事業子会社(株)ホンダソルテック事業終了発表 ・フィット ハイブリッドが2013～2014日本自動車殿堂カー・オブ・ザ・イヤーを受賞 ・中国に、本田技研科技(中国)有限公司(HMCT)を設立、四輪車研究開発・部品調達・生産機能を強化 ・人との親和性を向上させた「UNI-CUB β」を発表 ・直噴ガソリンターボエンジン「VTEC TURBO」開発 ・超小型EV「MC-β」を発表～熊本県、さいたま市、宮古島市と社会実験を開始～ ・米国 GE Honda、ターボファンエンジンHF120の型式認定取得 ・HondaJet 米国連邦航空局の型式検査承認(TIA)[※]取得 ※Type Inspection Authorization ・バングラデシュ・ホンダ(BHL)が現地生産のCD80や、HMSI生産車の計6モデルを販売開始 ・ブラジルに、風力発電事業会社 ホンダエナジー・ド・ブラジル・リミターダ(HEN)設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・MSX125(タイ製・海外専用車) ・ゴールドウイング F6B ・CBR600RR(レースベース車) ・CBR600RR ・CBR400R ・CRF250M ・CB400F ・400X ・CBR125R ・ズーマー X ・クロスカブ(中国製) ・グロム ・CTX700 ・フォルツァ Si(タイ製) ・リード125 ・CRF250R(競技専用車) ・Sh mode ・CRF125F ・リトルカブ・55周年スペシャル ・CG110(ナイジェリア製・海外専用車) ・アコード ハイブリッド ・アコード プラグイン ハイブリッド(リース販売) ・プリオ・サティア(インドネシア製・海外専用車) ・ジェイド(中国製・海外専用車) ・フィット/フィット ハイブリッド ・N-WGN/N-WGN Custom ・オデッセイ ・ヴェゼル ・耕うん機サ・ラ・ダFF300 ・耕うん機サ・ラ・ダCG FFV300(家庭用カセットガス) ・汎用エンジンGP160H(中国製) ・ロボット 芝刈機Miimo(欧州製・海外専用) ・除雪機HSL2511 ・除雪機HSS760nJX/HSS970nJX/HSS1170nJX ・船外機BF90/BF75 	<ul style="list-style-type: none"> ・日銀、デフレ脱却に向け「異次元の金融緩和」、アベノミクス本格化 	<p>二輪車</p>  MSX125  ゴールドウイング F6B  CBR600RR レースベース車  CBR600RR  CBR400R  CRF250M  CB400F  400X  CBR125R  ズーマー X  クロスカブ  グロム  CTX700  フォルツァ Si  リード125  CRF250R  Sh mode  CRF125F  リトルカブ・55周年スペシャル  CG110	<p>四輪車</p>  アコード ハイブリッド  アコード プラグインハイブリッド  プリオ・サティア  フィット  N-WGN  オデッセイ  ヴェゼル	<p>パワープロダクト</p>  耕うん機サ・ラ・ダFF300  耕うん機サ・ラ・ダCG FFV300  汎用エンジンGP160H  ロボット芝刈機Miimo  除雪機HSL2511  除雪機HSS760nJX  船外機BF90

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています





















年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2014	<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ直感的な操作を可能にする自動車技術の技術革新を推進する枠組み、オープン・オートモーティブ・アライアンスに加盟 インドネシア HPM、四輪車第二工場の稼働開始 電動車両(PHEV・EV)用普通充電器HEH55開発 メキシコ HDM、セラヤ市の四輪車第二工場稼働開始 インド HCIL、タブカラ工場で四輪車生産開始 米国、四輪車生産累計2,000万台達成 防災向け低圧LPガス発電機開発 ベトナムに、汎用製品輸入販売会社 ホンダ・ベトナム・パワープロダクト Co., Ltd.(HVPP)設立 N-WGNが平成25年度自動車アセスメント(JNCAP)において、軽自動車ですべて新・安全性能総合評価で最高の「ファイブスター賞」を受賞 米国 GE Honda、小型ターボファンエンジン HF120出荷開始 スーパーカブの形状が日本で立体商標登録認可 ～乗り物自体の形状が立体商標登録されるのは日本初～ 電動車両(PHV・PHEV・EV)の充電インフラネットワーク構築に向け、日本充電サービス(NSC)設立 HondaJet量産1号機が初飛行に成功 ブラジル HDA、二輪車生産累計2,000万台達成 中国 SDH 二輪車生産累計1,000万台達成 岩谷産業(株)と共同で、ホンダ独自技術である高圧水電解システムを採用したパッケージ型スマート水素ステーションをさいたま市東部環境センター内(9月)と、北九州市エコタウンセンター内(12月)に設置 二輪車世界生産累計、3億台達成※ 熊本製作所で記念式典開催 先進安全運転支援システム Honda SENSING発表 ベトナム HVN 二輪車生産第三工場稼働 米国 HAI、小型ジェットエンジンHF120の出荷開始 タイ TH、二輪車と汎用製品を合わせた生産累計が5,000万台達成 ブラジル ホンダ・エナジー・ド・ブラジル(HEN)が業界初※の風力発電拠点稼働(四輪車生産に必要な年間電力量を再生可能エネルギーで創出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・NC750X/NC750S ・CB1100 EX ・CTX1300 ・インテグラ ・ダンク ・CB1300 SUPER FOUR/CB1300 SUPER BOL D'OR ・CB400 SUPER FOUR/CB400 SUPER BOL D'OR ・VFR1200X デュアル クラッチ トランスミッション ・CBR650F/CB650F ・CBR250R ・NM4-01 ・PCX/PCX150 ・VFR800F ・ゴールドウイング F6C ・モンキー くまモンバージョン ・CB250F ・ゴールドウイング(40周年記念) ・VFR800X ・N-BOX SLASH ・グレイス ・水ポンプWB20XT/WB30XT(タイ製) ・芝刈機HRG416/HRG466(フランス製) ・水ポンプWL20XH/WL30XH ・芝刈機HRX476(フランス製) ・発電機EU55is ・発電機EP900 ・除雪機ユキオスe SB800e(電動ブレード式) 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税、17年振りの5%から8%に増税 ・タカタ製エアバッグリコール問題を巡り、米上院議会で公聴会開催 	<p>二輪車</p> 	<p>四輪車</p> 	<p>パワープロダクト</p> 

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています


年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2015	<ul style="list-style-type: none"> ・3モーターハイブリッドシステム SPORT HYBRID SH-AWDを搭載したレジェンドを発売 ・米国 HACL、HondaJetトレーニングセンターにフライトシミュレーター導入 ・Nシリーズ5機種累計販売100万台突破 ・米国 HAIの航空エンジン工場が米国連邦航空局(FAA)から製造認定取得 ・ホンダ・エレクトロ・ジャイロケータが第8回電気技術顕彰「でんきの礎(いしずえ)」を受賞 ・HondaJet 米国連邦航空局から事前型式証明取得 ・中東地域初のACURA販売店がクウェートにオープン ・伊東孝紳が退任、八郷隆弘が8代目社長に就任 ・ナイジェリア HAWA、四輪車生産開始 ・歩行訓練機器 Honda歩行アシスト 発表・リース販売 ・外部給電用インバータの実証実験を鳥取大学と共同で開始 ・社会的責任投資の代表的指標 Dow Jones Sustainability Asia/Pacific Index(DJSI)の構成銘柄に初選定 ・二輪車向け協調型高度道路交通システム(C-ITS)用車載機の共同開発検討開始、ホンダ・ヤマハ・BMW Motorradの3社がC-ITS実用化で協力 ・Honda歩行アシストが生活支援ロボットの国際安全規格ISO13482認証取得 ・中国 GHAC第三工場およびエンジン工場稼働 ・LIXIL住宅研究所と合同で、次世代レジリエンスホーム「家+X」Powered by Hondaを公開 ・米国 HACL、米国連邦航空局よりHondaJetの型式証明取得 ・HondaJet 米国にて引き渡し開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクト ・リトルカブ スペシャル ・ディオ110 ・RC213V-S ・ベンリイ/ベンリイプロ/ベンリイ 110/ベンリイ 110 プロ ・ジョルノ ・CB125F(教習車仕様) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェイド(中国製) ・レジェンド ・S660 ・ステップワゴン/ステップワゴン スパーダ ・シャトル ・N-ONE ・ステップワゴン/ステップワゴン スパーダ(車いす仕様車・福祉車両) ・シビック TYPE R(英国製) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・芝刈機HRS536 ・外部給電器Power Exporter 9000 ・耕うん機ラッキーボーイFU400 ・刈払機UMK425H/UMK435/UMR425(ナイロンコードカッター仕様) ・水ポンプWX10T/WX15T ・コージェネレーションユニットMCHP1.0K3/MCHP1.0PK3/MCHP1.0R1/MCHP1.0RP1 ・船外機BF100/BF80 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線高崎-金沢間開業 ・改正電気事業法成立、電力販売を全面自由化 ・タカタ社、米運輸省国家道路交通安全局(NHTSA)のエアバッグ問題制裁金同意命令に合意 ・国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)、地球温暖化対策の新たな国際的枠組み「パリ協定」採択 	<p>二輪車</p>  <p>タクト</p>  <p>リトルカブ・スペシャル</p>  <p>ディオ110</p>  <p>RC213V-S</p>  <p>ベンリイ</p>  <p>ジョルノ</p>  <p>CB125F 教習車仕様</p>	<p>四輪車</p>  <p>ジェイド</p>  <p>レジェンド</p>  <p>S660</p>  <p>ステップワゴン</p>  <p>シャトル</p>  <p>N-ONE</p>  <p>ステップワゴン(車いす仕様車)</p>  <p>シビック TYPE R</p>	<p>パワープロダクト</p>  <p>芝刈機HRS536</p>  <p>外部給電器 Power Exporter 9000</p>  <p>耕うん機ラッキーボーイFU400</p>  <p>刈払機 UMK425H</p>  <p>水ポンプWX10T</p>  <p>コージェネレーションユニット MCHP1.0K3</p>  <p>船外機BF100</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2016	<ul style="list-style-type: none"> ・インド HMSI、スクーター専用生産工場第四工場稼働 ・タイ HATC 四輪車プラチンプリ工場稼働 ・タイ HATCプラチンプリ工場、四輪完成車の量産で世界初*となる流動型のセル生産方式ラインのARC*(アーク)ラインを開発・導入 *Assembly Revolution Cell ・米国 パフォーマンス・マニュファクチャリング・センター(PMC)でNSX量産開始 ・平成28年熊本地震発生。熊本製作所、熊本県内のお取引先や販売店が甚大な被害を受ける ・米国 GE Honda、小型ジェットエンジンHF120の欧州における型式認定を取得 ・米国 HACI、欧州航空安全局よりHondaJetの型式証明取得 ・ソフトバンク(株)とAI(人工知能)分野で共同研究を開始 ーAI技術のオープンイノベーションを強化ー ・重希土類完全フリー磁石をハイブリッド車用モーターに世界で初めて*採用 (フリードに搭載) ・ベトナムで二輪車生産累計2,000万台達成 ・四輪車世界生産累計1億台達成* ・ヤマハ発動機(株)と原付一種領域における協業の検討を開始 ・新たなカーライフサポートサービスHonda Total Careを開始 (JAFとの業務提携によるロードサービスを提供) 	<ul style="list-style-type: none"> ・NC750X ・400X ・CBR400R ・CRF1000L Africa Twin ・グロム ・CRF450R(競技専用車) ・レブル 500/レブル 300(北米で発表) ・CBR250RR(インドネシア製・海外専用車) ・BR-V(インドネシア製・海外専用車) ・クラリティ フェューエルセル(リース販売) ・アコード ・NSX(米国製) ・フリード/フリード+ ・耕うん機サ・ラ・ダFF500 ・耕うん機こまめF220 ・耕うん機ブチなFG201 ・船外機BF2 ・プロワHHB25(ホンダ初のプロワ) ・船外機BF5/BF6 ・発電機EG25i 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線、新青森駅 新函館 北斗駅間が開業 ・熊本地震発生、M7.3の地震発生

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
 NC750X	 400X	 CBR400R	 BR-V	 クラリティ フェューエルセル	 耕うん機サ・ラ・ダFF500	 耕うん機こまめF220
 CRF1000L Africa Twin	 グロム	 CRF450R	 アコード	 NSX	 耕うん機ブチなFG201	 船外機BF2
 レブル 500	 CBR250RR		 フリード		 プロワHHB25	 船外機BF5
					 発電機EG25i	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
2017	<ul style="list-style-type: none"> ゼネラルモーターズ(GM)と業界初*の水素燃料電池システム生産合弁会社Fuel Cell System Manufacturing,LLCをミシガン州に設立 中国 JLHとFMHが合併、JLHへー社化 インドネシア HPM 四輪車生産累計100万台達成 ホンダ・エレクトロ・ジャイロケータが「IEEE(アイトリプリー)マイルストーン」に認定 ※IEEE:米国に本部を置く電気・電子・情報・通信分野における世界最大の学会 Institute of Electrical and Electronics Engineers 日本郵便と社会インフラ整備に向けた協業検討開始 ～電動二輪車等を用いた実証実験など～ すべての人に「生活の可能性が広がる喜び」を提供するというホンダの進むべき方向性を定めた「2030年ビジョン」制定 人工知能(AI)の情報セキュリティ領域でボストン大学と共同研究開始 インディ 500で佐藤琢磨が日本人ドライバーとして初制覇 電動車両用モーター事業の合弁会社、日立オートモティブ電動機システムズ株式会社設立 タイ HRAPがアジア大洋州地域の研究開発強化に向けたテストコース、プラチンプリ ブルーピンググラウンド開設 F1世界選手権、2017年シーズンをもってマクラーレンとのパートナーシップ終了、スクーデリア トロ・ロツソと2018年シーズン以降のパワーユニット供給合意を発表 国内/パワープロダクツ完成機事業を再編、オールホンダ販売(株)に営業機能を移管、社名を(株)ホンダパワープロダクツジャパン(HPJ)に変更 国内四輪車生産体制の進化を発表、 <ul style="list-style-type: none"> 1.国内生産拠点の進化 2.グローバル生産技術の進化を日本で行う機能の新設 スーパーカブシリーズ、世界生産累計1億台達成 熊本製作所で記念式典開催 N-BOXが2017～2018日本自動車殿堂カー・オブ・ザ・イヤー受賞 会員制レンタカーサービス EveryGo 開始 ソフトバンクと第5世代移動通信システムを活用したコネクテッドカー技術共同研究開始 中国 SenseTime社と本田技術研究所が、自動運転のAI技術に関する共同研究開発契約締結 中国 HMCI、Neusoft傘下のReachstar社に出資しカーシェアリング事業提携 	<ul style="list-style-type: none"> CB1100/CB1100 EX/CB1100 RS CRF250 RALLY モンキー・50周年アニバーサリー CBR1000RR/CBR1000RR SP CBR1000RR SP2(レースベース車) CB650F CBR650F X-ADV レブル 250 レブル 500 CBR250RR モンキー・50周年スペシャル CBR1000RR SP2 CRF250R Ace110(ナイジェリア製・海外専用車) リード125 スーパーカブ50/スーパーカブ110/スーパーカブ50 プロ/スーパーカブ110 プロ WR-V(ブラジル製・海外専用車) N-BOX シビック TYPE R(英国製) シビック セダン シビック ハッチバック(英国製) オデッセイ 耕うん機バンチF503 船外機BF50/BF40 ロボット芝刈機Miimo HRM520 除雪機ユキオスSB800(ブレード式) 蓄電機LiB-AID E500(ホンダ初の蓄電機) Hondaライディングシミュレーター 	<ul style="list-style-type: none"> 英政府、EUに離脱を正式に通知 国交省、改正保安基準公布、シートベルトリマインダーの対象を全席に拡大(2020/9より新型車搭載義務化) 産業革新機構、三菱電機、自動車メーカー各社が高精度3次元地図データ開発を行う、ダイナミックマップ基盤(株)に出資 	 <p>CB1100 EX</p>  <p>CRF250 RALLY</p>  <p>モンキー・50周年アニバーサリー</p>  <p>CBR1000RR</p>  <p>CBR1000RR SP2 (レースベース車)</p>  <p>CB650F</p>  <p>CBR650F</p>  <p>X-ADV</p>  <p>レブル 250</p>  <p>レブル 500</p>  <p>CBR250RR</p>  <p>モンキー・50周年スペシャル</p>  <p>CBR1000RR SP2</p>  <p>CRF250R</p>  <p>Ace110</p>  <p>リード125</p>  <p>スーパーカブ50</p>  <p>Hondaライディングシミュレーター</p>	 <p>N-BOX</p>  <p>シビック TYPE R</p>  <p>シビック セダン</p>  <p>シビック ハッチバック</p>  <p>オデッセイ</p>	 <p>耕うん機バンチF503</p>  <p>船外機BF50</p>  <p>ロボット芝刈機 Miimo HRM520</p>  <p>除雪機ユキオス SB800(ブレード式)</p>  <p>蓄電機 LiB-AID E500</p>

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2018	<ul style="list-style-type: none"> 水素ステーションの本格整備を目的とした、日本水素ステーションネットワーク合同会社を11社協業により設立 ANAホールディングス(株)とビジネスジェットマーケット拡大に向けた戦略的パートナーシップの基本合意締結 国内二輪販売網を再構築、5つの販売体制を「Honda Dream」と「Honda Commuter」の2チャンネル体制へ変更 八千代工業(株)の四輪完成車生産事業会社を完全子会社化、ホンダオートボディー(株)に称号変更 米国 HACI、米国航空宇宙学会AIAAより最高位の「2018ファウンデーション アワード フォー エクセレンス*」を受賞 ※ AIAA Foundation Award for Excellence 米国 HACI、欧州最大のビジネス航空ショー、EBACE2018にて HondaJet Eliteを世界初公開 中国 四輪車販売累計1,000万台達成 米国 GMと、GMのバッテリーセルやモジュールを含めた次期バッテリーコンポーネントに関する協業合意 救急自動通報システムD-Call Net®の運用を全国規模に拡大、事故車両からの迅速な情報伝達システム本格運用開始 F1世界選手権、Red Bull Group(レッドブル・グループ)と Red Bull Racing(レッドブル・レーシング)に対する2019年シーズンから2年間のPU供給について合意 米国 GMクルーズホールディングス、GMの3社で無人ライドシェアサービス用車両開発の協業に合意 バングラデシュ BHL、二輪車工場稼働 歩行訓練機器Honda歩行アシストが米国で医療機器認証取得 	<ul style="list-style-type: none"> クロスカブ50/クロスカブ110 CB125R CB1000R PCX/PCX150 ゴールドウイング CB250R フォルツァ モンキー125 CRF450L PCX HYBRID スーパーカブ C125 スーパーカブ50 60周年アニバーサリー / スーパーカブ110 60周年アニバーサリー PCX ELECTRIC (電気スクーター・企業・個人事業主向けリース販売) レジェンド N-VAN クラリティ PHEV CR-V インサイト 乗用芝刈機HF2417 発電機EU18i 除雪機HSM1390i/HSM1380i 除雪機HSS1170i 除雪機HSS760n(J2) 除雪機HSM1590i 汎用エンジンGCV145/GCV170/GCV200 船外機BF200/BF225/BF250 	<ul style="list-style-type: none"> WLTCモード燃費基準導入スタート 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)発効 国交省、自動運転システム整備に 認証制度導入 	<p>二輪車</p> 	<p>四輪車</p> 	<p>パワープロダクト</p> 

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
2019	<ul style="list-style-type: none"> ・英国 HUMにおける四輪車生産の2021年中の終了に関し労使間協議開始、トルコ HTRでのシビック生産の2021年中終了を発表 ・ブラジル HAB、スマレ四輪車工場からサンパウロ州イチラピーナの新工場へ生産移管 ・MaaS事業の価値向上とモビリティサービスユーザーへのサービス向上を目的に、MONET Technologiesに日野自動車とともに出資・提携 ・国内二輪車4社による電動二輪車用交換式バッテリーコンソーシアム創設 ・中国 WDHAC、第三工場稼働 ・二輪車・四輪車・パワープロダクツ事業における組織運営体制変更 <ul style="list-style-type: none"> 二輪事業本部と二輪R&Dセンターを一体化し「ものづくりセンター」として統合オートモビルセンターを設置 パワープロダクツ事業本部にエネルギービジネス事業を移管、ライフクリエーション事業本部に名称変更 ・四輪販売店サービススタッフの世界一を決める「Honda World Skills Contest」を初開催 ・WGP参戦60周年 オランダ アッセンにてセレモニー開催 ・国内中古車事業の刷新を発表「ホンダ認定中古車 U-Select(ユーセレクト)」ブランド導入、中古車販売チャンネル「オートテラス」を「Honda Cars・U-Select」に名称変更、システム導入による中古車情報のネットワーク化 ・アルゼンチン HARが四輪車生産を2020年中終了、二輪車生産集中を決定 ・二輪車市場活性化プロジェクト「HondaGO」で二輪車のリアルな乗車体験を提供する「HondaGO BIKE STAND」と「HondaGO BIKE CHALLENGE」を開始 ・パワープロダクツ製品 世界生産累計1億5,000万台達成 ・FIMロードレース世界選手権MotoGPクラスでマルク・マルケスが4年連続6回目のチャンピオン獲得 ・二輪車世界選手権ロードレース、モトクロス、トライアルの最高峰クラスでライダーチャンピオン獲得。同シーズン最高峰クラスの3タイトル獲得は2016年にホンダが初の達成以来2度目 ・本田技術研究所が、ドライバー向けスマートフォンアプリ開発会社 Drivemode社を完全子会社化 ・ホンダ独自の高効率電動化技術の総称をHonda e:TECHNOLOGY(ホンダ イー テクノロジー)とし、二輪車・四輪車・パワープロダクツ製品の電動化技術群、関連製品を e: 統一名称で展開 ・ホンダ車専用車載通信モジュール ホンダコネクトを活用したコネクテッドサービス Honda Total Care プレミアムを開始 ・日立オートモティブシステムズ株式会社、株式会社ケーヒン、株式会社ショーワおよび日信工業株式会社の経営統合に関する基本契約締結 ・二輪車世界生産累計4億台*達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・CRF110F/CRF125F(競技専用車) ・400X ・CB650R/CBR650R ・CBR400R ・Genio(インドネシア製・海外専用車) ・Activa125(インド製・海外専用車) ・CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES ・N-WGN/N-WGN Custom ・フリード/フリード+ ・汎用エンジンGX50 ・芝刈機HRX537 ・船外機BF250/BF225/BF200/BF175 ・汎用エンジンiGX800/iGXV800/iGX700/iGXV700 ・蓄電機LiB-AID E500 for Music 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とEUとの経済連携協定(EPA)発効、世界のGDPの約3割、貿易額の約4割占める ・国交省、衝突被害軽減ブレーキ67車種、初認定 ・天皇陛下即位「令和」に改元 ・消費税、8%から10%へ引き上げ ・国交省、国産新型乗用車への緊急自動ブレーキの搭載義務化(2021年11月より適用) 	<p>二輪車</p>  <p>CRF110F</p>  <p>400X</p>  <p>CB650R</p>  <p>CBR400R</p>  <p>Genio</p>  <p>Activa125</p>  <p>CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES</p>	<p>四輪車</p>  <p>N-WGN</p>  <p>フリード</p>	<p>パワープロダクツ</p>  <p>汎用エンジンGX50</p>  <p>芝刈機HRX537</p>  <p>船外機 BF250</p>  <p>汎用エンジンiGX800</p>  <p>蓄電機LiB-AID E500 for Music</p>

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事
2020	<ul style="list-style-type: none"> ・いすゞと燃料電池大型トラック共同研究契約締結 ・ダカールラリー 2020でリッキー・ブラベックが二輪車部門総合優勝 (HRCが2013年に復帰以来8年目での勝利) ・郵便配達業務用に電動二輪車BENLY e:導入に合意、都内4局から使用開始 ・月極定額モビリティサービス「Honda Monthly Owner」を中古車で開始 ・日本でのモビリティサービス事業会社ホンダモビリティソリューションズ(株)設立 ・フィリピン HCPI 四輪車生産終了(3月) ・EV向けエネルギーマネジメントサービス e:PROGRESSを2020年中に欧州にて開始 ・バイクレンタルサービス HondaGO BIKE RENTAL 開始 ・广汽本田汽车有限公司による、本田汽車(中国)有限公司の吸収合併 ・四輪事業におけるSEDB各領域を統合した一体運営体制に組織変更 ・生産本部、購買本部、本田技術研究所の四輪車量産開発機能、ホンダエンジニアリングの四輪機能を四輪事業本部に統合 ・コネクティッド事業統括部設置 ・GMと、GM「アルティウム」バッテリー採用のホンダ向け次世代EV共同開発合意 ・新型コロナウイルス感染防止支援活動として、オデッセイ/ステップワゴン等に運転席と後部座席に仕切りを設置した感染者搬送車両を提供。港区・渋谷区へ納車。フェイスシールドを生産提供 ・新型コロナウイルス感染防止支援活動として、米国でオデッセイを活用した感染者搬送車両を提供、医療用コンプレッサーの生産支援開始 ・中国 HMCi、次世代コネクテッドサービス事業の進化を目指し、ニューソフト リーチ社との合弁会社ハインックス モビリティ サービス Co., Ltd設立 ・VFR750R(RC30)リフレッシュプランをスタート、熊本製作所にリフレッシュセンター設置 ・中国 JLHを独資化、本田動力(中国)有限公司(HPPC)へ社名変更 ・インド ホンダ・シエル・パワープロダクツ Ltd.(HSPP)がホンダ・インディア・パワープロダクツ Ltd.(HIPP)に社名変更 ・中国 CATLと新エネルギー車用バッテリーに関する包括的戦略アライアンス契約締結 ・太陽の家に、体験型資料館「太陽ミュージアム」オープン ・インディ 500、佐藤琢磨が2度目の制覇 ・全国Honda Carsの中古車在庫を購入可能とするお取り寄せ車両販売開始 ・F1世界選手権、2021年シーズンをもってパワーユニットサプライヤーとしての参戦終了を発表 ・WGP通算800勝達成 ・ベトナム HVN 二輪車生産累計3,000万台達成 ・FITが2020～2021日本自動車殿堂カーオブザイヤー受賞、F1マシン RA272が2020日本自動車殿堂 歴史遺産車に選定 ・レジェンドが国土交通省の自動運転レベル3 型式指定を取得 ・Honda e がドイツ・カーオブザイヤー 2021を日本車として初めて受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ADV150 ・CRF1100L Africa Twin ・CBR1000RR-R FIREBLADE ・BENLY e:I/BENLY e:II (電動スクーター・法人向け販売) ・CT125 ハンターカブ ・CBR250RR ・CBR600RR ・CRF450R/CRF450RX(競技専用車) ・CRF250L/CRF250 RALLY 	<ul style="list-style-type: none"> ・英国がEU離脱 ・新型コロナウイルス感染拡大、世界的に大きな影響となる ・自動運転車レベル3解禁、「道路交通法」、「道路運送車両法」など関連法規改正 ・あおり運転厳罰化、改正道路交通法施行

二輪車			四輪車		パワープロダクツ	
						
ADV150	CRF1100L Africa Twin	CBR1000RR-R FIREBLADE	アコード	フィット	芝刈機HRG466	乗用芝刈機HF2417
						
BENLY e:I	CT125・ハンターカブ	CBR250RR	Honda e	N-ONE	蓄電機LiB-AID E500 for Work	
						
CBR600RR	CRF450R	CRF250L				

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクト
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・GMクルーズホールディングス、GMと3社で日本での自動運転モビリティサービス事業に向けた協業を行うことで基本合意 ・ダカールラリー 2021で二輪車部門2連覇 ・KTM、Piaggio、ヤマハ発動機と欧州での電動二輪車および小型電動モビリティを対象とした交換式バッテリーコンソーシアム創設に合意 ・国内二輪車4社による電動二輪車用交換式バッテリーの相互利用を可能にする標準化に合意 ・八郷隆弘が退任、三部敏宏が9代目社長に就任 ・アメリカの四輪生産関連法人と四輪開発機能を統合し、ホンダ・ティベロップメント・アンド・マニュファクチャリング・オブ・アメリカ(HDMA)設立 ・タイにおける二輪車・パワープロダクトの生産事業一体化を目的としてAPHとTHおよびHPDカンパニーを合併し、タイホンダ・マニュファクチャリングカンパニー・リミテッド設立(THM) ・日本での四輪車オンライン販売事業会社 株式会社ホンダセールスオペレーションジャパンを設立 ・ホンダが目指す姿・取り組みの方向性を公表 <ul style="list-style-type: none"> EV、FCV(燃料電池車)の販売比率を2040年にグローバルで100%を目標 2050年に全世界でホンダの二輪車、四輪車が関与する交通事故死者ゼロを掲げる ・米国 HACL、HondaJet Elite S発表 ・(株)小松製作所と、モバイルパワーパックを活用したコマツのマイクロショベル電動化、建設機械・機材に相互使用を可能にする土木・建設業界向けバッテリー共用システムの共同開発基本合意契約を締結 ・従業員のアイデア・夢を実現する新事業創出プログラム IGNITIONの全社展開を開始 ・IGNITION発のベンチャー企業第1号 株式会社Ashirase(あしらせ)設立 ・JAXAと、宇宙での生活環境構築を目指し、循環型再生エネルギーシステム構築に向けた実現性検討を共同で開始 ・FREEDシリーズ 販売累計100万台突破 ・Hondaドライブデータサービス「旅行時間表示サービス」を提供開始 ・J.D. パワー社 国内セールス・サービス顧客満足度調査 マスマーケット国産ブランドでホンダがセールスとサービスの2冠達成 ・eVTOL、アバターロボット、循環型再生エネルギーシステム、遠隔操作ロボット、小型ロケットの開発取り組みを発表 ・国内自動車メーカー初 新車オンラインストア「Honda ON」オープン ・全方位安全運転支援システム Honda SENSING 360発表 ・モバイルバッテリーを活用した「シェアサイクル用2電源システム」開発 ・着脱式可搬バッテリー Honda Mobile Power Packを活用した再生可能エネルギー活用拡大に向けた取り組みを発表 ・2050年交通事故死者ゼロに向けて開発中の、先進将来安全技術を世界初公開 ・F1世界選手権、Red Bull Racing Honda(レッドブル・レーシング・ホンダ)のマックス・フェルスタッペンが10勝、初のドライバーズチャンピオンを獲得 ・埼玉製作所狭山工場の完成車生産終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・NC750X ・ディオ110 ・PCX/PCX160/PCX e:HEV ・X-ADV ・グロム ・フォルツァ ・ジャイロ e:(電動三輪スクーター) ・CB125R ・GB350/GB350S ・CB1300 SUPER FOUR/ CB1300 SUPER BOL D'OR ・レブル 1100 ・CRF250R/CRF250RX(競技専用車) ・スーパーカブ C125 ・モンキー125 ・CB1100 RS Final Edition/ CB1100 EX Final Edition ・ジャイロ キャンビー e:(電動三輪スクーター) ・CBR400R ・400X ・レジェンド ・ヴェゼル ・シビック ・汎用電動パワーユニットeGX GXE2.0H/GXE2.0S (ホンダ初の汎用電動パワーユニット) ・ロボット草刈機Grass Miimo HRM3000 ・ブロワHHB36AXB(電動式) ・刈払機HHT36AXB(電動式) ・芝刈機HRG466XB(電動式) 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体不足により、全世界的に自動車減産 ・国交省、遠隔型自動運転車、初のレベル3認可 ・二輪車メーカー 4社、EVバイクの着脱式バッテリー標準化合意 ・2020年の交通事故死者数、初の3,000人を下回った(2,636人)と発表 ・2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ目標など改正地球温暖化対策推進法成立 ・国交省、保安基準改正でバックモニターなど義務化 ・東京五輪、パラリンピック、新型コロナ影響により1年遅れて開幕(原則無観客) 	 <p>NC750X</p>  <p>ディオ110</p>  <p>PCX160</p>  <p>X-ADV</p>  <p>グロム</p>  <p>フォルツァ</p>  <p>ジャイロ e:</p>  <p>CB125R</p>  <p>GB350</p>  <p>CB1300 SUPER FOUR</p>  <p>レブル 1100</p>  <p>CRF250R</p>  <p>スーパーカブ C125</p>  <p>モンキー125</p>  <p>CB1100 RS Final Edition</p>  <p>ジャイロ キャンビー e:</p>  <p>CBR400R</p>  <p>400X</p>	 <p>レジェンド</p>  <p>ヴェゼル</p>  <p>シビック</p>	 <p>汎用電動パワーユニットeGX GXE2.0H</p>  <p>ロボット草刈機 Grass Miimo HRM3000</p>  <p>ブロワHHB36AXB(電動式)</p>  <p>刈払機HHT36AXB(電動式)</p>  <p>芝刈機HRG466XB(電動式)</p>

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事
2022	<ul style="list-style-type: none"> ・米国 EV用バッテリー研究開発会社SES Holdingsとリチウム金属二次電池に関する共同開発契約締結 ・自動配送ロボットを活用した配送サービスの普及を目的とした、一般社団法人ロボットデリバリー協会を川崎重工業、ZMP、TIS、ティアフォー、日本郵便、パナソニック、楽天グループ、ホンダの8社で発足 ・新たな成長・価値創造を可能とするサービス・ソリューション志向のモビリティカンパニーへの変革を目指した組織運営体制を変更 <ul style="list-style-type: none"> ハードとソフトやサービスを融合させた、新価値創出強化のための新組織 事業開発本部を発足 電動化、デジタル時代に対応した、事業本部と地域本部のオペレーション進化 既存領域の事業運営体制の統合による体質強化 ・ソニーグループ(株)と、モビリティ分野における戦略的提携に向けて基本合意 ・着脱式可搬バッテリー Honda Mobile Power Pack e: がコマツ電動マイクロシヨベルに搭載開始 ・電動二輪車用共通仕様バッテリーのシェアリングサービス提供を目的とした「株式会社Gachaco (ガチャコ)」を5社で設立 ・マレーシア四輪車生産累計100万台達成 ・中国、本田動力(福州)有限公司(HPPF)設立(HPPCから社名変更) ・F1世界選手権、Scuderia AlphaTauri(スクーデリア・アルファタウリ)とRed Bull Racing (レッドブル・レーシング)にPUを供給する、Red Bull Powertrains(レッドブル・パワートレインズ)をHRCが組立・技術支援 ・GMと、量販価格帯のグローバルEVシリーズの共同開発に合意 ・四輪電動ビジネスの取り組みを発表 <ul style="list-style-type: none"> 2030年までにグローバルで30機種のEVを展開し、EVの年間生産200万台超を計画 全固体電池の実証ラインに着手、約430億円を投資し2024年春に立ち上げ予定 ・IGNITION発のベンチャー企業「ストリーモ」設立 ・ソニーグループと、モビリティ事業を行う新会社「ソニー・ホンダモビリティ株式会社」の設立に関する合弁契約を締結 ・モトクロス世界選手権、MXGPクラスでティム・ガイザーが4度目のチャンピオン獲得 ・LGエナジーソリューションとホンダ、EV用バッテリー生産合弁会社の米国での設立に合意 ・レアメタルの安定調達に向けて阪和興業株式会社と戦略的パートナーシップを締結 ・二輪事業の電動化を中心とした活動について公表 <ul style="list-style-type: none"> 内燃機関(ICE)の継続的な進化への取り組み 電動二輪車を2025年までに10モデル以上投入、5年以内に年間100万台、2030年に年間350万台レベルを販売 ・トライアル世界選手権で、トニー・ボウが32タイトル獲得(トライアル世界選手権、Xトライアルでそれぞれ16連覇) ・中国 東風汽車集団、广汽集団とEVバッテリー調達を行う新合弁会社 衆鋭(北京)貿易服務有限公司(HDG(Beijing)Trading Service Co., Ltd)設立 ・米国 HACL HondaJet Elite II 発表 ・F1世界選手権、HRCが技術支援をするパワーユニットを搭載するオラクル・レッドブル・レーシングが22戦17勝でコンストラクターズチャンピオン獲得 ・(株)Gachaco、国内第1号機バッテリー交換ステーション「Honda Power Pack Exchanger e:」販売開始 ・安全運転支援システム Honda SENSING 360とHonda SENSING Eliteの次世代技術を発表




主要製品
<ul style="list-style-type: none"> ・リード125 ・CBR1000RR-R FIREBLADE SP 30th Anniversary ・ダックス125 ・NT1100 ・クロスカブ110/クロスカブ110・くまモンバージョン ・スーパーカブ110/スーパーカブ110プロ ・NC750L(MT・AT教習車仕様) ・HAWK 11 ・CT125 ハンターカブ ・CB1300 SUPER FOUR SP 30th Anniversary/CB1300 SUPER BOL D'OR SP 30th Anniversary ・ADV160
<ul style="list-style-type: none"> ・e:NS1(電気自動車・中国製・海外専用車) ・ステップワゴン ・シビック e:HEV ・NSX Type S ・シビック TYPE R ・フィット
<ul style="list-style-type: none"> ・船外機BF150/BF135/BF115 ・耕うん機サ・ラ・ダFF500 ・耕うん機ラッキーマルチFU700JR/FU700JRM ・発電機EU26iJ ・除雪機HSL2511

世の中の出来事
<ul style="list-style-type: none"> ・政府、半導体産業強化へコンソーシアム(企業連合)立ち上げ発表 ・政府、高圧ガス保安法を改正し、FCV規制を一元化(車検時に一括検査) ・経産省と環境省、使用済み自動車のプラスチックとガラス回収にインセンティブ制度新設 ・国土交通省、新型車へのEDR(イベントデータレコーダー)搭載を義務化 ・国土交通省、トラックバスの「レベル3」を解禁 ・欧州委員会(EC)、欧州連合(EU)の新たな排ガス規制案「ユーロ7」を公表

二輪車

 リード125	 CBR1000RR-R FIREBLADE SP 30th Anniversary	 ダックス125
 NT1100	 クロスカブ110	 スーパーカブ110
 NC750L(AT教習車仕様)	 HAWK 11	 CT125 ハンターカブ
 CB1300 SUPER FOUR SP 30th Anniversary	 ADV160	

四輪車

 e:NS1	 ステップワゴン
 シビック e: HEV	 NSX Type S
 シビック TYPE R	 フィット

パワープロダクツ

 船外機BF150	 耕うん機サ・ラ・ダFF500
 耕うん機ラッキーマルチFU700JR	 発電機EU26iJ
 除雪機HSL2511	

※：ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています

年	ホンダの出来事	主要製品	世の中の出来事	二輪車	四輪車	パワープロダクツ
2023	<ul style="list-style-type: none"> ・LGエナジーソリューションとEV用リチウムイオンバッテリー生産の合弁会社 L-H Battery Company, Inc.設立 ・有人月面探査で人の居住空間に電力供給を行う「循環型再生エネルギーシステム」について、JAXAと研究開発契約を締結 ・GSユアサと、高容量・高出力リチウムイオンバッテリーに関する協業に向けた基本合意を締結 ・米国 四輪車生産累計3,000万台達成 ・水素事業の取り組みについて発表 <ul style="list-style-type: none"> GMとの共同開発による次世代燃料電池システムを搭載したFCEVを2024年日米で発売 燃料電池システム活用のコアメーコンを、FCEV、商用車、定置電源、建設機械の4つと定め他社との協業に取り組む 燃料電池システムの外販開始と適用先拡大 ・元最高顧問 藤澤武夫の米国自動車殿堂入りが決定 ・米国 Ascend Elementsと、北米でのリチウムイオンバッテリー用リサイクル資源の安定調達についての協業に基本合意 ・EV用バッテリー生産合弁会社 L-H Battery Company, Inc.新工場建設に着手 ・インド KPIT Technologies Limitedと、ソフトウェア開発に関するパートナーシップに基本合意 ・米国のEV生産体制について発表 <ul style="list-style-type: none"> 北米におけるEV生産のハブ拠点として進化させるため、オハイオ州内既存工場生産体制を変更 MAPとELPでEV生産、AEPでEVのIPUやバッテリーケースを生産 ・自転車を電動アシスト化・コネクテッド化するサービス「SmaChari」を発表(SmaChari搭載第一号となる自転車を(株)ワイ・インターナショナルが発売) ・日立Astemo株式会社における、JICキャピタル株式会社の資本参加をともなう資本構成の変更に合意 ・電動事業のさらなる加速と新たな価値創造の実現に向けた組織再編を実施 <ul style="list-style-type: none"> 電動事業開発本部の新設 地域本部の組織再編: 6地域本部を「北米」「中国」「統合」の3地域本部に集約 コーポレート領域の組織再編: コーポレート管理本部を新設 ・F1世界選手権、Oracle Red Bull Racing(オラクル・レッドブル・レーシング)とScuderia Alpha Tauri(スクーデリア・アルファタウリ)のチームパートナーとして、Honda RBPTH001を供給するHonda Red Bull Powertrains(ホンダ・レッドブル・パワートレインズ)へのPUテクニカルサポートを行う ・創立75周年記念事業を国内6事業所で開催 ・F1世界選手権、2026年からAston Martin Aramco Cognizant Formula One® Team(アストンマーティン・アラムコ・コグニザント・フォーミュラワン・チーム)と2026年新レギュレーションに基づくパワーユニットを供給するワークスパートナーシップ契約締結に合意 	<ul style="list-style-type: none"> ・Cub e:/Dax e:/ズーマー e:(電動二輪車・中国製・海外専用車) ・CBR250RR ・CL250 ・CL500 ・XL750 トランザルプ ・アコード(米国製・北米専用車) ・ZR-V 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車検査証の電子化(国交省) ・自動車重量税におけるキャッシュレス納付制度が導入(国交省) ・欧州連合(EU)がエンジン車販売を2035年に禁止する方針転換し、条件付きで認めることを決定 ・自転車用ヘルメットの着用努力義務化 	 <p>Cub e:</p>  <p>CBR250RR</p>  <p>CL250</p>  <p>CL500</p>  <p>XL750 トランザルプ</p>	 <p>アコード</p>  <p>ZR-V</p>	

※:ホンダ調べ ■主要製品は発売年により記載しています